伊藤
圭介稿

植物圖説雜纂

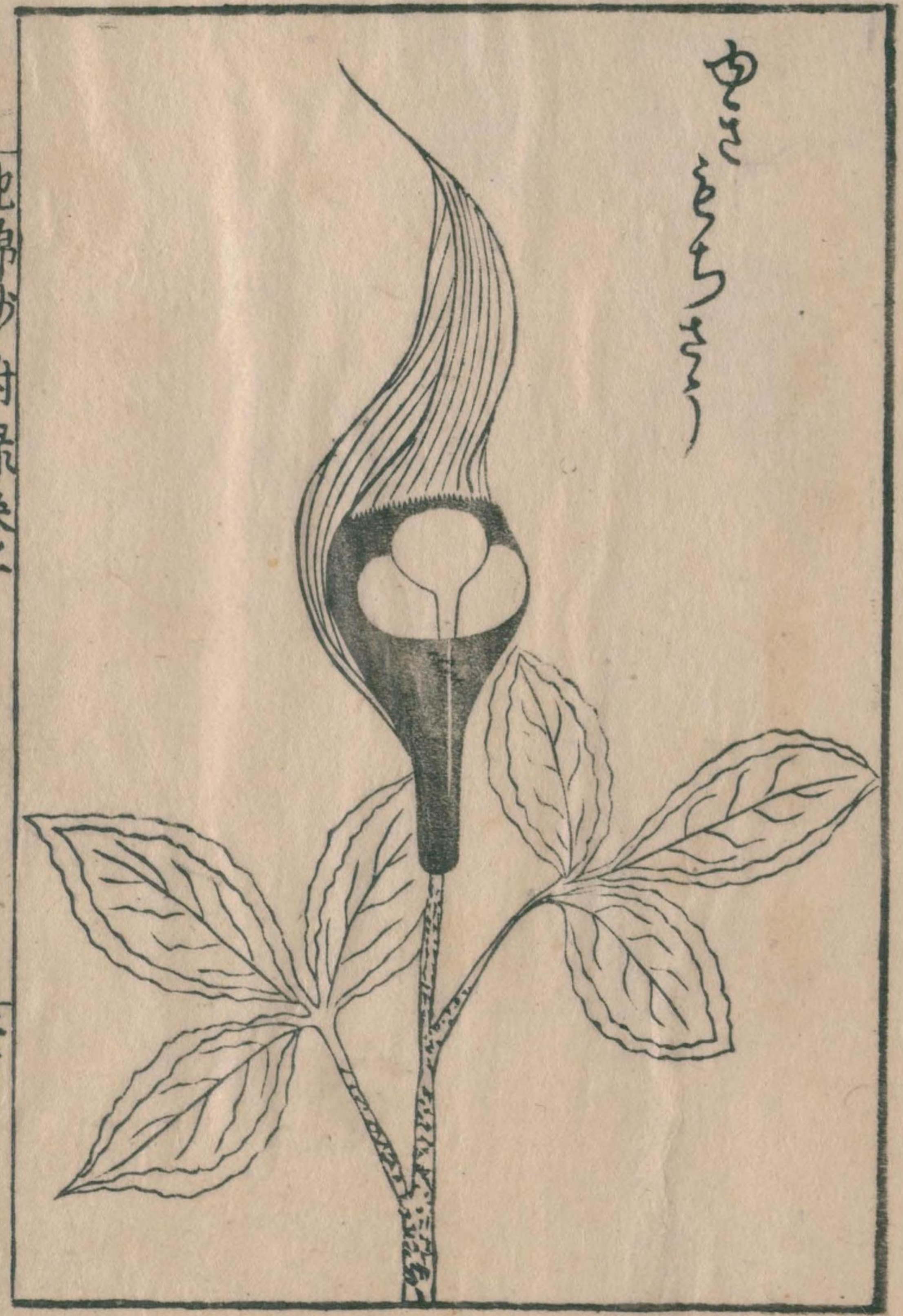
□ ○

別 6
9
149

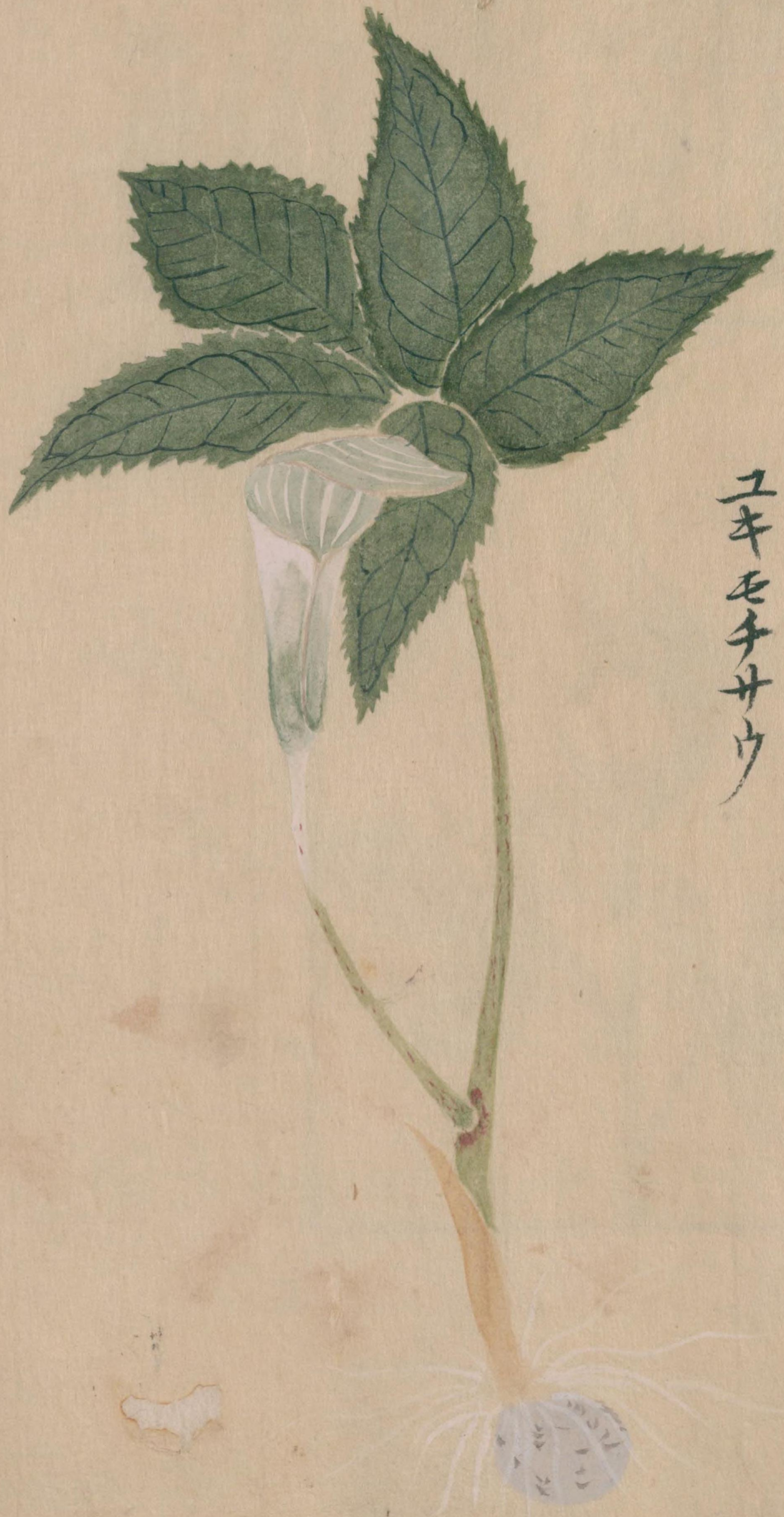
ガラス使用

雪餅草（ゆきもちさう）

茎形花形ともに天南星（てんなんしやう）に似て又りりまさる物也花のさき五文字なるもなの外ね方まこさはぎの葉まく内より雪のごとくに白し花中より花さき志（しん）ある雪の如く白し花の上に立のびる花（はなびら）ありて内より紫なるかたまる花筋そあかき筋又筋とまじまくく優のごとくなり珍花なかがめ至ゑまる花盛り久しきものなり三四月咲接く実黄すべし



ガラス使用

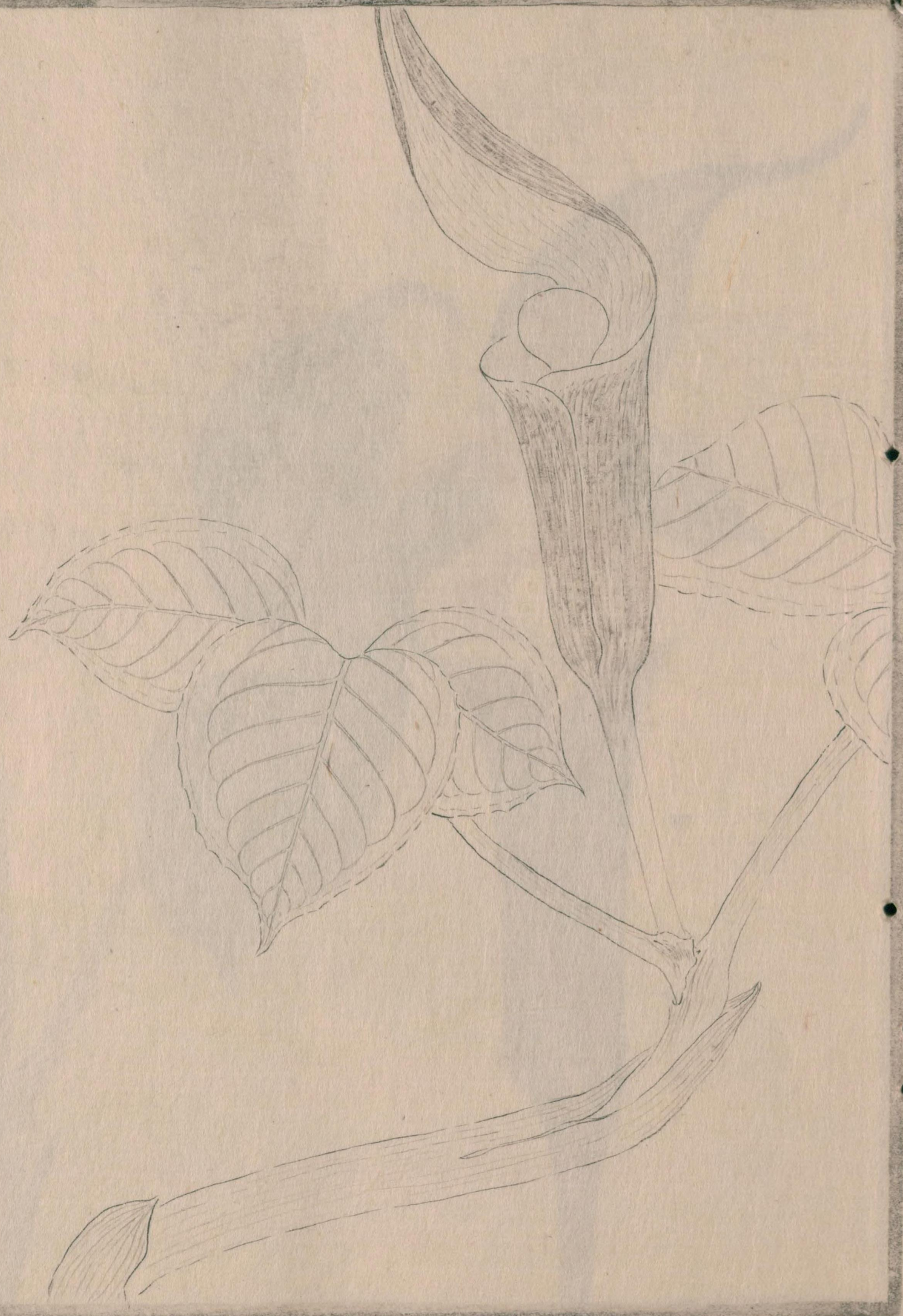


ユキモチサウ

80

六一

ユキモチサウ



名家土藏

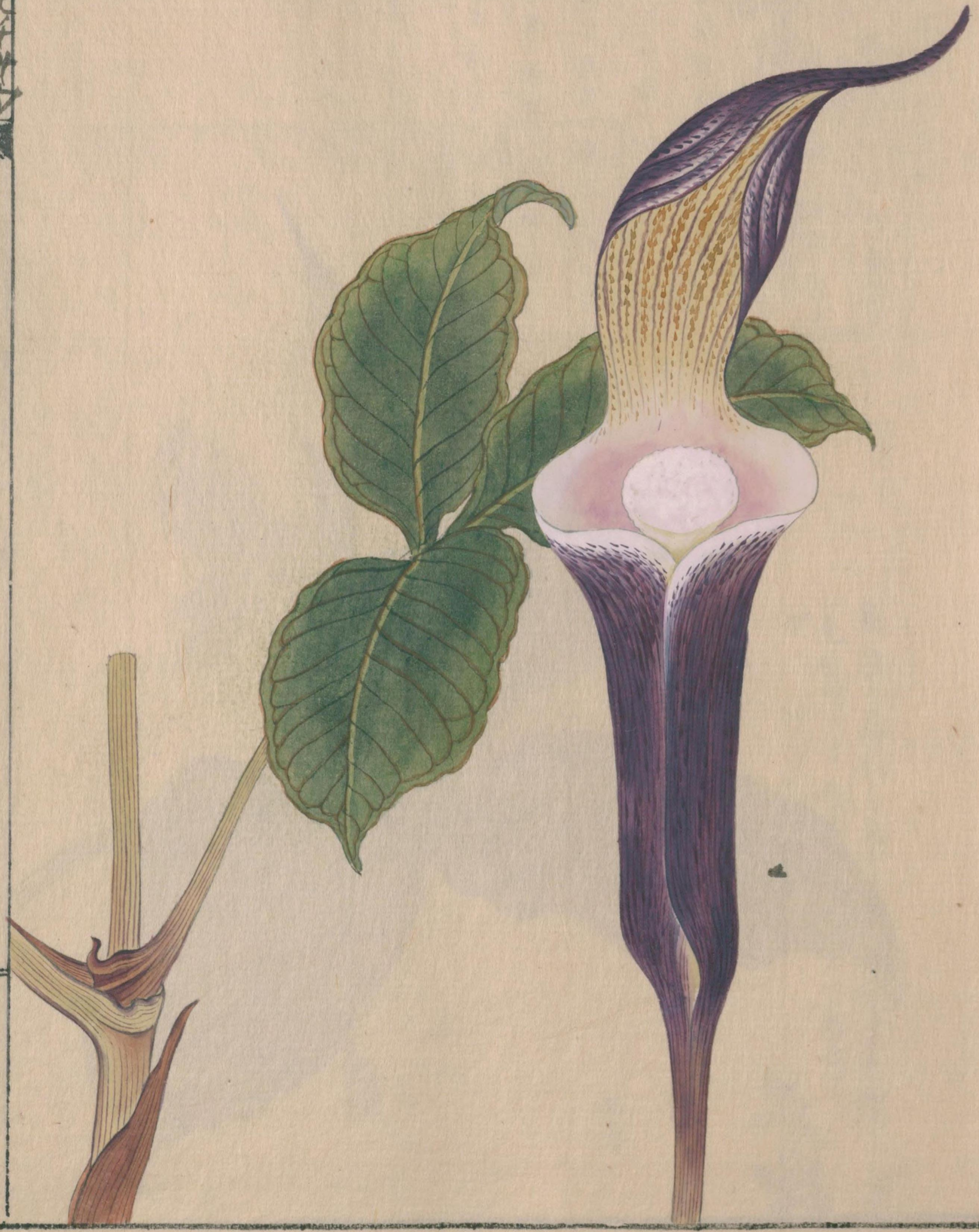
80

六二

ユキモチサウ 立安

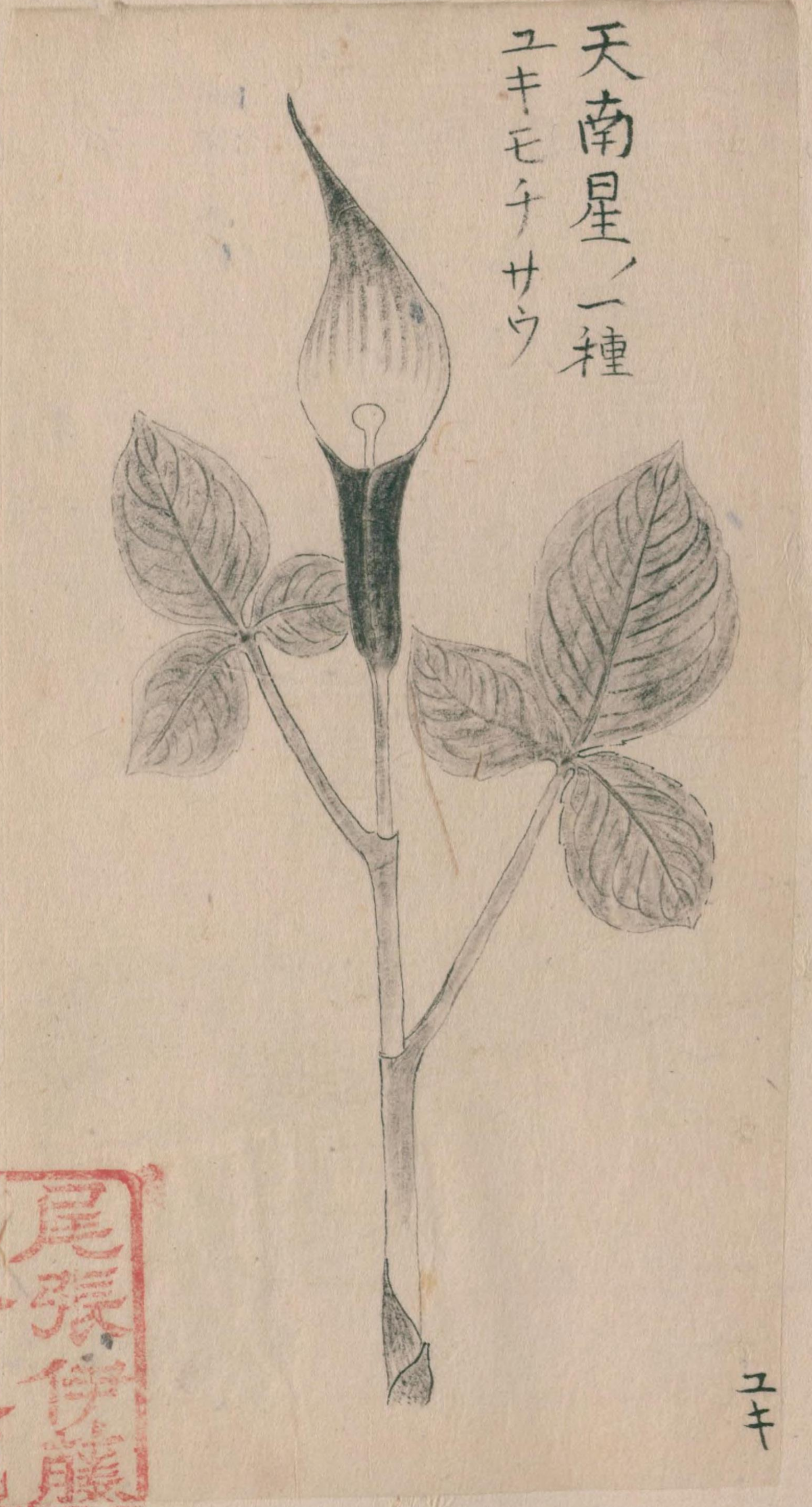
ガラス使用

ゆきもちさう



80
15 11

ヤ八

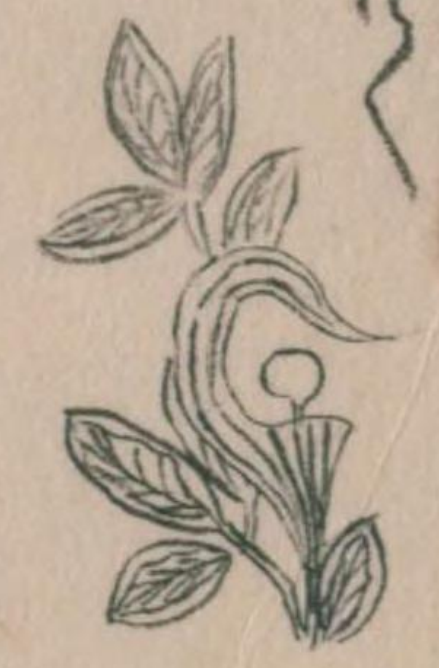

天南星ノ一種
ユキモチサウ
ユキ

尾張伊藤圭介之記

雪持草（ユキモチサウ）

花名集

此草花形も天南星にさも似り
花の中より見ゆるものありて名つく
則ゆきもちなり

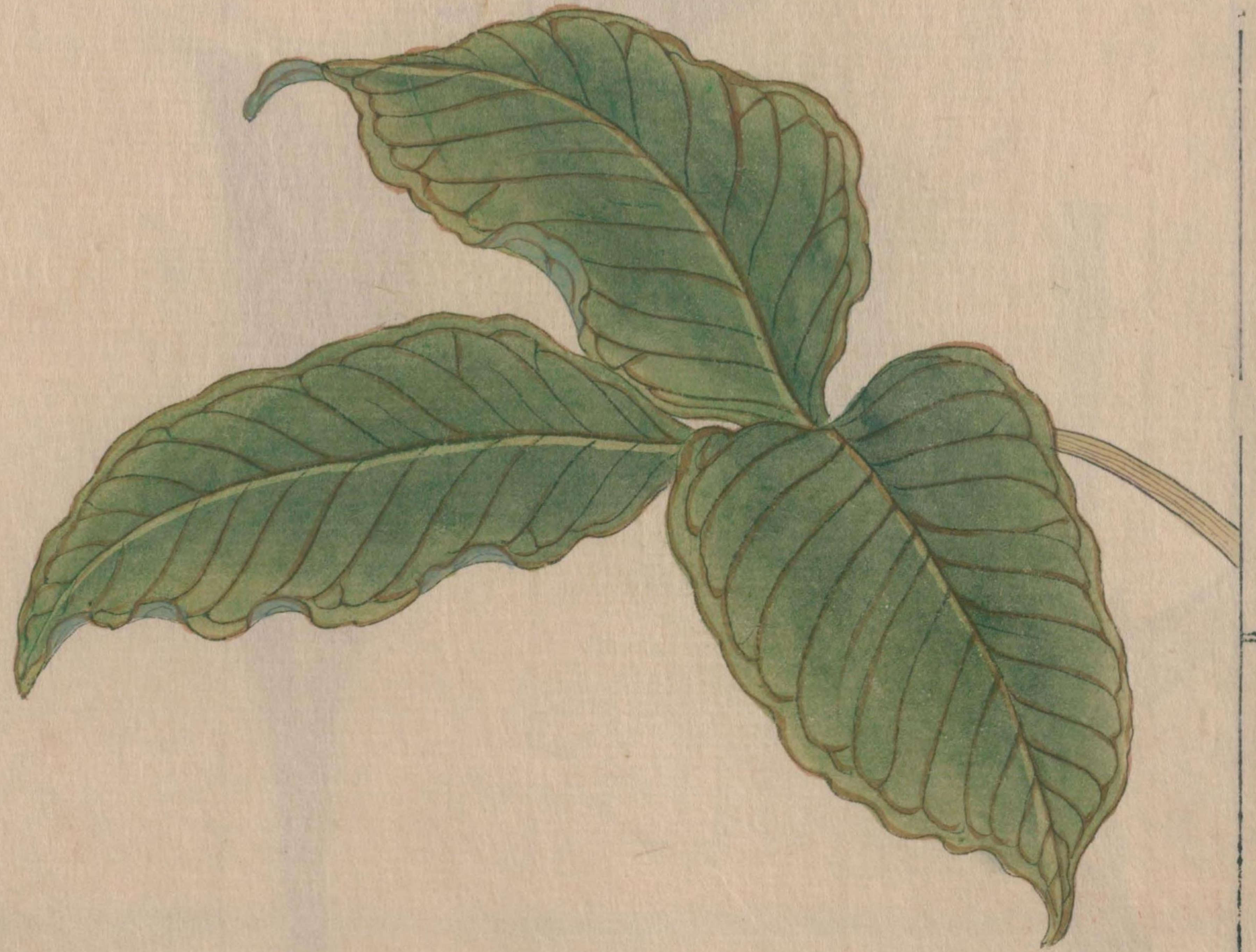


80

六四

雪持草

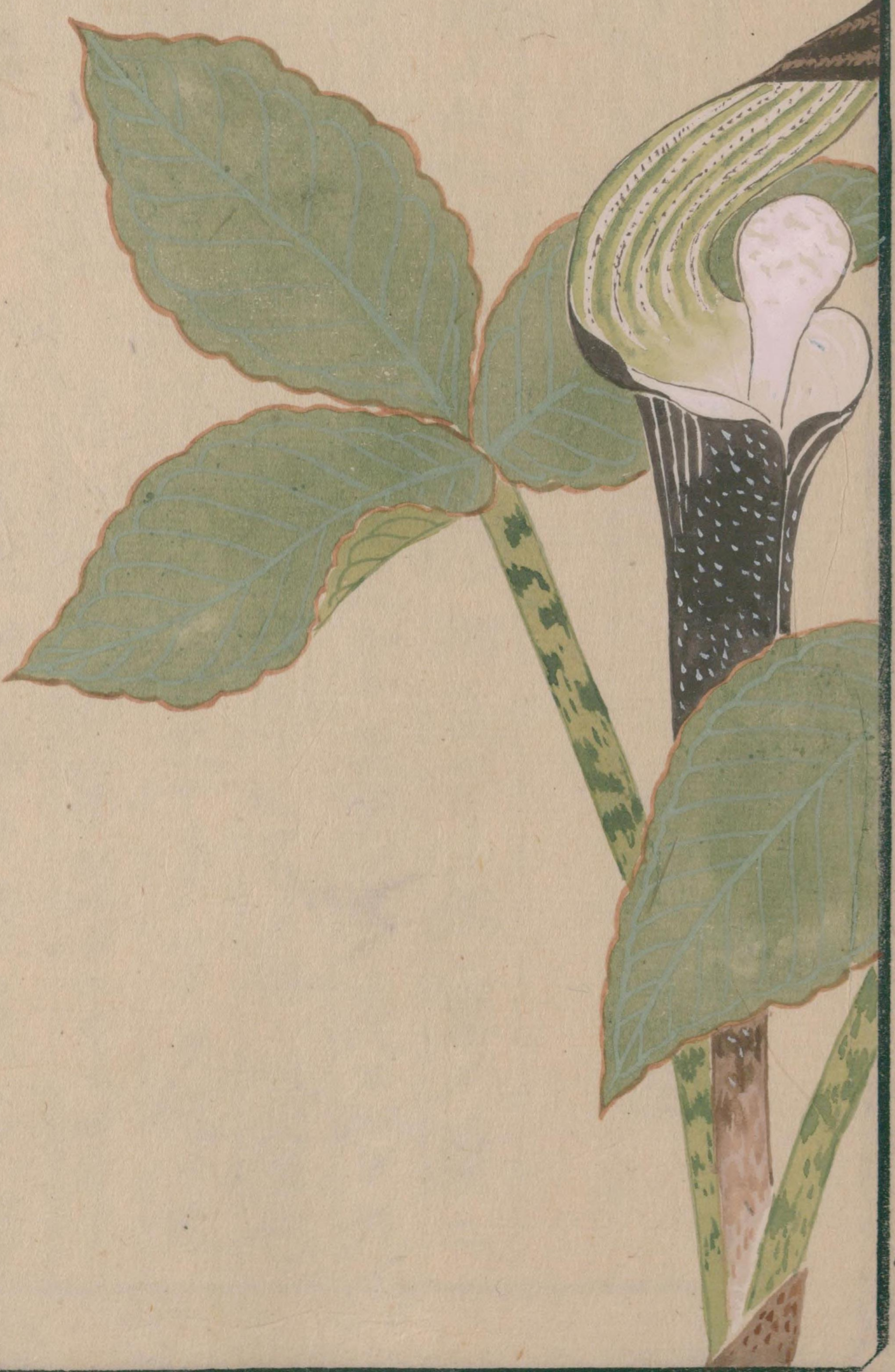
和漢三才圖會ニ歡喜草ト云共ニ
和名也葉由跋ニ似テ狹ク光リナリ
草立小ニシテ花白ク南星ノ形ニ似テ小
異ナリ花中雪ノ如ク内白メ外墨色
花頭淡紫緑色相交ル甚見コト也
然レ𪜈根ノ玉朽腐シ易メ培養
ミカタシ可惜ナリ按ニ由跋ノ変生
ナルヘシ　伊勢津ノ莽（ヘヅ）田ノ藝家
平五郎能種スルト云

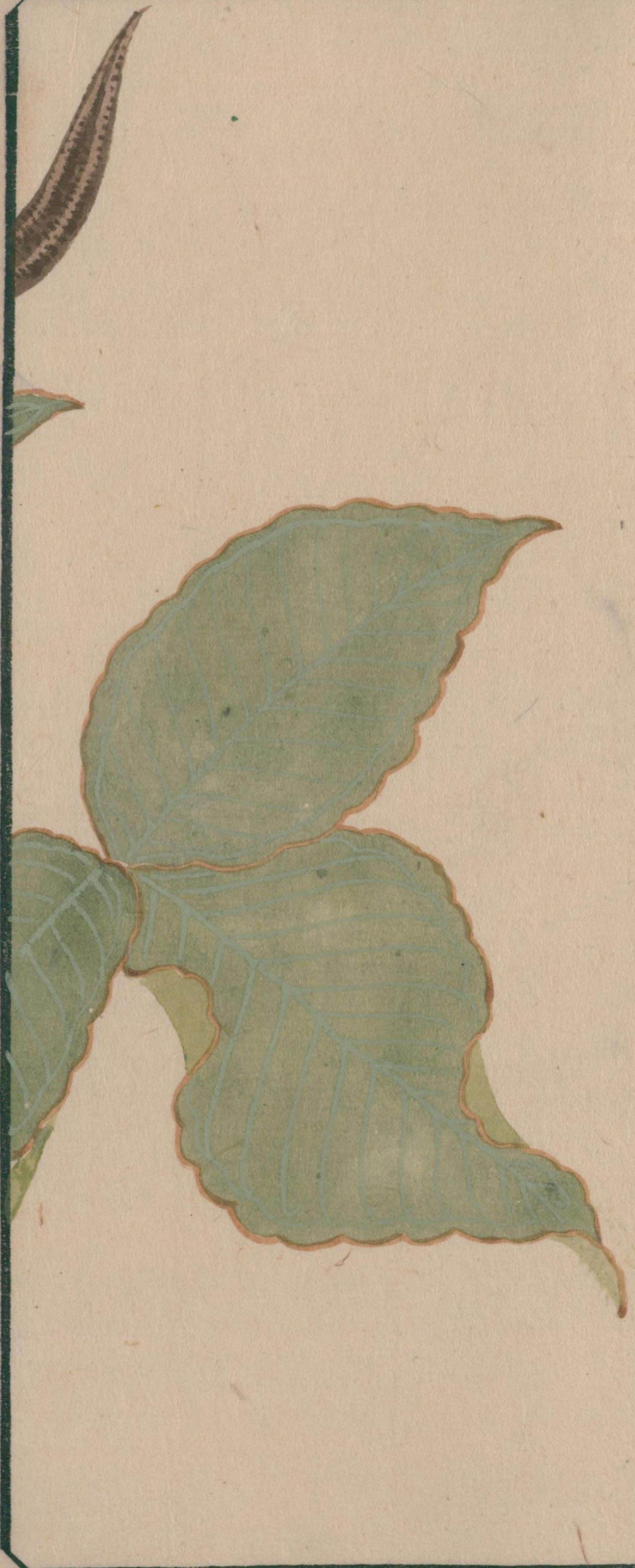


80

六五

ユキモチサウ





ガラス使用

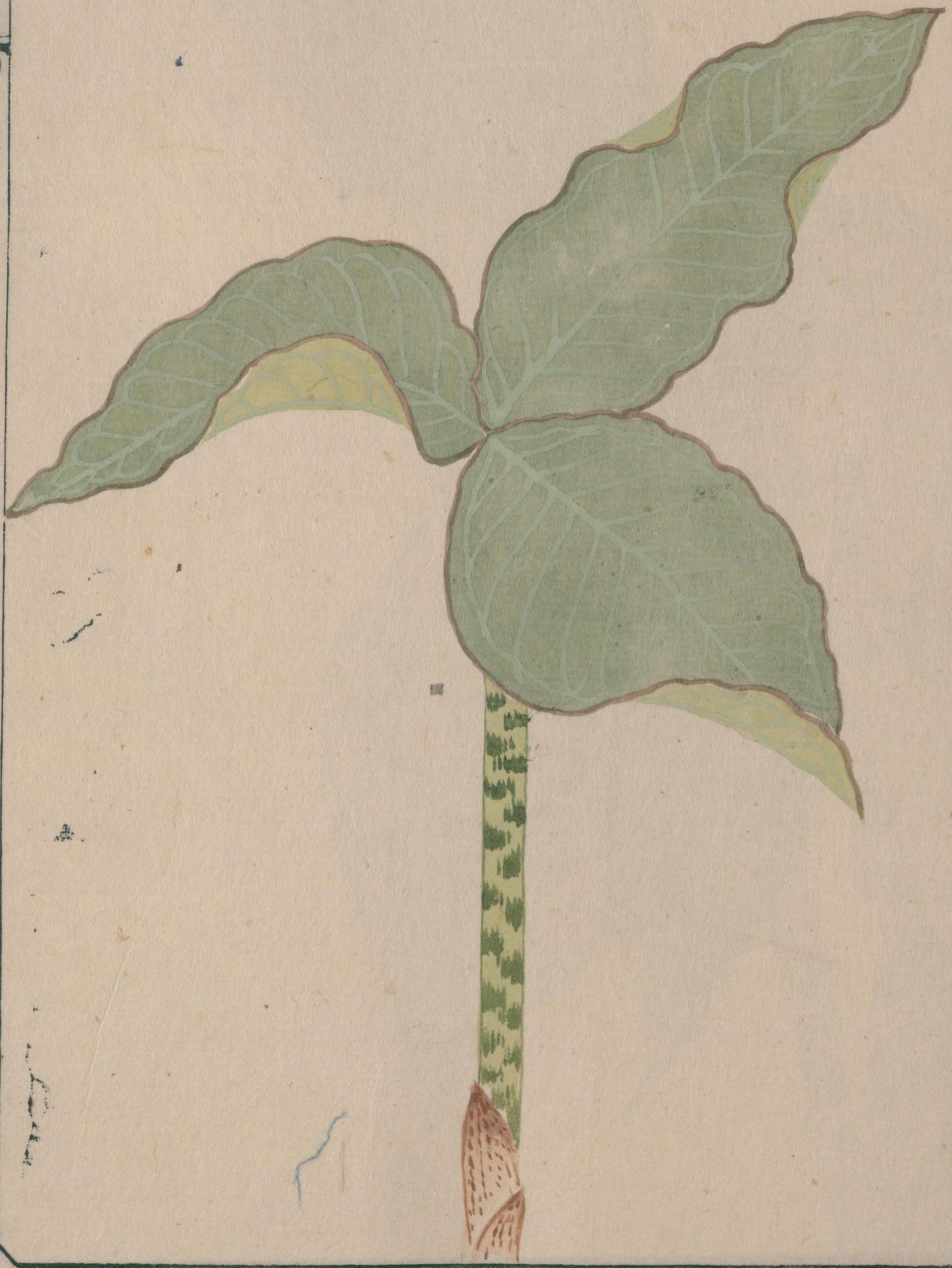
ユキモチサウ　天南星一種

勢州ノ大和境ノ山ニ生ス信州ニモアリ三葉ノ葉二
枚出テ心ニ花ヲ生ス高サ尺余天南星ノ花ニ似テ花ノ
芋上ニ立ツ竹ノ如ク（天南星ハ前ヘカヽム）中ニ圓キ心アリ外ハ紫黒色
ノ竹筋アリテミヨノ如シ内ハ心ノ尾ニ白色ナリ実ヲ結テ天
南星ノ如ク熟シテ赤シ葉ニ鋸歯アルトナキトアリ

由跋譔知艸　即南星之種屬其莖葉花實全同
于南星但以其花中吐出ゝ如桴欣者為異耳

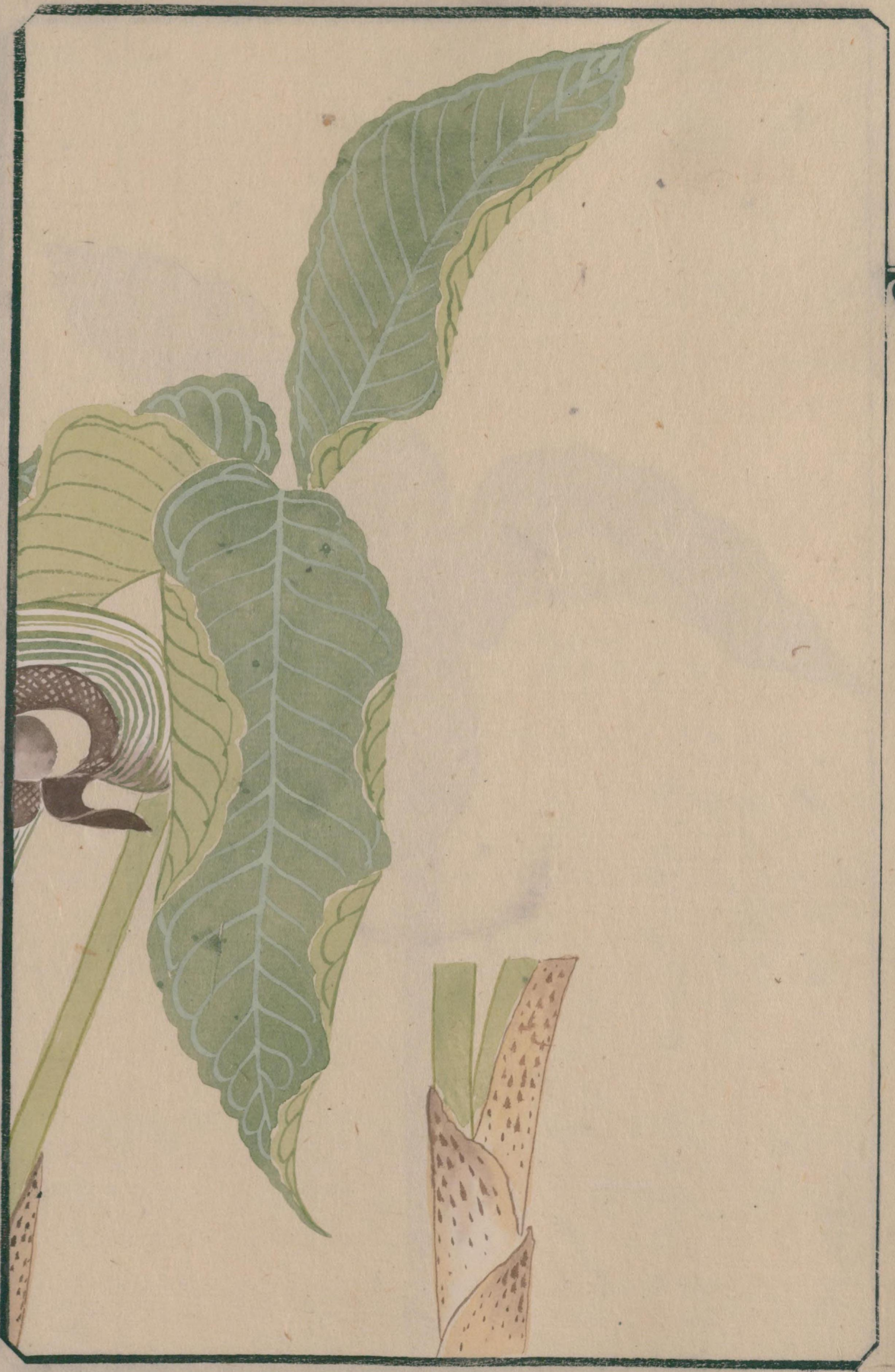
飛芳帯因差七

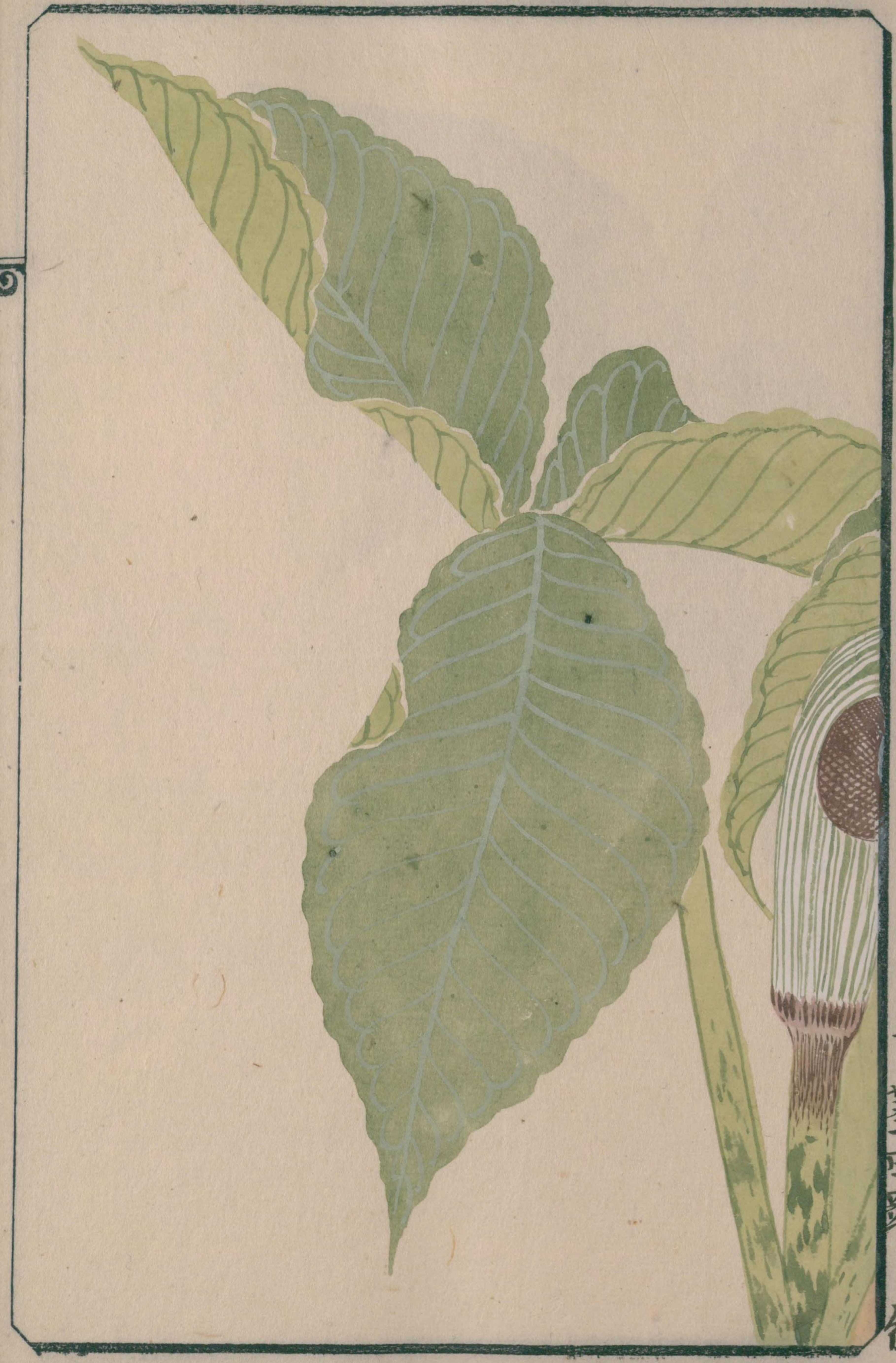
ガラス使用



由跋苗

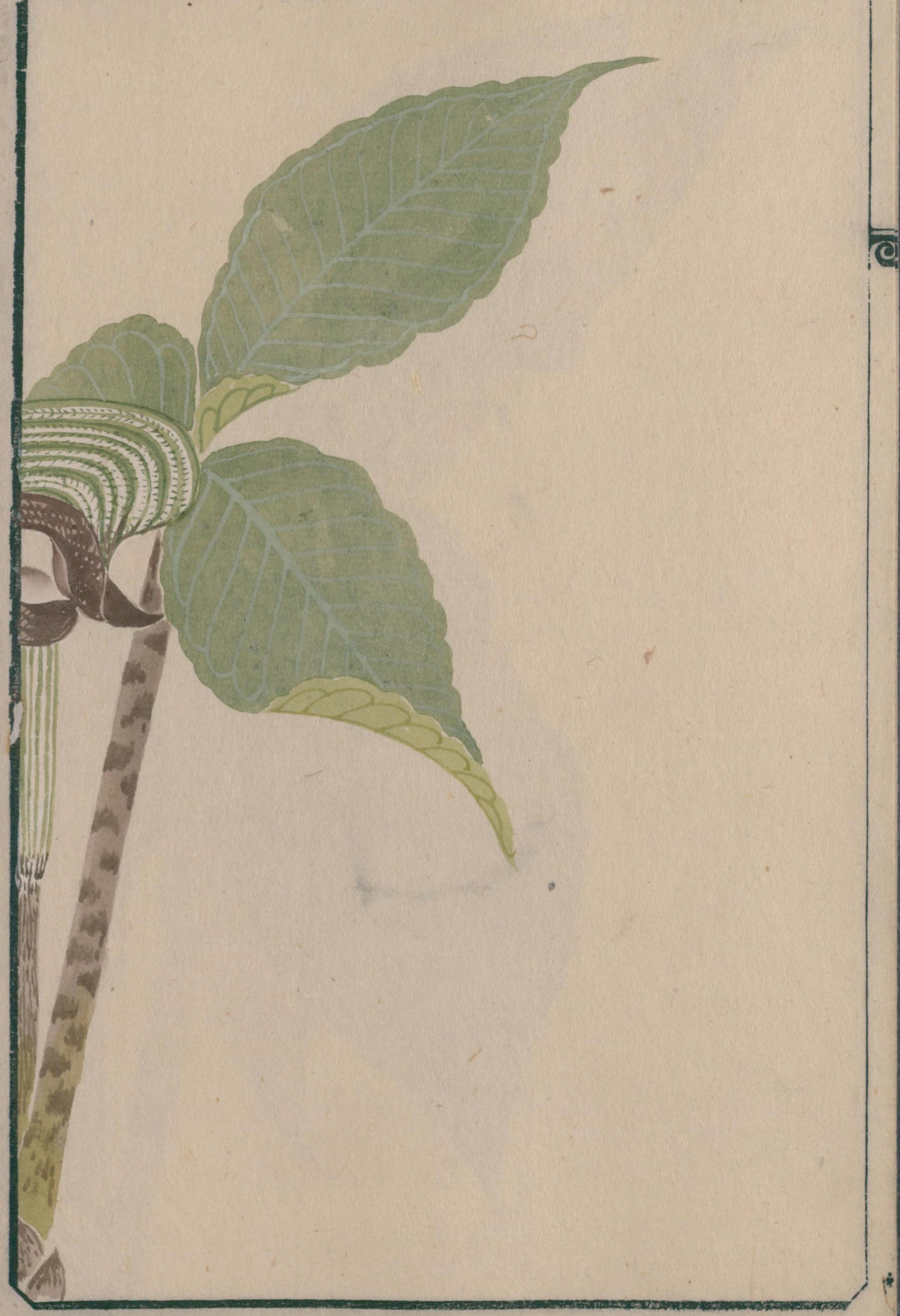
後

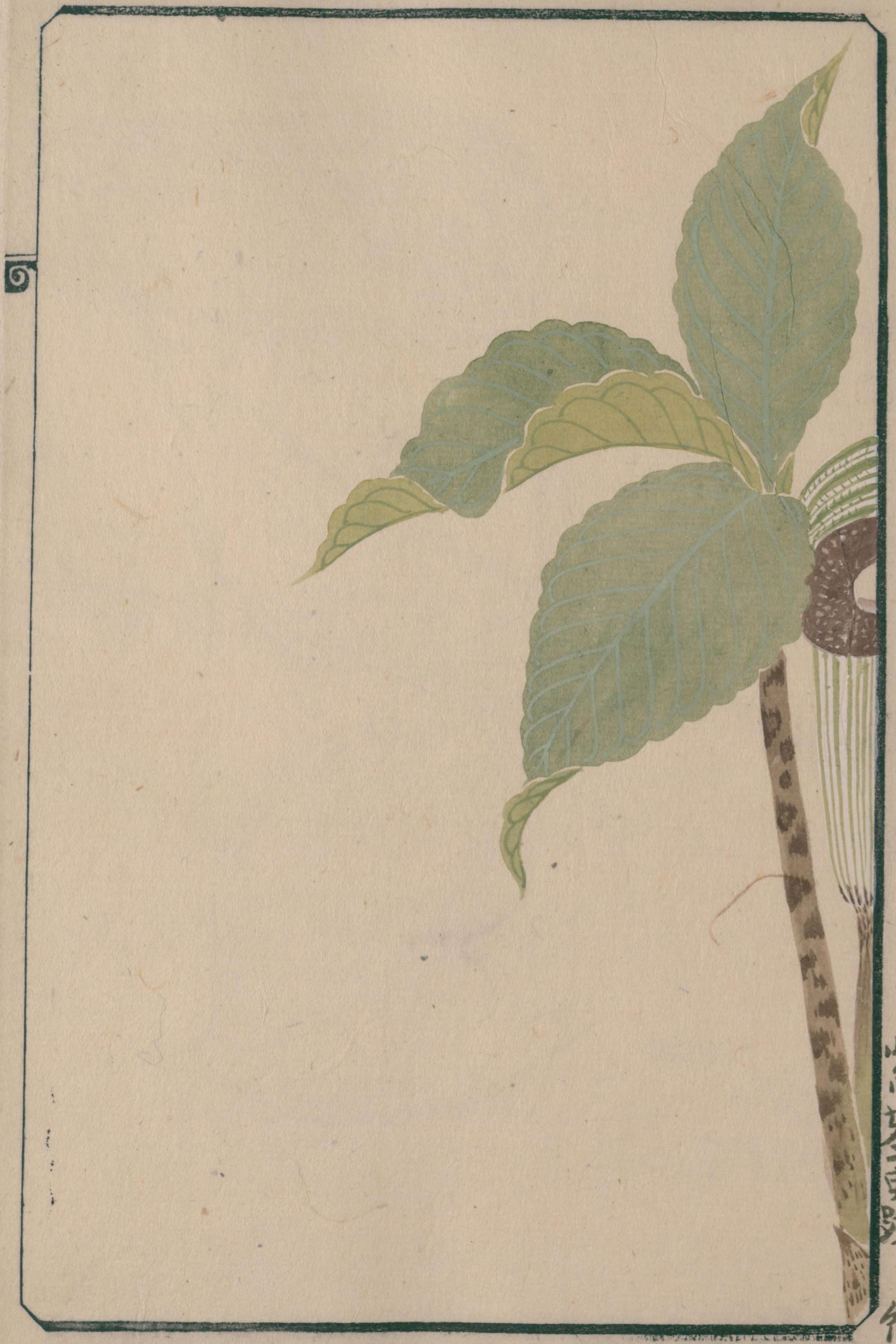




80
完

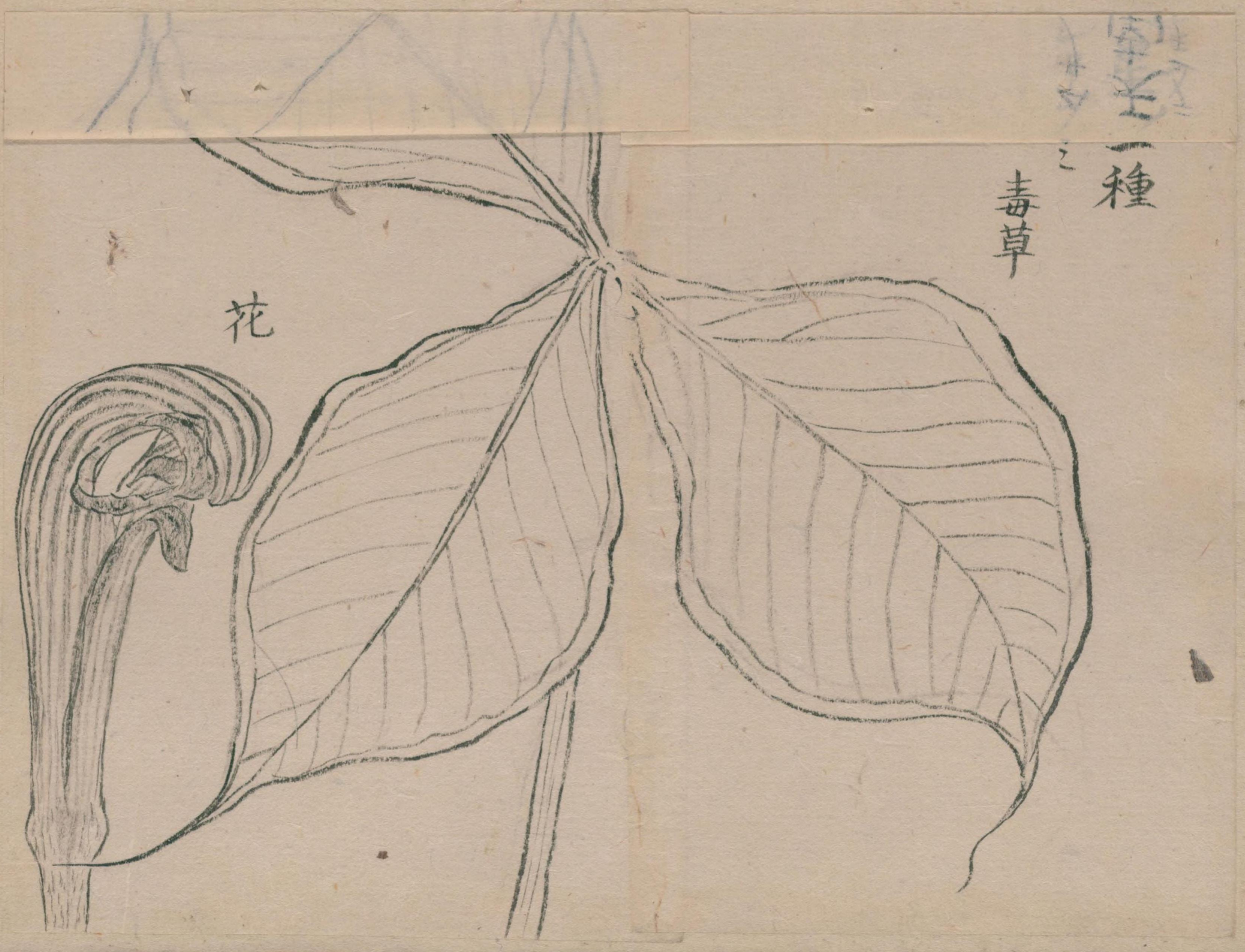
青茎由跋
仮





紫莖由跋

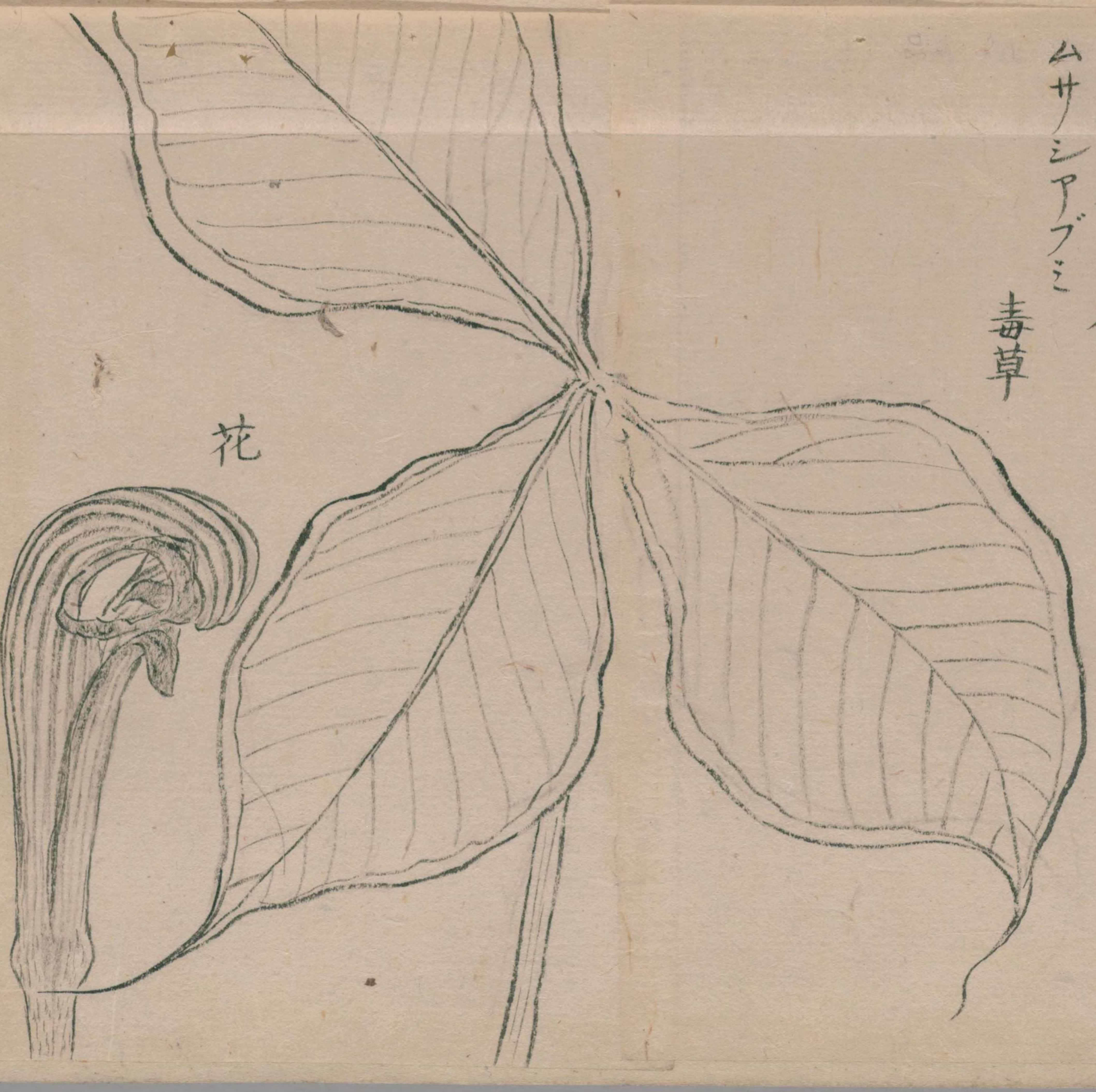
仮


[illegible]一種
毒草
花

天南星（テンナンセウ）ノ一種

ムサシアブミ

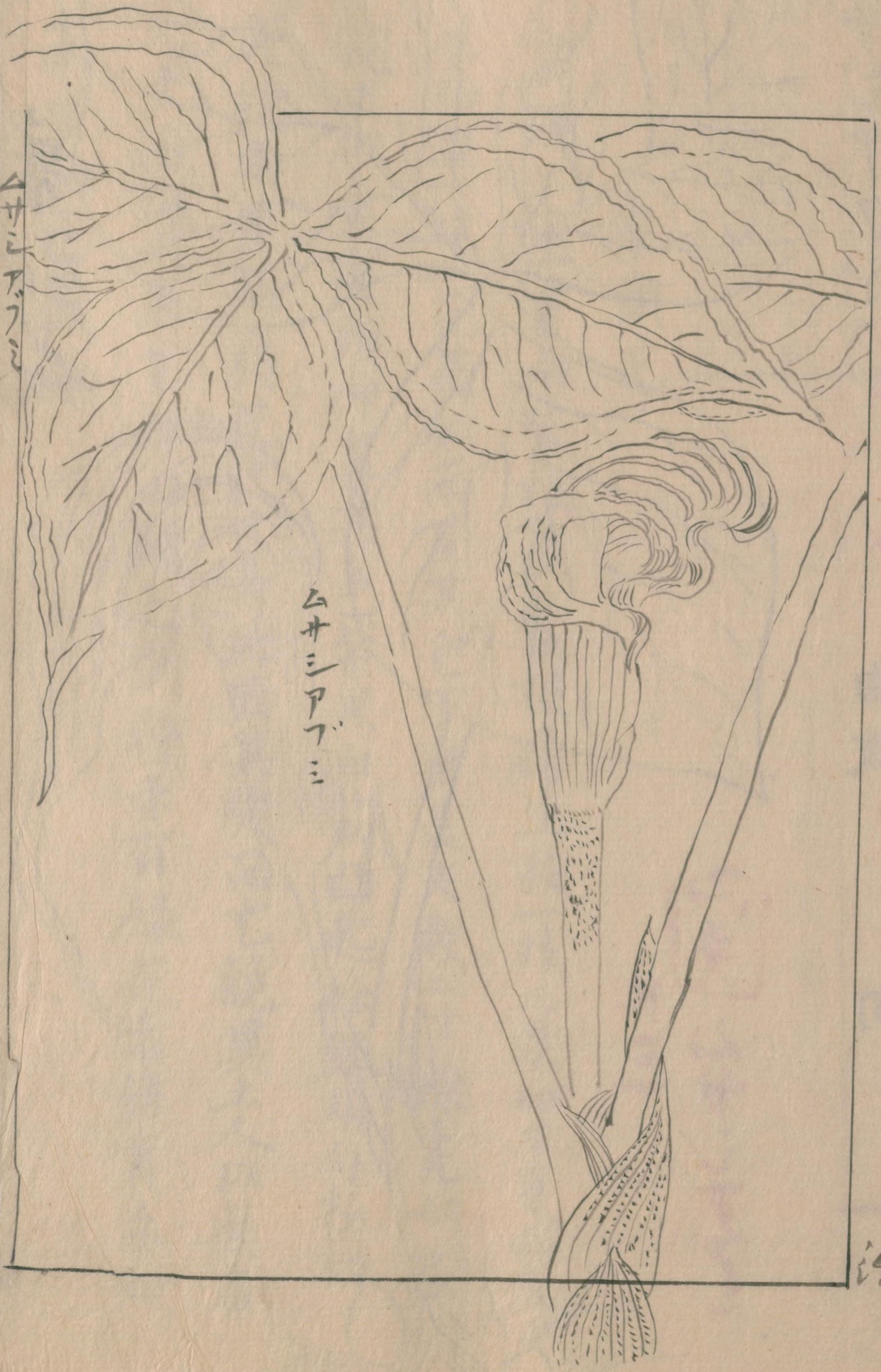
毒草



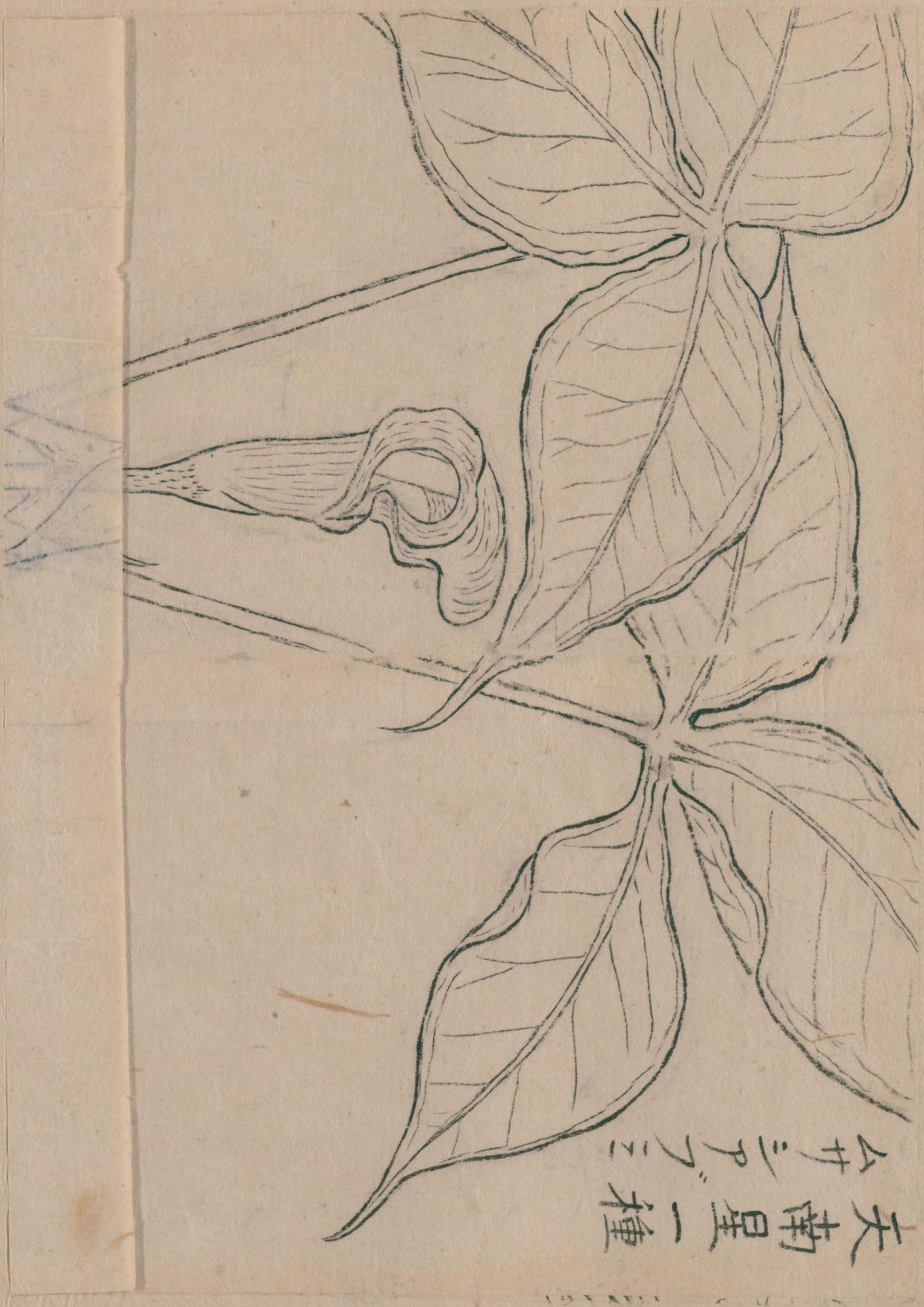
ガラス使用

ト
七二附

ムサシアブミ

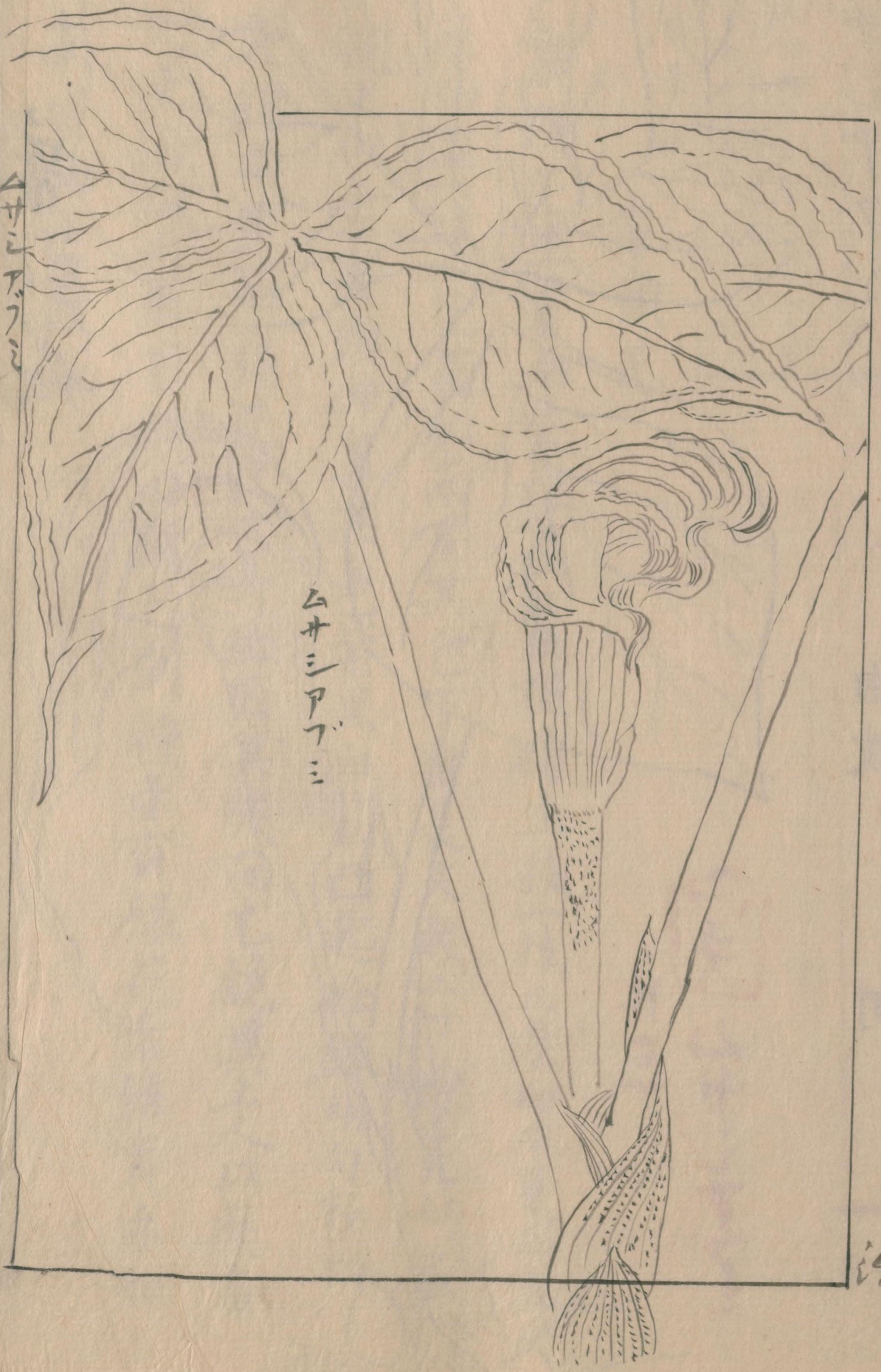


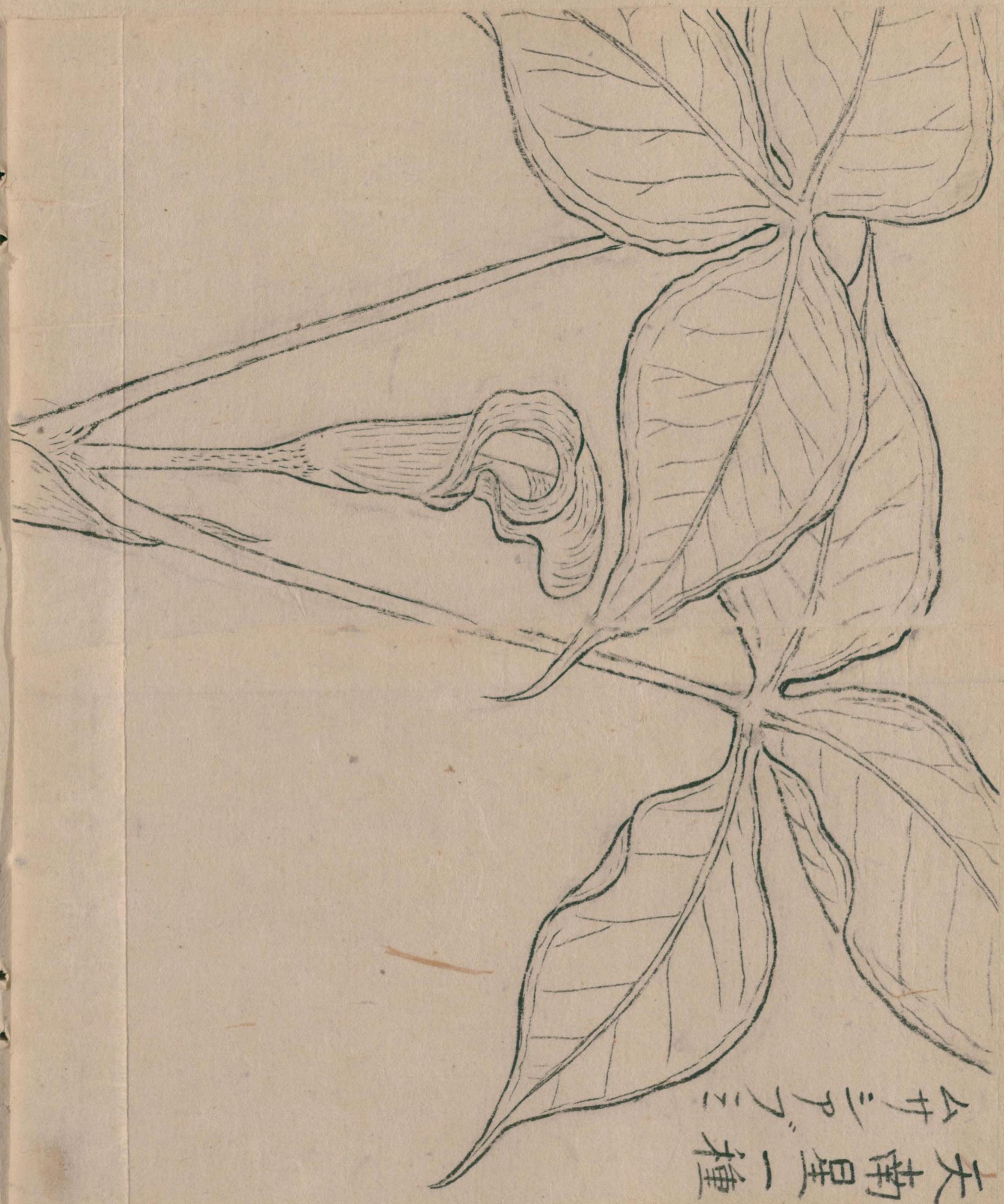
is


天南星一種
ムサシアブミ

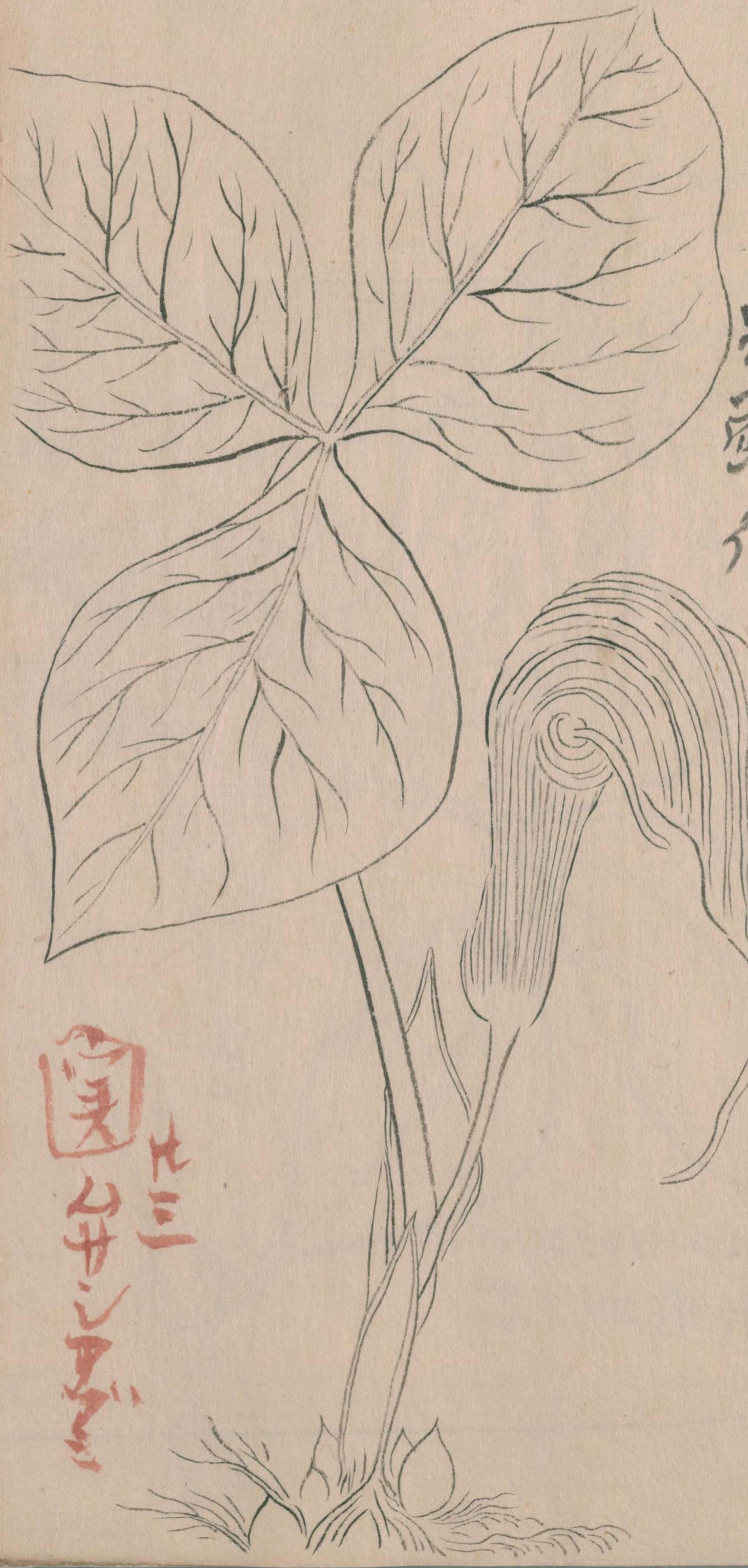
ヤ七二附

ムサシアブミ





天南星一種
ムサシアブミ



象頭花

三

一　ムサシアブミ

Arisaema ringens Schott.

由跋　同

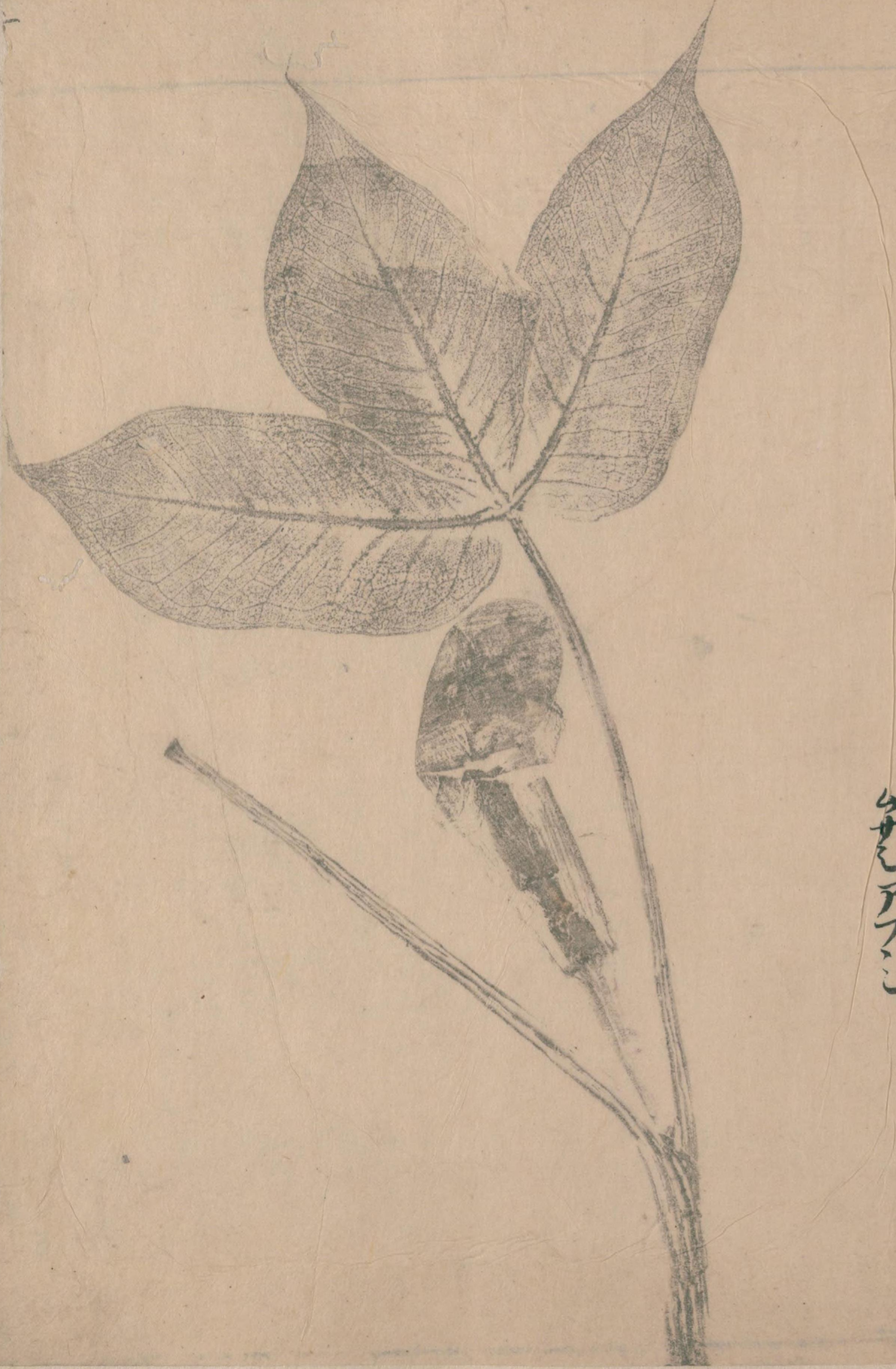
七三

ムサシアブミ

由跋　ムサシアブミ
草立ヒキク二葉向ヒ生ス一茎三葉
粉色光リアリ心上生〆花天南星ニ
似テ花頭丸ク葩厚クコハキ白キ筋
有花中絲ナリ丸キ心葉アリ根ハ
玉白南星ニ似タリ

象頭花

象頭花生雲南紫根長鬚頭根傍生枝一枝三葉如半夏而大厚而澀一枝一花花似南星其包下垂長尖幾二寸餘花如屈脘又似象垂頭伸鼻其色紫黒白筋凸起條縷明勻極似夷錦南星蒟蒻花狀已奇此殆其族而尤詭異土人以藥畜之主治同天南星即由跋之別種亦有緑花者結實赤如南星而色殷紅



ムサシアブミ

80

ムサシアブミ

アブミサウ

天南星ノ類ニシテ別種ナリ葉品字ノナリニシテ左右ノ二ツハ小ニ大ナリ肥根ノモノハ高サ二尺許花瓣ハ天南星ヨリ濶ク紫黒色鐙ノ形アリ

先師ノ説ニハムサシアブミヲ由跋ニ充ツ此説穏ナラズ

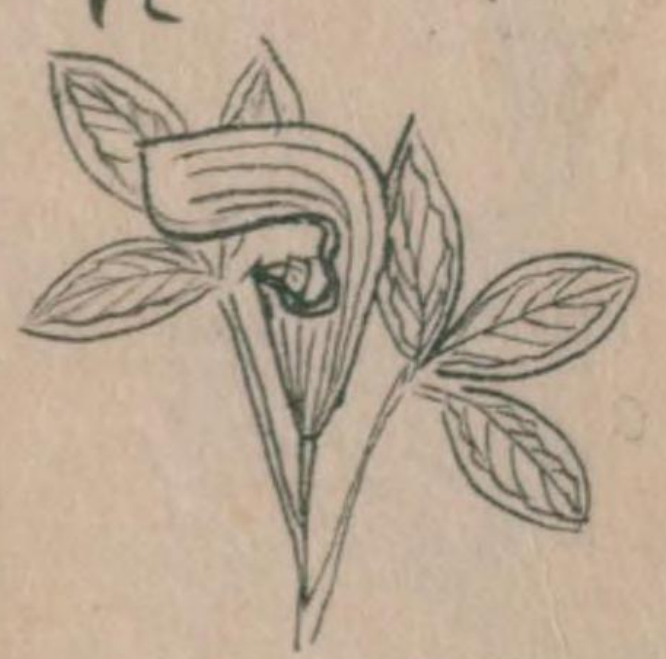
由跋　即天南星嫩根ノ小ナル者ナリ時珍ノ説ニ従フベシ

本經逢原曰新生芽曰由跋ト　時珍曰此即天南星之小者

ムサシアブミ　象頭花

一名由跋ツ

此草天南星のごとくにて花をふく[illegible]くし花ハ黒紫にて[illegible]のごとくなる[illegible]この花葉を[illegible]して秋[illegible]の実[illegible]て[illegible]にて[illegible]葉ハ二くき[illegible]し



ヤ

武蔵鐙（ムサシアブミ）

花名集

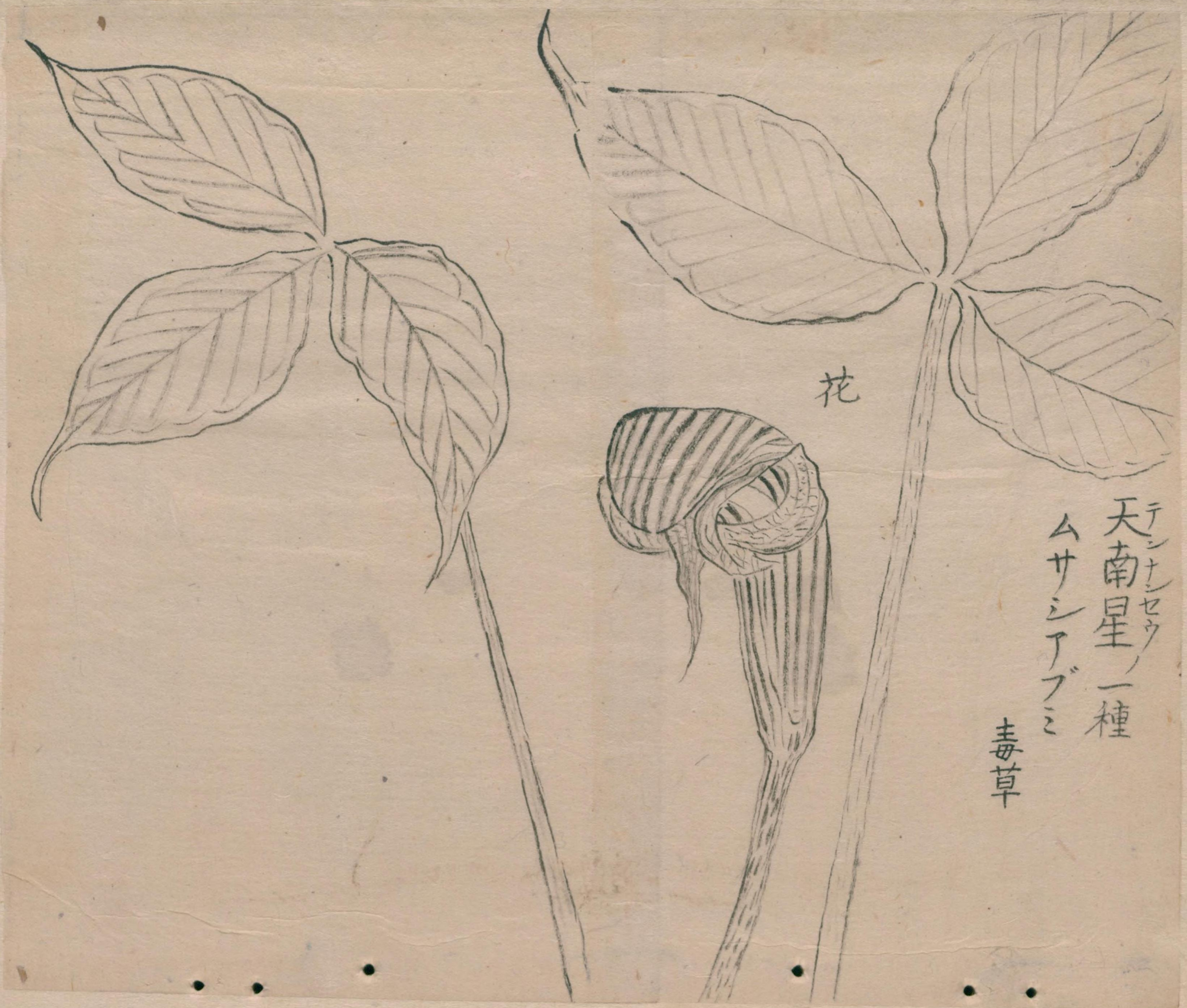
一種茎紫色ノモノ

一種小葉ノモノ

又一種ユキモチサウアリ又三葉ニシテ花筒内白色中ニ圓蕊アリ

80

ガラス使用



天南星（テンナンセウ）ノ一種
ムサシアブミ
毒草

○ムサシアブミ

アリユムリンゲウス

タブミグサ

天南星一種

一茎三葉長大ニシテ一根二葉ヲ生シ一花ヲ開ク花弁ハ天南星ヨリ
濶ク紫黒色形鐙ノ如シ

一種紫茎ノモノアリ

後実ヲ結 天南星ノ実ノ如

ムサシアブミ [illegible]

ルーレ801ニムサシアブミノ図アリ

Arum triphyllum.

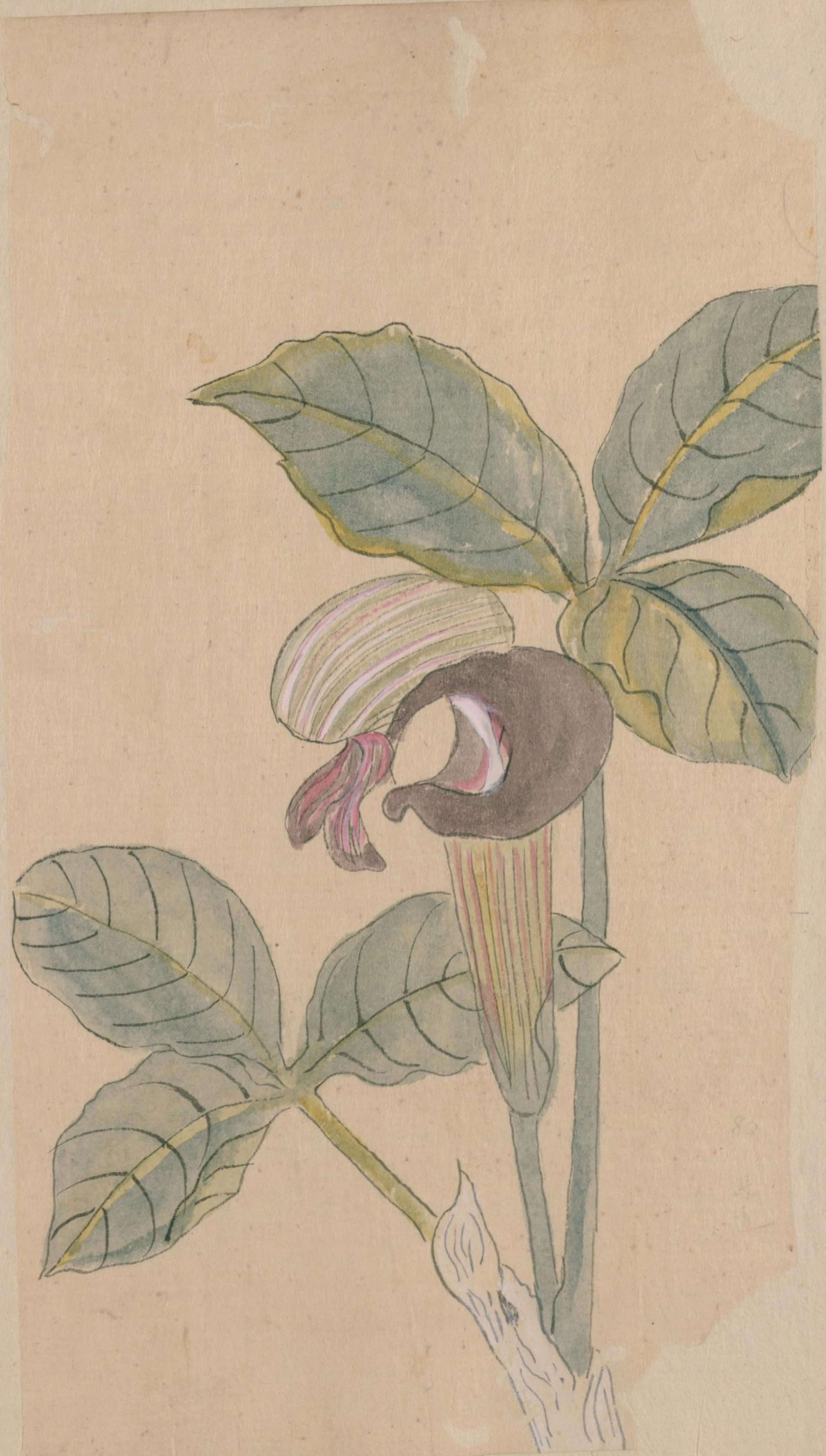
ルー1512ア

Sauromatum guttatum

Schott. 図コンニヤク芋ニ似タリ

ムサシアブミ

80



ムサシアブミ

○ムサシアブミ

アリユムリンゲウス

ヲブミグサ

天南星一種

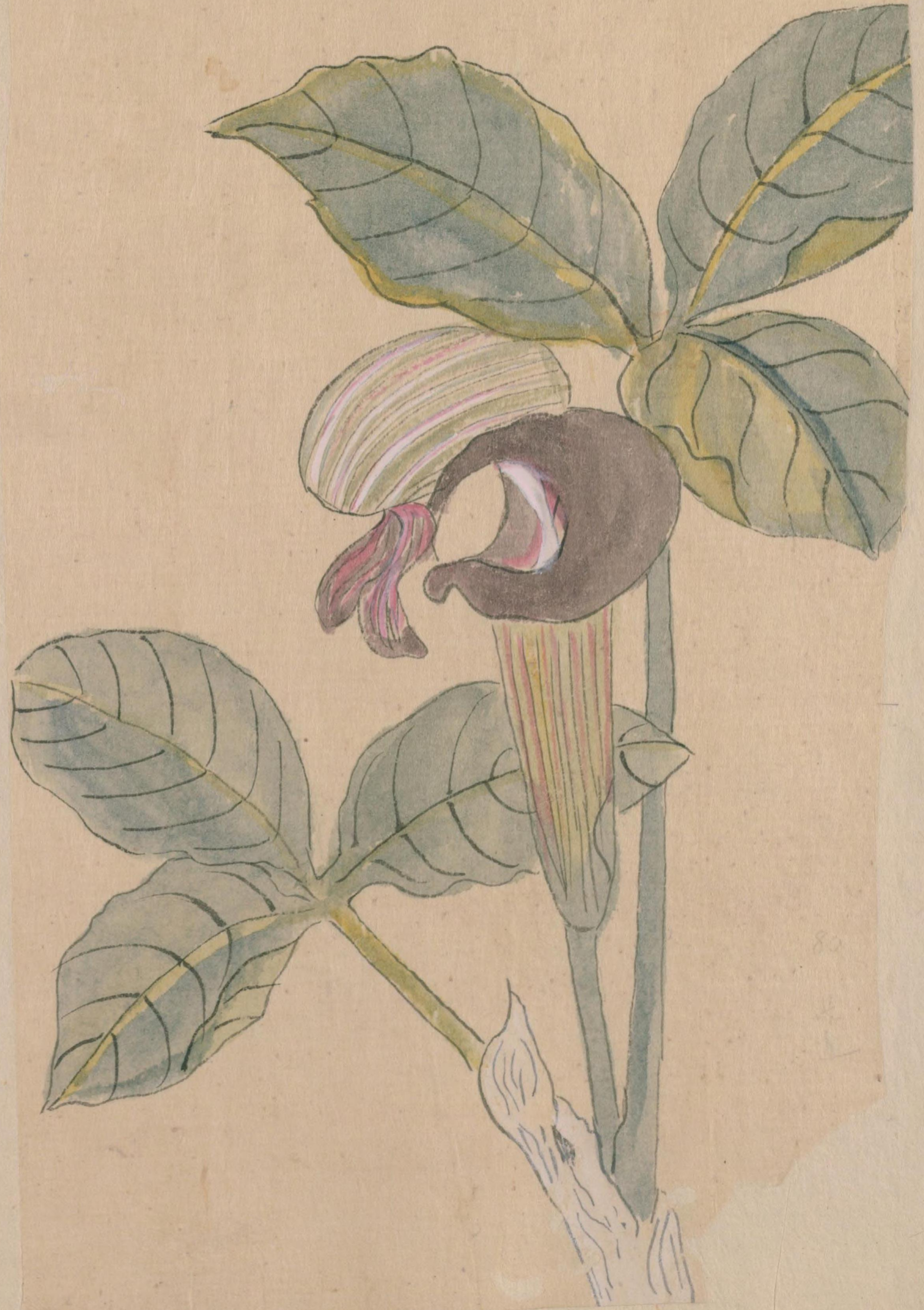
一茎三葉長大ニシテ一根二葉ヲ生シ一花ヲ開ク花弁ハ長[illegible]リ

濶ク紫黒色形鐙[illegible]

一種紫茎ノモノア[illegible]

後実ヲ結 天南[illegible]

ムサシアブミ [illegible] [illegible]



由跋

牟左之安布美

好事者處々種之園中其葉一莖生三葉形如羊扆而尊強亦類天南星而有光澤四五月開花如南星俗呼唐羊扆

常陸物産志六

天南星

止良乃於　也末仁牟之牟

生處々深山幽谷春月因宿根生苗大者莖高五六尺小者不過尺餘莖葉倶淺緑色而有白斑其

ムサシアブミ
ヲカサンゴゴエ
由跋

葉二茎ニ三ッ葉ニシテ足ッテ花形天南星
ニ似テ肉ハ鐙ノ如クニシテ青ク淡テ花中
ヨリ縫ヲ出スハ三月ノ末ニ花咲花後
実ヲ結ブ実ノ赤シ三葉枯テ実落テ

ヤ
七三

落リ居モロコシ如クナル実ク

巌路花圖（カミノ七十四丁）　ムサシアブミ

ムサシアブミ巌路花ト
混
生シテ嵩メバ

ノヤ七二

由跋　俗云武蔵鐙　蓋曰花形也　武蔵鐙
農人来在東都本郷所邑　又曰三五鐙　待聞言
其邊跡今日鐙坂　一花葉根魁似

由跋　ダイハンゲ。ムサシアフミ　三四月紫花ヲ開ク根ハ円ク
ニテ肉ハ白シ　忌土赤土等ヨシ　主治毒腫結熱ヲ治ス（慶賀寫真）

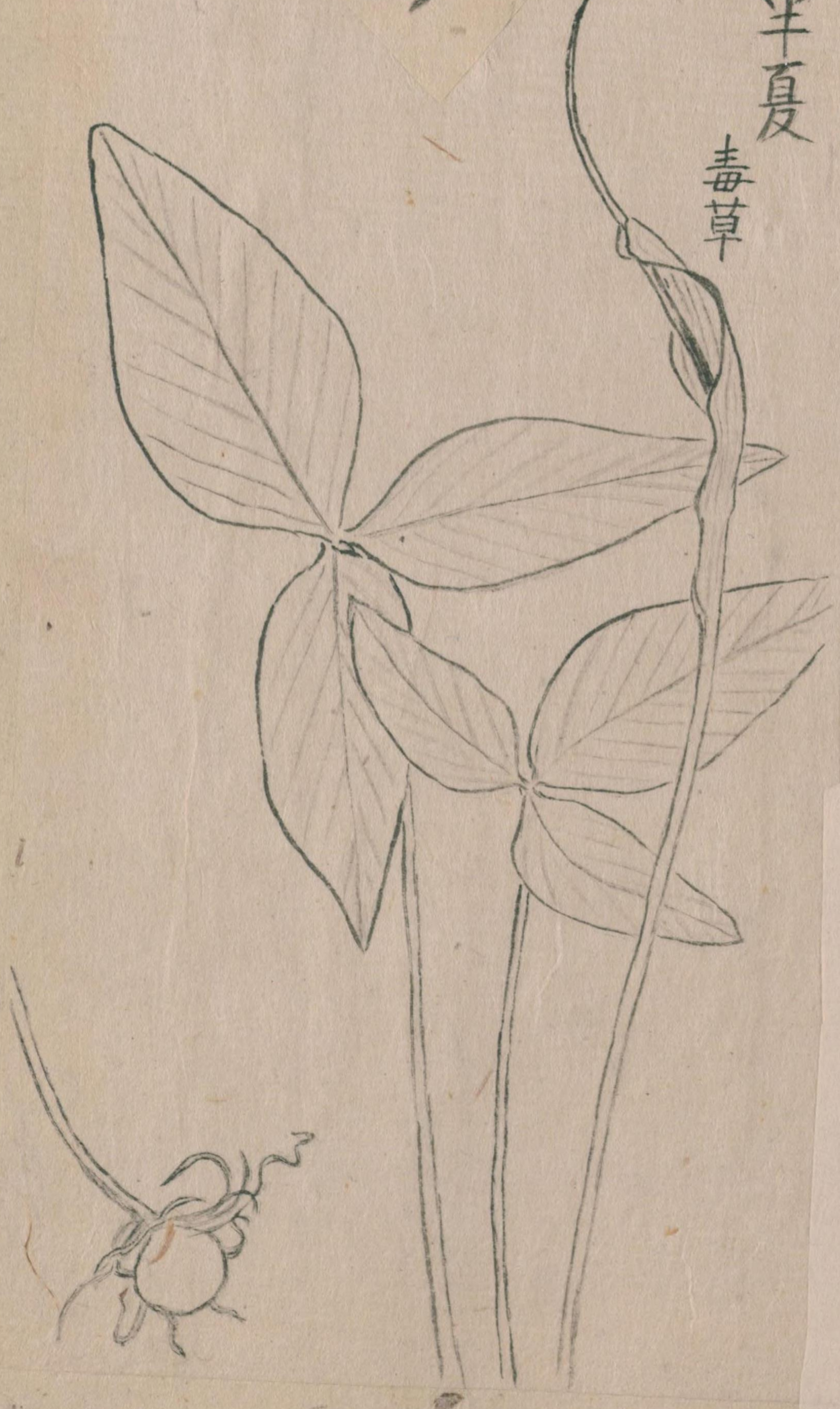
由跋（ムサシアブミ）　先輩ムサシアブミノ類ニテ不詳ト云説ナレ𪜈慥ナル
證据アレハ尤可然ナリサレ𪜈圖中ニムサシアフミ大半
夏ノ二ツヲ混シ挙ラレタルハイカヽ一類モノナレ𪜈ムサシ
アブミト大半夏トハ別品ナリ

ガラス使用

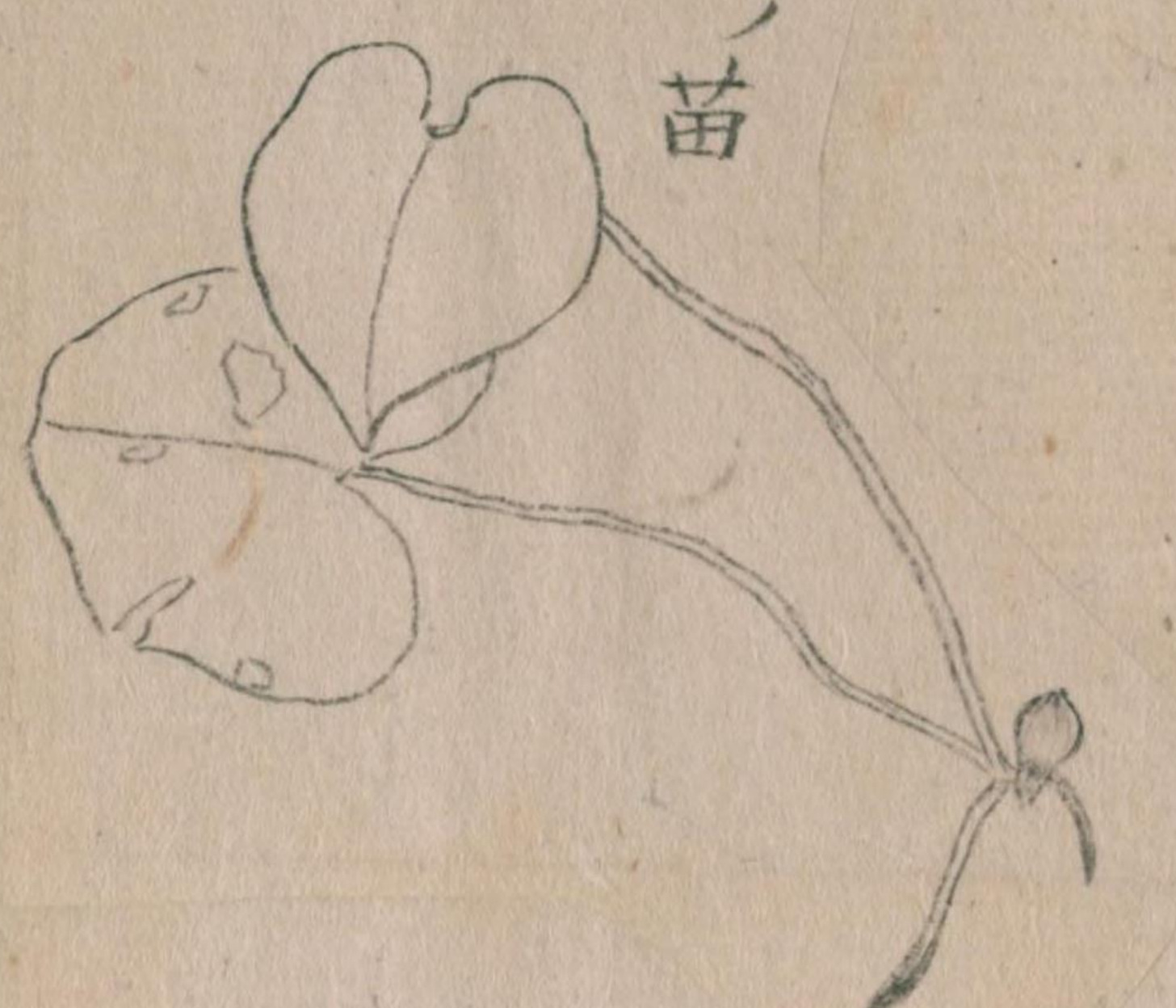
ヤハハ

半夏
獨莖生皮黄肉白

赤城志 三十六



半夏
毒草



半夏ノ苗

ガラス使用

半夏　烏（カラス）ノヒシヤク古根ハ大シ新根ハ小シ國ニヨリ粒大
ナルモアリ然レドモ皮トレ難シ下品シ皮ヨクトレルヲ
上品トス九州ヨリ出ルモノ上品ナリ
大和ハ宇陀

○半夏

半夏　カタホリ（延喜式）　ホソクミ　シヤクシナ　ミツダマ（江戸）　カラスビシヤリ　ヘブス（仙臺）　ス丶メノビシヤリ（周防）　カブラブス（南部）　キツ子ノシヤクシ（近

月ゴロニ宿根ヨリ葉ヲ生シ四月ゴロ花ヲサク天南星ノ花ノテイサキヨヲナモノナリソトハ青クシテ内ニ（州）紫黒色ナルモノナリ河州デ小児コノミテトリテコメカムギカト云テ内ヲワルニ大ナルミトハ小ナルミトガアリソレ故ニカラスノコメト河州デモ云シコノ根ヲバホルト白根五寸バカリ其サキニ丸キ根ガアリサキエツクガ古根ナリツギニアルガ若根トスルナリ味ハ苦ナルモノナリ禮記月令

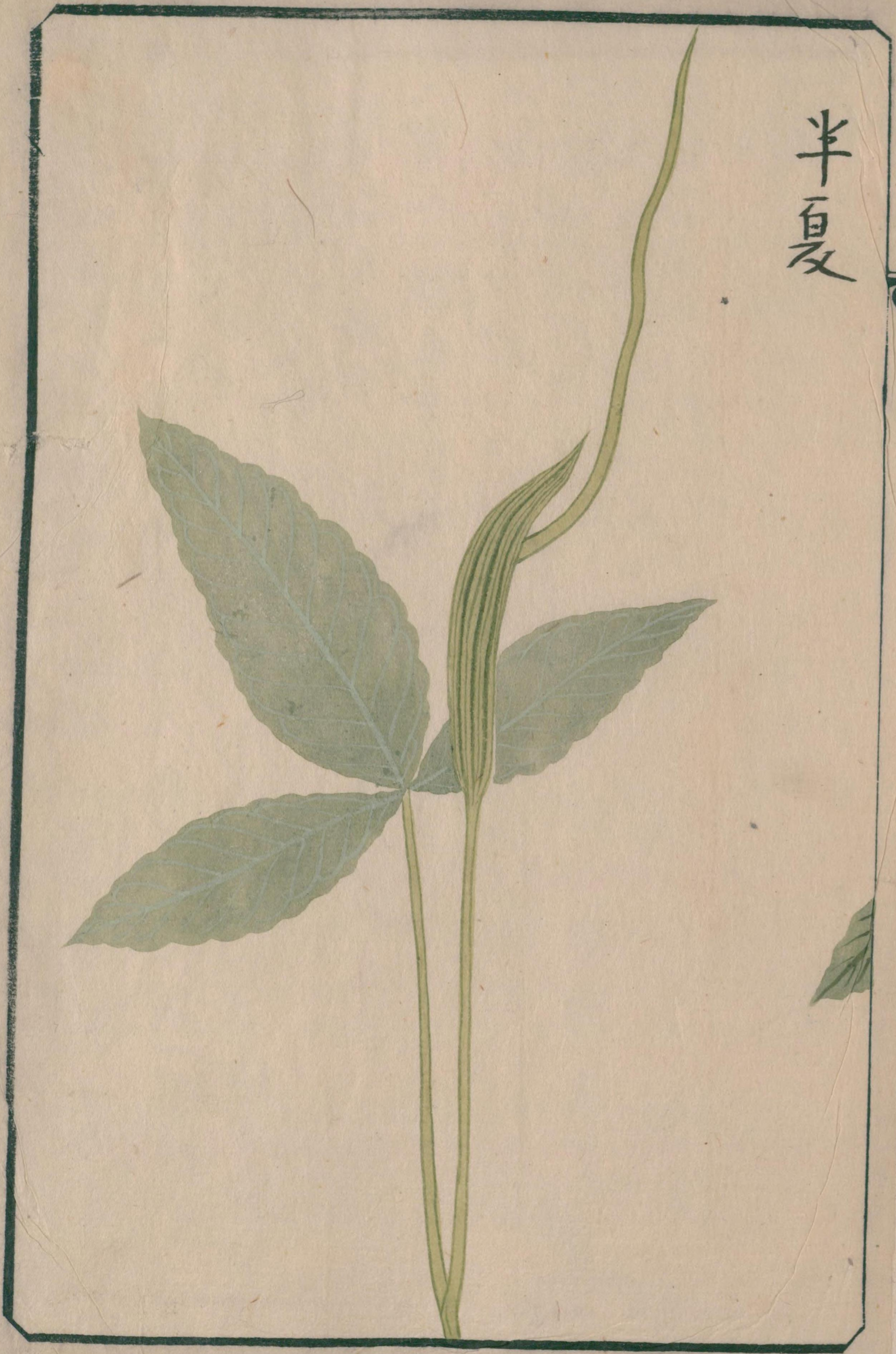
半夏　烏（カラス）ノヒシャク古根ハ大ニ新根ハ小ニ國ニヨリ粒大ナルモアリ然レドモ皮トレ難シ下品ニ皮ヨクトレルヲ上品トス九州ヨリ出ルモノ上品ナリ
大和ハ宇陀

半夏

○半夏

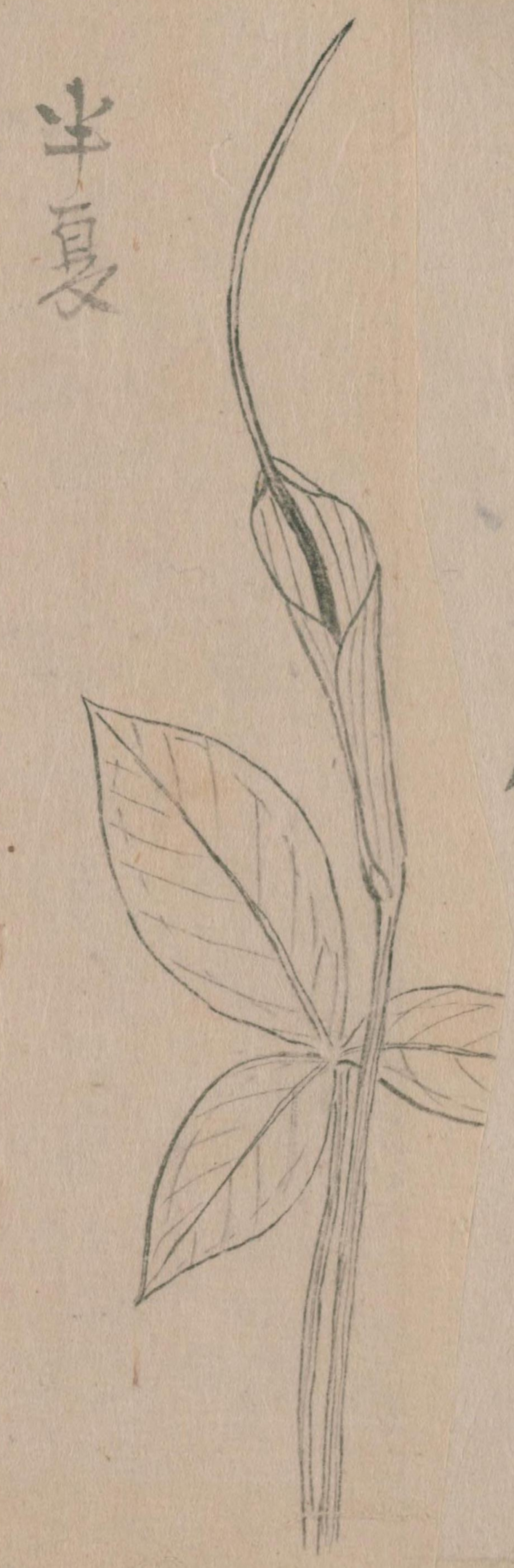
カタホリ　延喜式　ホソクミ　シヤクシナ　ミツダマ　江戸　カラスビシヤリ　ヘブス　仙臺　スヽメノビシヤリ　周防　カブラブス　南部　キツ子ノシヤクシ　近江　カラスノコメ　同上　ヘソクリ　豊後　カラスビシヤク　美濃　野ニ自生多アリ一根ニ三茎茎ゴトニ一本ニ三葉アリサキノ一葉大ナリアトノ二葉ハテイサシヲモダカノ葉ノカタテナリ二三月ゴロニ宿根ヨリ葉ヲ生シ四月ゴロ花ヲサク天南生ノ花ノテイサキヨヲナモノナリソトハ青クシテ内ニハ紫黒色ナルモノアリ河州デ小児コノミヲトリテコメカムギカト云テ内ヲワルニ大ナルミト小ナルミトガアリソレ故ニカラスノコメト河州デモ云シコノ根ヲバホルト白根五寸バカリ其サキニ丸キ根ガアリサキエツクガ古根ナリツギニアルガ若根トスルナリ味ハ苦ナルモノナリ禮記月令

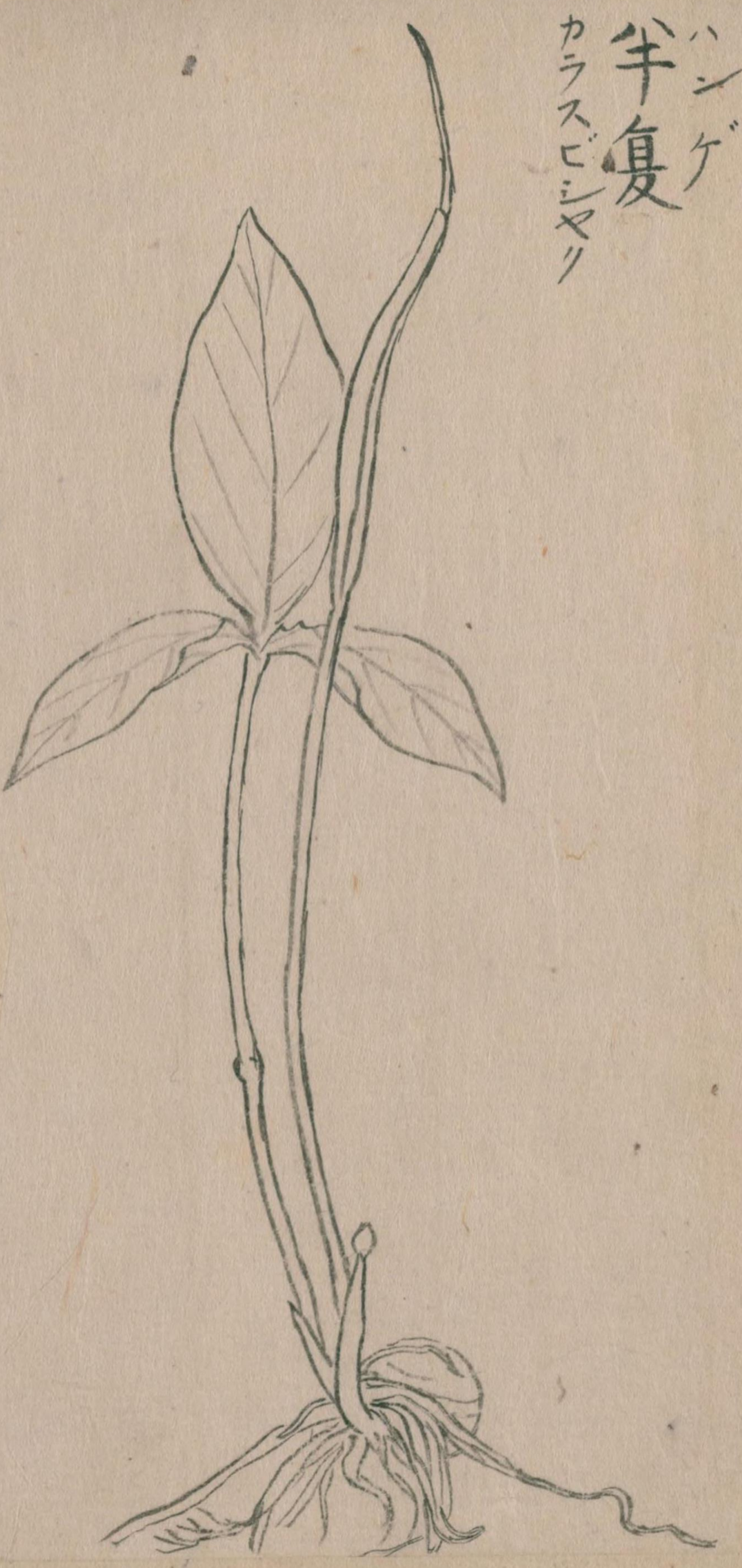
ガラス使用



80
八二

80
八



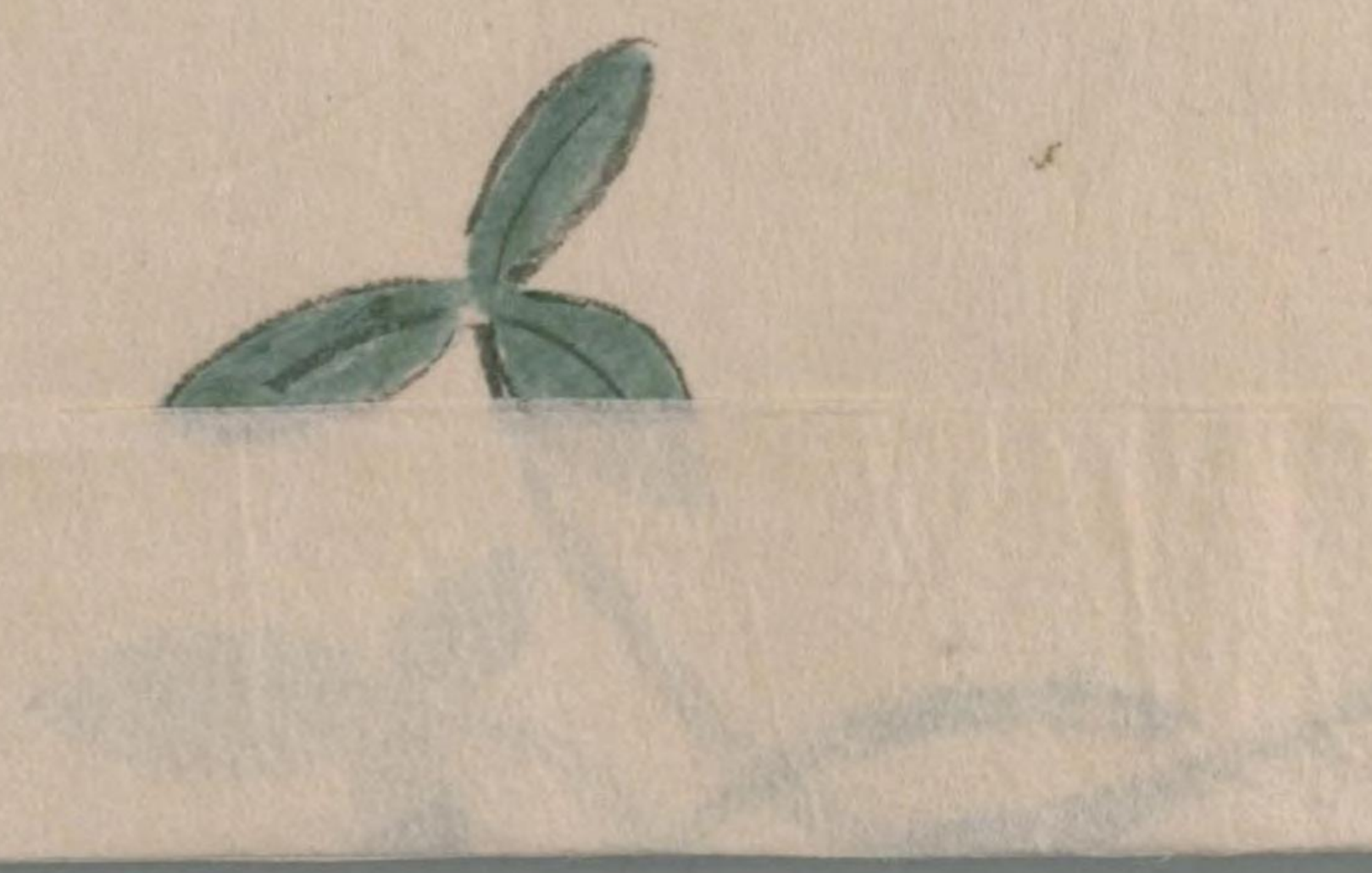

ハンゲ
半夏
カラスビシヤク

ニ半夏五月ニ生スト云ヿアリ又一種
竹葉ナルモノアリ葉ホソク長シ故ニ
名クナリ又一種大半夏ト云モノア
リ田拔トハチガウナリ形ハツ子ノト同シ
大ナル者ナリ葉ノ大サ一尺バカリア
リ故ニ名ク比ヲバ舟半夏ト云ナリ遵
生八專ニ一名大半夏ト云トアリツズ大
ミニシテ色ハ白シコレヲバ上品トスル
ナリ安藝周防豊後アタリヨリイズ
ルナリ上品ナリ江州ヨリイズルヲバ
下品トスルナリ薬店デアライト云ツ

半夏圖廿四 〃

半夏 （嶋名 サヽハ）

豆州海濱[illegible]
仲木[illegible]



半夏

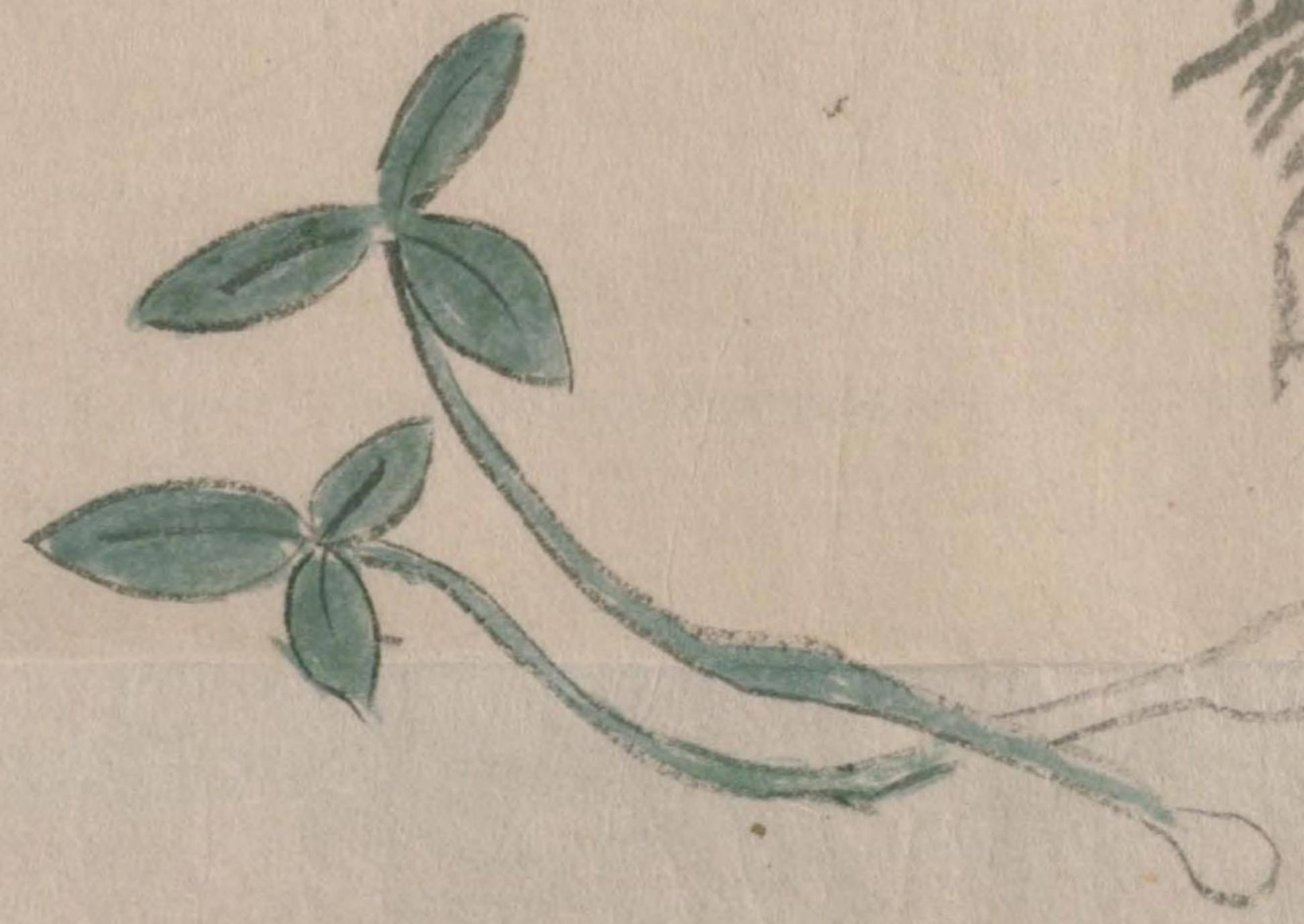
和名類聚鈔（巻之二十 草木部）、、、、
半夏 本草云半夏（和名保曽久美）
本草和名（苐十 草下） 半夏 一名地文 一名水玉
一名守田 一名示姑 一名半眼 半夏（生平澤者）
一名和姑 一名天資 一名水浴 旦出釈（薬性）
和名保曽久美
醫心方一 半夏 （和名保曽久美）
延喜式（三十七 典薬） 諸国進年料雜薬 伊賀国半夏二斗
伊勢国半夏六升 尾張国半夏大五升 、、
美濃国半夏二斗八升 、、、、
讃岐国半夏一斗三升

ニ半夏五月ニ生ストヿアリ又一種
サ葉ナルモノアリ葉ホソク長シ故ニ
名クナリ又一種大半夏ト云モノア
リ田抜トハチガウナリ形ハツ子ノト同シ
大ナル者ナリ葉ノ大サ一尺バカリア
リ故ニ名ク此ヲバ舟半夏ト云ナリ遵
生八専ニ一名大半夏ト云トアリツズ大
ニシテ色ハ白シコレヲバ上品トスル
ナリ安藝周防豊後アタリヨリイズ
ルナリ上品ナリ江州ヨリイズルヲバ
下品トスルナリ薬店デアライト云ツ

半夏圖廿四 々

半夏 嶋名 サヽハヘシコ

[illegible]



半
夏和名類聚鈔（巻二十草木部）丶丶丶丶
半夏 本草云半夏 和名（保曽久美）
本草和名（巻十草下）半夏 一名地文 一名水玉
一名守田 一名示姑 一名半眼 半夏（生平譯者）
一名和姑 一名天資 一名水浴 已上出（藥性）釈
和名保曽久美
醫心方 一 半夏 和名（保曽久美）
延喜式（三十七典薬）諸国進年料雑薬 伊賀国半夏二斗
伊勢国半夏六升 尾張国半夏大五升 丶丶
美濃国半夏二斗八升 丶丶丶丶
讃岐国半夏一斗三升

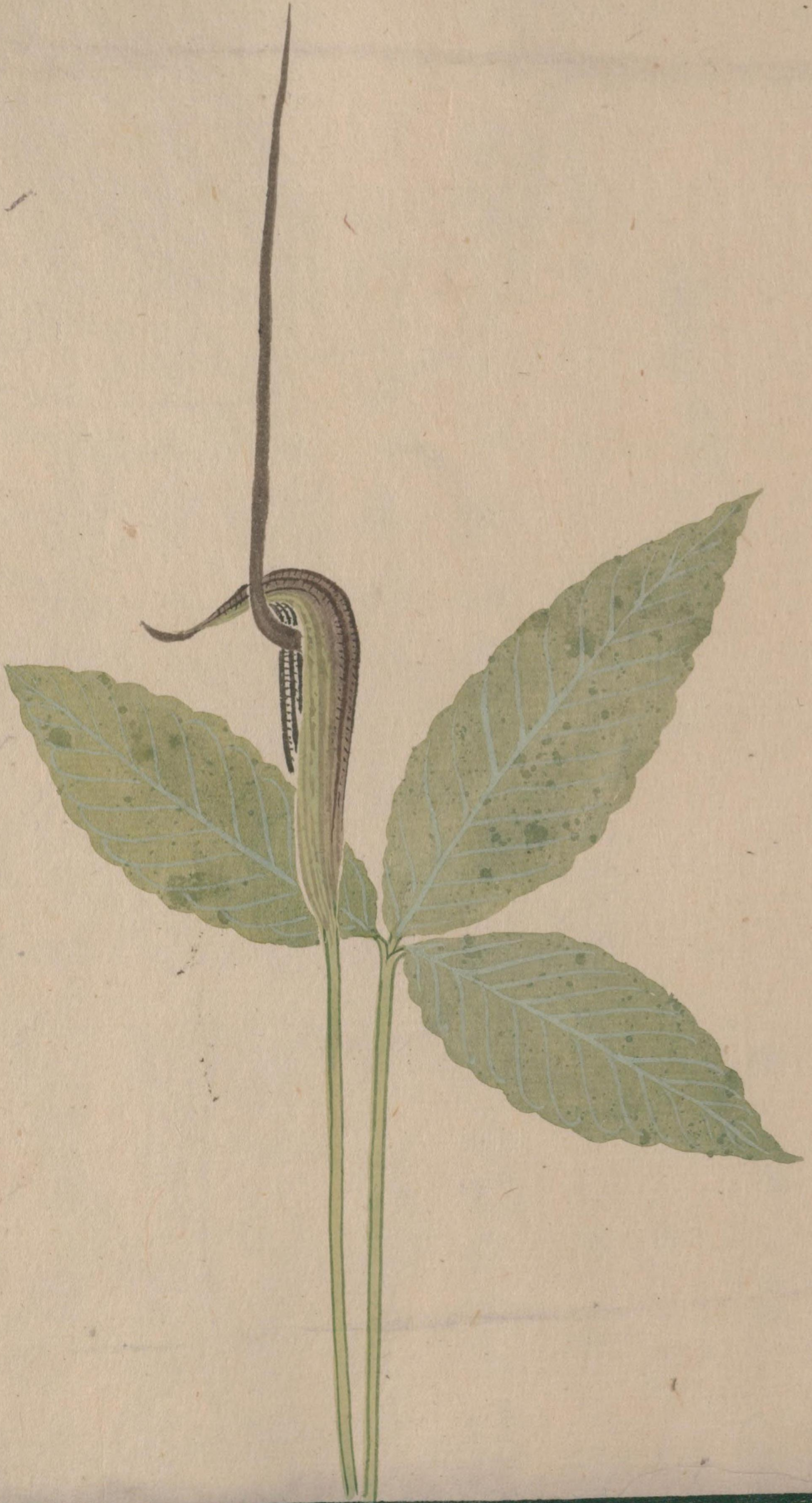
○按ニ、半夏和名保曽久美ハ諸國随處最
多キモノニシテ隨方言モ亦尠カラズ（又加之保曽）ヘソ
クリ備後、ホソグリ肥前、ヘツベ木曽、（ヘニヘ日向）ヘブス常州、
ヘブス仙臺、（北海道）ヘボツ、武州八王子、ヨメノヘソノ名多キハ此境
（細）ソノ根ノ半ニ着キテ臍ノ状ヲナセバナリ、又多
スビンヤク、栗ミヅガヤ、東京今多ク半夏ヲ
和漢通名トス
其他異名多シ

九年十一月廿一

半夏　雲州　峰稲部ヶ岳ヨリ上ニ出
薩之南　唐藩　豊前中津
豫州　[illegible]
テハハ江州

ヨリカワヲサツタルモノヲバ云ナリ
又サラサザルヲバキリダシト云ナリ
又キリダシ山ダシト云シイタッテコ
マカキモノヲバジヤリ半夏ト云シ
又豆半夏トモ云シ肥後ヨリ出ヲバ下
品トスルシ一名痰官霹靂（茶譜）雉毛
○邑（採取月令）爾姑（證類本草）カナアヘン
クルイト（紅毛）半下（借音）
邑上有奴字（林家方）

紫花半夏



撰品 半夏邦産形如兎屎大而潔白者為佳不拘其大小俱可用 圖経所謂羊眼半夏是也出豊後肥後薩州者為勝西方州郡皆有之又有江州半夏質硬皮褐色者下品又有大半夏形似天南星而白色味若本條所謂齊州半夏是也薬舗此呼天南夏又花戸有称漢種者称蛮産者

[illegible]長崎出考二

半夏ノ根掘リテ乾カシアルモノヲ山兒トリテ噛ミテ大ニ口中ニ障リ悩ミシコトアリ 多民術

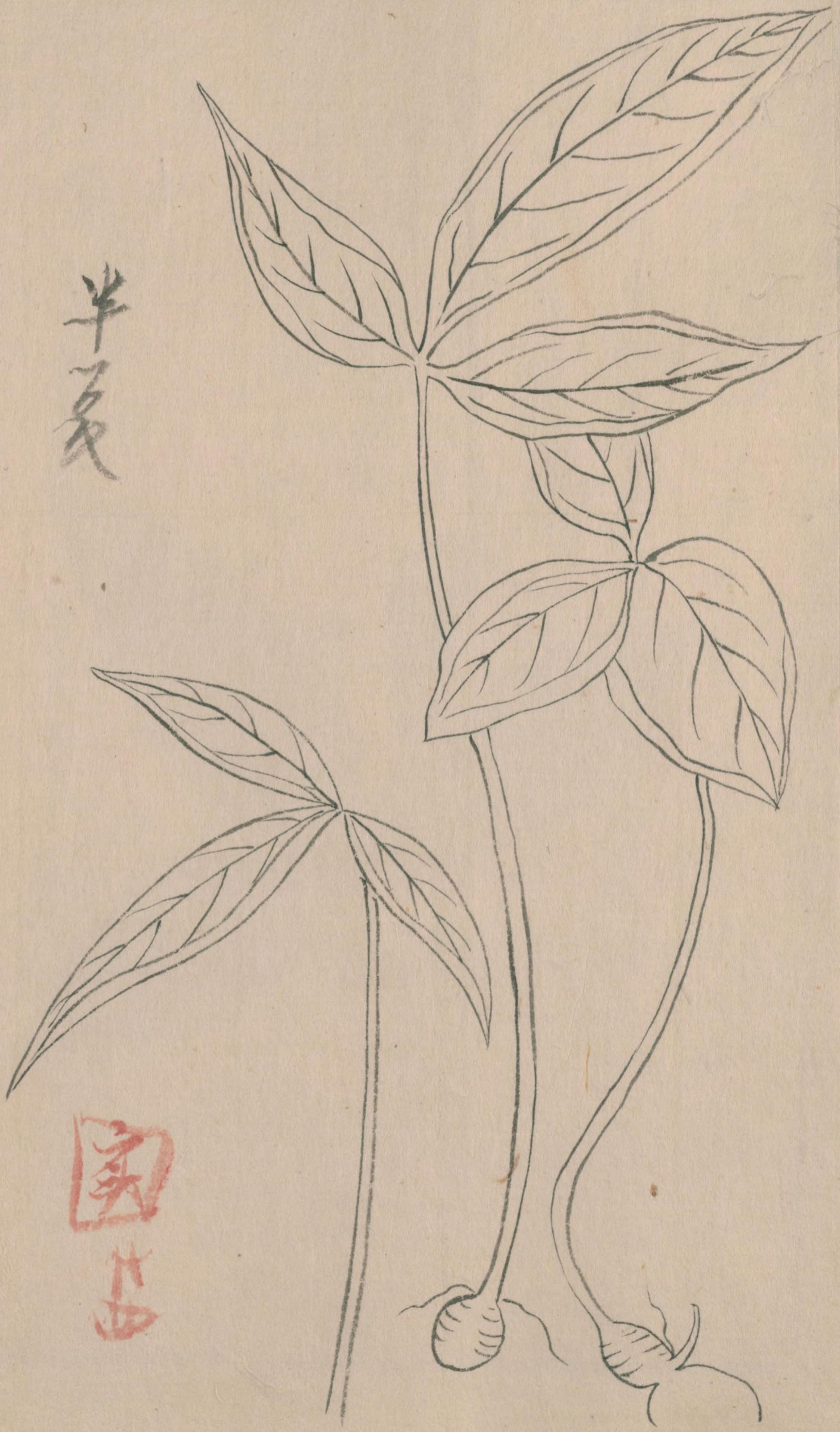
有毒

Arisaema ringens. Schott カラスビシヤク

半夏（周防國吉敷郡小郡白松）（日本地誌提要 五）

半夏

半夏本經下品所在皆有有長葉圓葉二種同生一處夏亦開花如南星而小其梢上翹似蝎尾因始呼爲蝎子草凢蝎螫以根傳之能止痛錢相公篋中方亦載之諸家本草倶未及此本草會編謂俗以半夏性燥多以貝母代之不知痰火上攻昏憒口噤自非半夏南星曷可治乎半夏一莖三葉諸書無異詞而原圖一莖一葉前尖後歧乃似茨菰葉余會遣人繪川貝母圖正與此合豈互相舛誤耶抑俗方只此一物而兩用耶二者皆與圖說不相應非書不備則别一物



雩婁農曰半夏處處有之乃以鵲山爲徒余讀孔平仲詩而啞
然也藥物雖已法製非棗栗之皃可比何至摽攫代懷辛螫啼
噪耶其末云老兄好服食似此亦可防急難我輩事感惕成此
章始知娆言以諷非眞實耳昔人好食竹鷄尚能中毒況服半
夏過度（豈）不爲害

半夏 ハナ古ゟ[illegible]上

[illegible]

○ヘブス（本古内まゝ仙臺ふても如くと云　ブスとえは鳥頭の夷名なり）　クタホソ（延喜式）　半夏（本草綱目）

かたかそ　ホソクミ

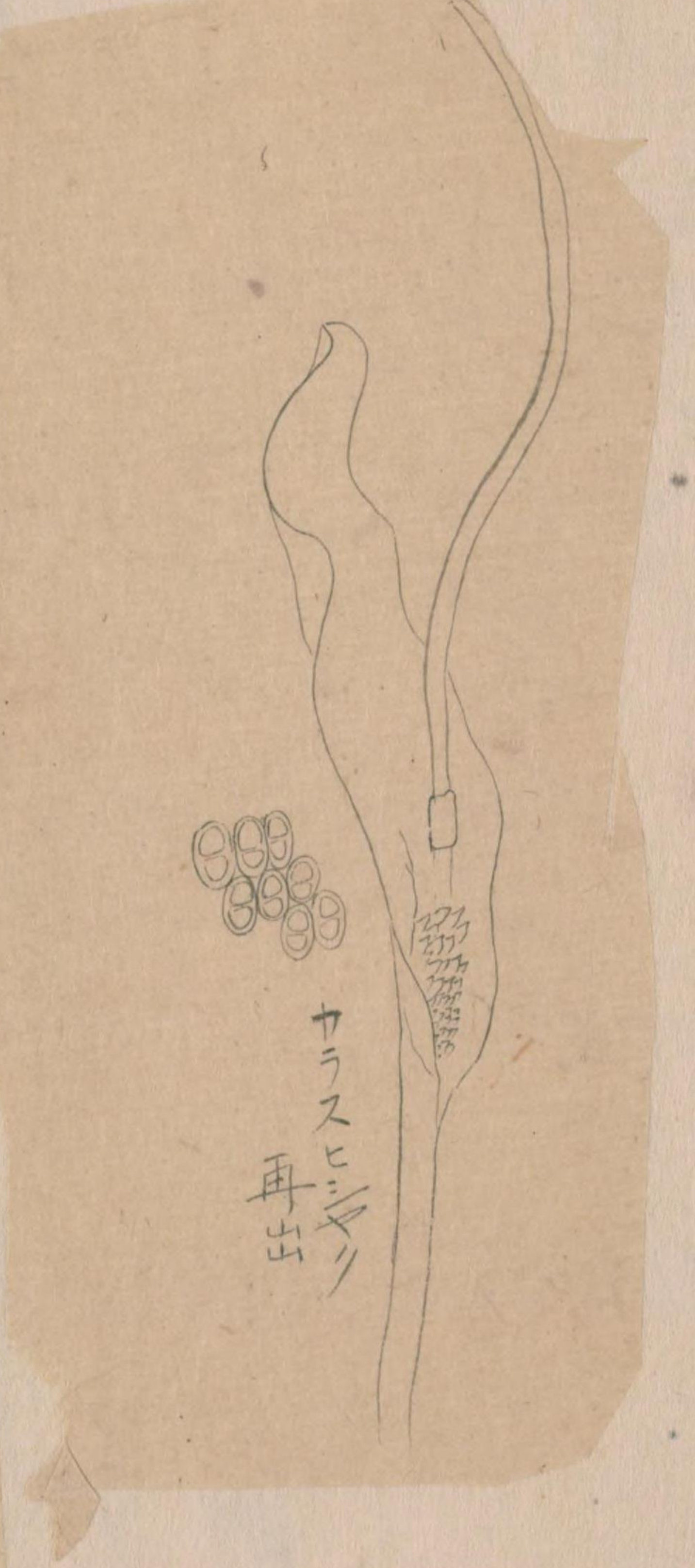
大五五　拔萃云半夏　和傳半夏（加太保）

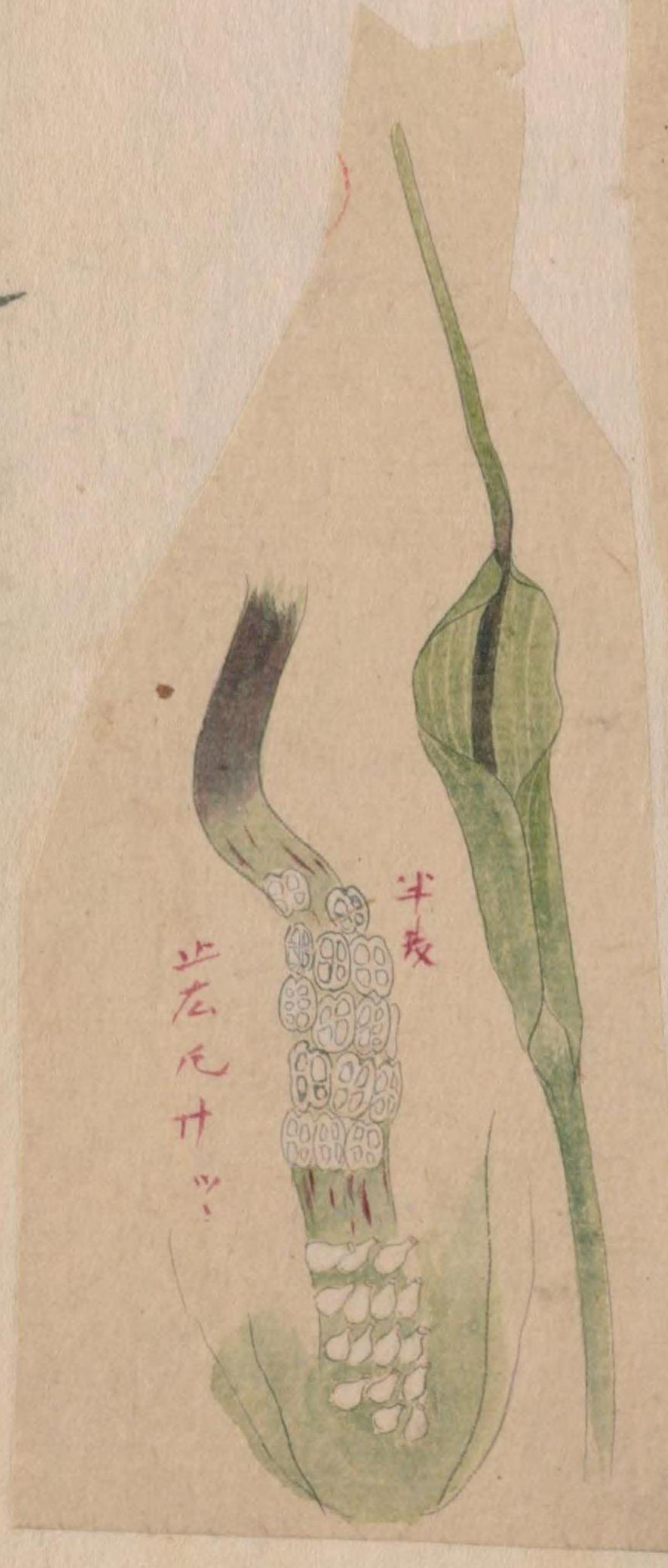
動１名井

半夏加多保曾比加久智又云可豸（ラ）須（ス）比志
也久　**異名**　守田（シユデン）本經　水玉（スイギヨク）同　地文（チブン）別錄

ヤ七二附

十三　テンナンシヤウ　カラスビシヤク　ハンゲ　ハンゲナンシヤウ

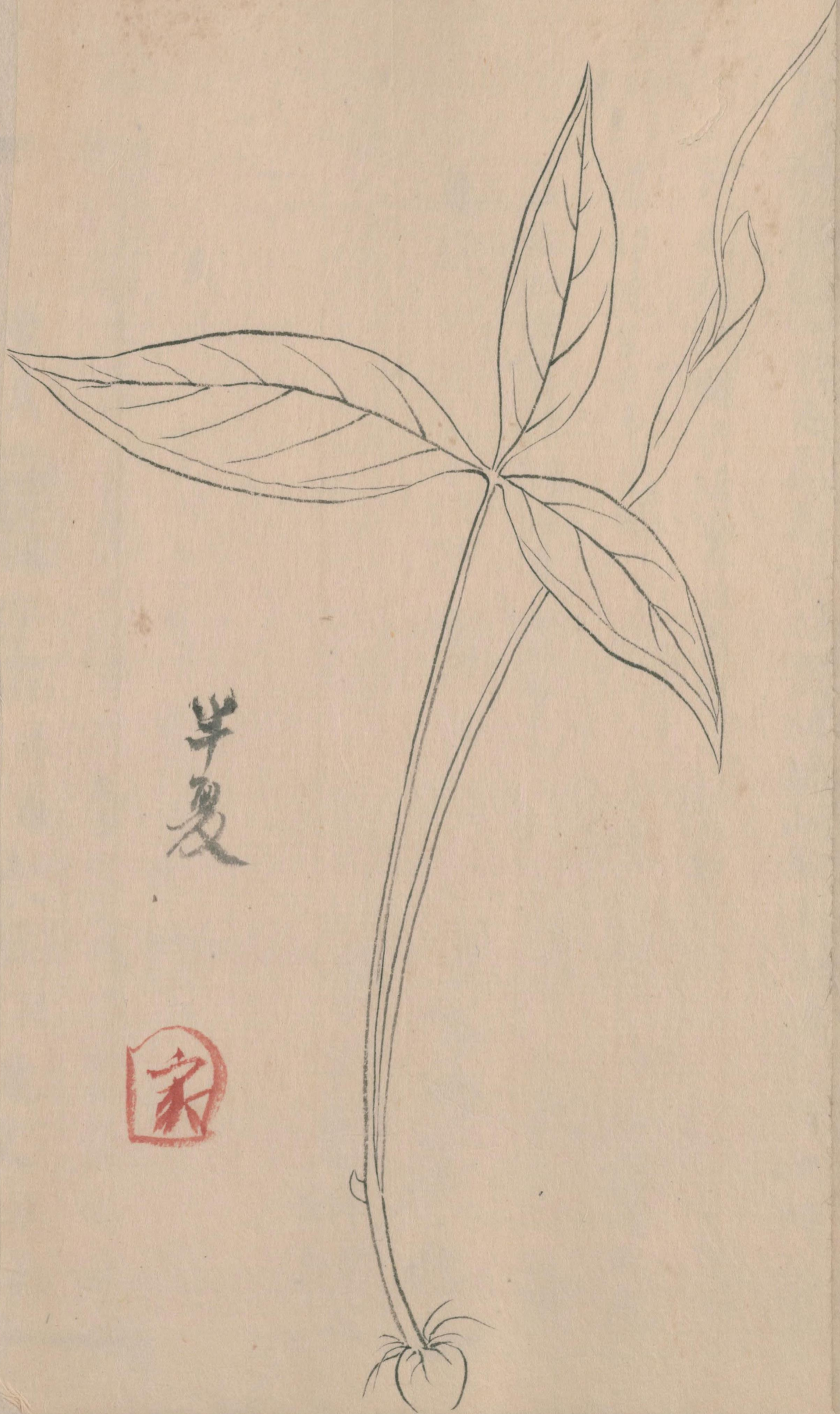




Arum microtum　スミツト　半夏

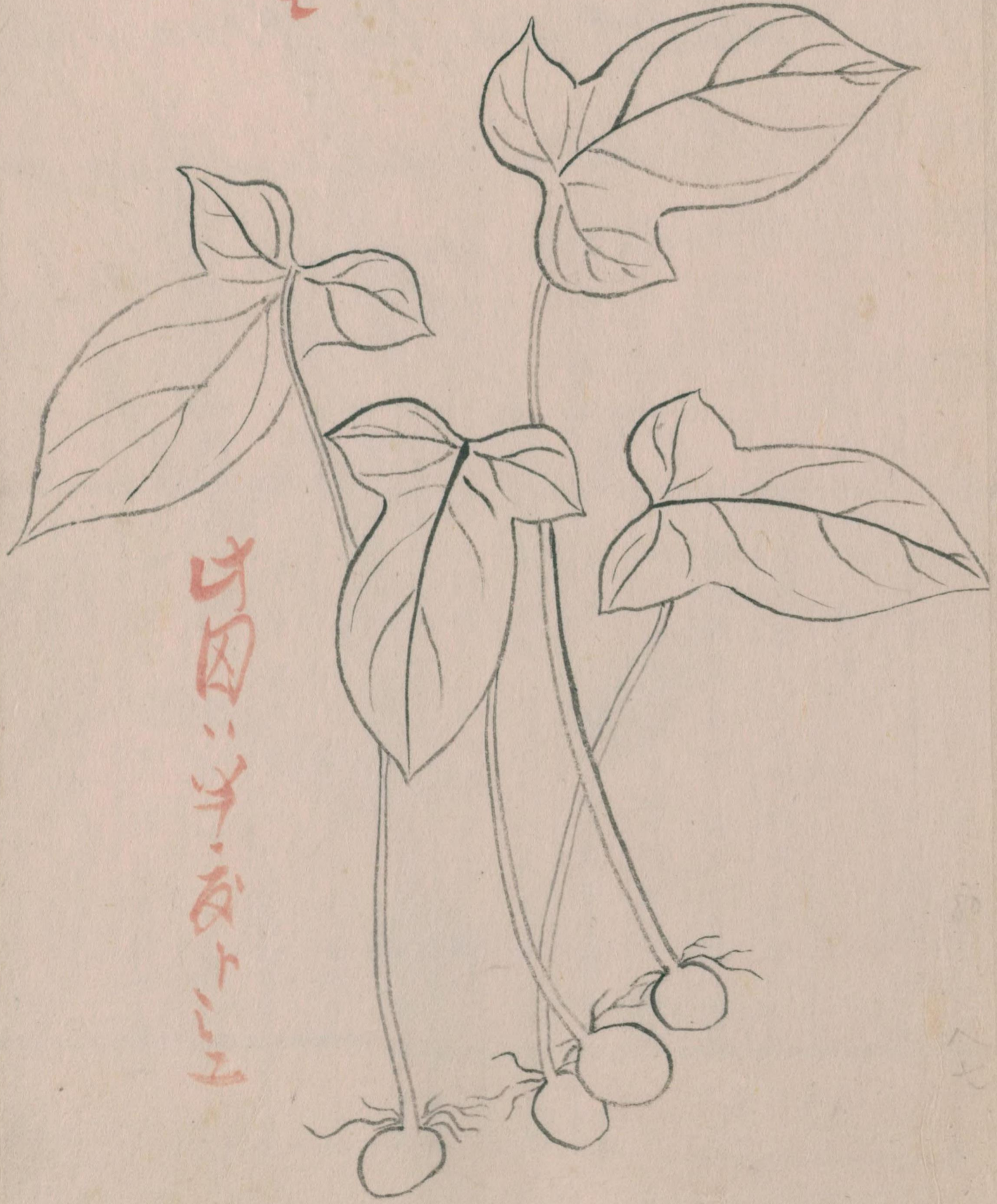
半夏

家

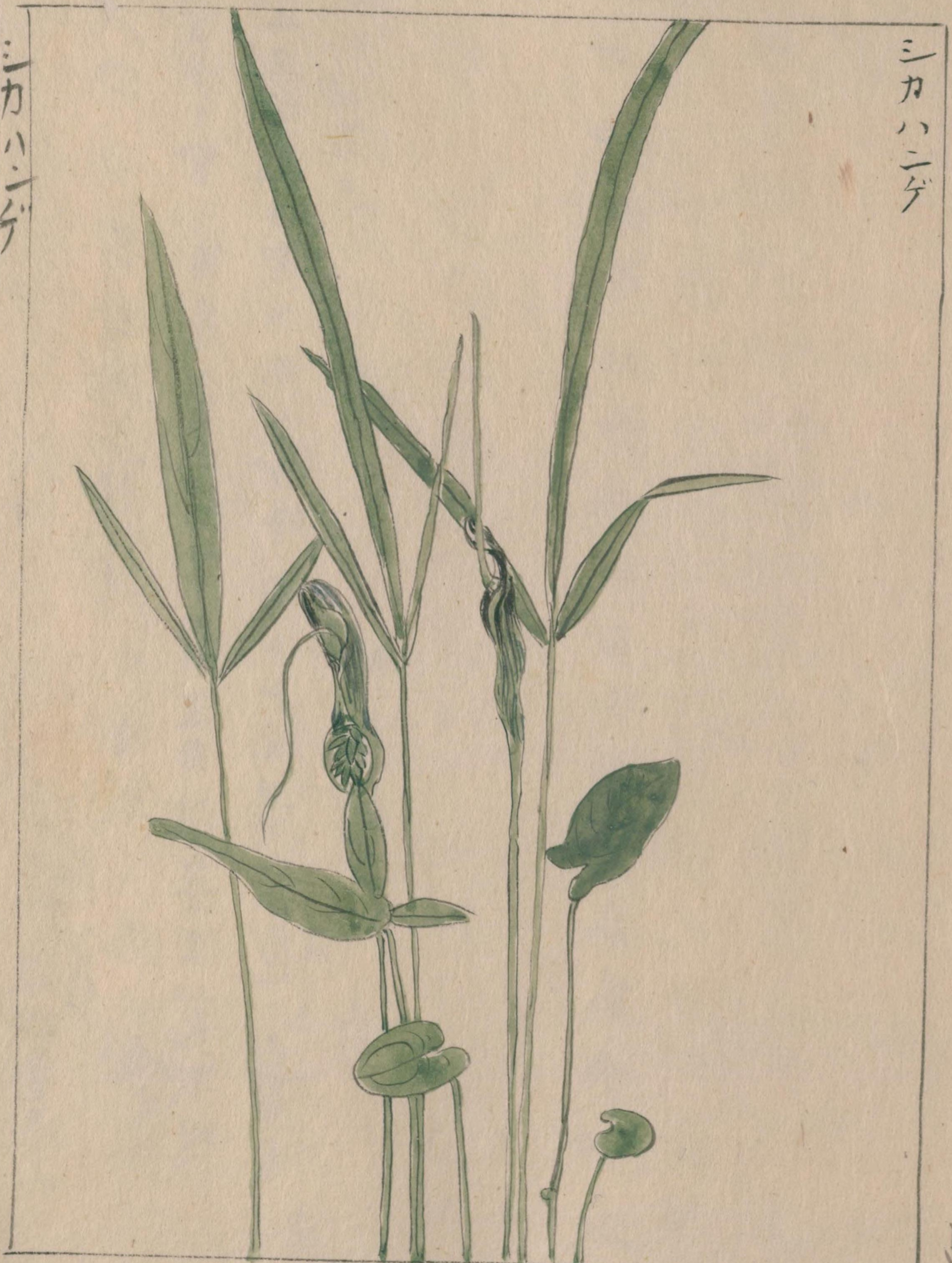


是毋 図七

此図ハ半夏トミエ

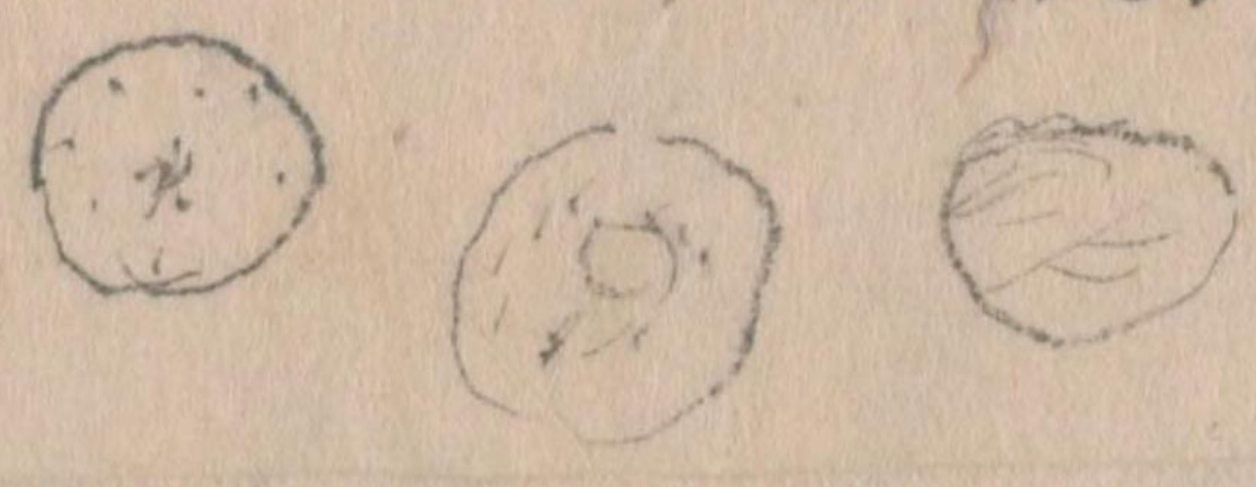


シカハンゲ



80

生半夏 Tubes (Tuber-buds) from the leaves of pinellia tuberifera Tenore (南星科^訳) Arisaema ternatum Schott.



handbuiji

半夏　カラスヒシヤク

薬用ニハ野生ヲ用一茎三葉ニシテ小艸ナリ根ニ玉アリ春花生緑色ニシテ天南星ノ花ノ形ニ似テ小ナリ稀ニ外青ク中紫色ノ花モアリ葉甚狭キモノモアリ又大半夏ハ葉大ニシテ由跋葉ニ似テ茎長ク光リナシ花紫色ナリ根モ由跋南星ルイニ似テ半夏ニ不似由跋ノ一類ナルヘシ又紅毛半夏アリ葉匙ノ形ニ似テ葉先尖リ茎短ク地ニヒラミテ生ス夏深紫色ノ花ヲ開此亦花茎短ク花大ニシテ常ノ半夏ノ花ニ異ナリ花中細絲アリヒロウトノ如ク甚見コト也

葉ノ本ニテカニ切レス燕尾ノ形ノモノモアリ

イモクサ　美濃國各務郡　草類

四半夏

色形圖ノコトク里ニ生長壹尺以下有三月頃芽出花不咲
根本ヨリ二三寸上ニ大サホウヅキホトナル黄白色ノ實有
十月頃枯ル（圖略之）

中國譜志　六

辨如蛇頭其根塊純白正円亦有扁者俗呼迎布
ボ
一種有葉狭長而如竹葉者其形状不類尋常者
俗呼竹葉半夏
一種有葉長大及四五寸者本草称之大半夏一
名馬半夏
一種有中央葉二寸許左右葉不過一寸者

常陸物産志　六

ガラス使用

イモクサ　美濃國各務郡　草類
色形圖ノコトク里ニ生長壱尺以下有三月頃芽出花不咲
根本ヨリ二三寸上ニ大サホウヅキホトナル黄白色ノ實有
十月頃枯ル（圖略之）
中國譜志　六

半夏　甲斐國都留郡吉田村　又曰摩郡駒ヶ嶽　日本地誌提要二

半夏
保曽久美（順和名鈔）　加太保曽比（丹波和名鈔）
多生圃中春月生苗一莖以三葉為一葉其葉長
短不一淺緑色而形似鴨跖草夏月開花紫碧長
辧如蛇頭其根塊純白正円亦有扁者俗呼辺（ヘ）布（ブ）
寸（ス）
一種有葉狭長而如竹葉者其形状不類尋常者
俗呼竹葉半夏
一種有葉長大及四五寸者本草称之大半夏一
名馬半夏
一種有中央葉二寸許左右葉不過一寸者
常陸物産志　六

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9　ガラス使用

半夏
味辛性微寒一莖三葉五月採則虛小八月採則實大本草云
物産志彙　六

廣信府志

半夏
獨莖生皮黄肉白一名守田
太平縣志　巻三

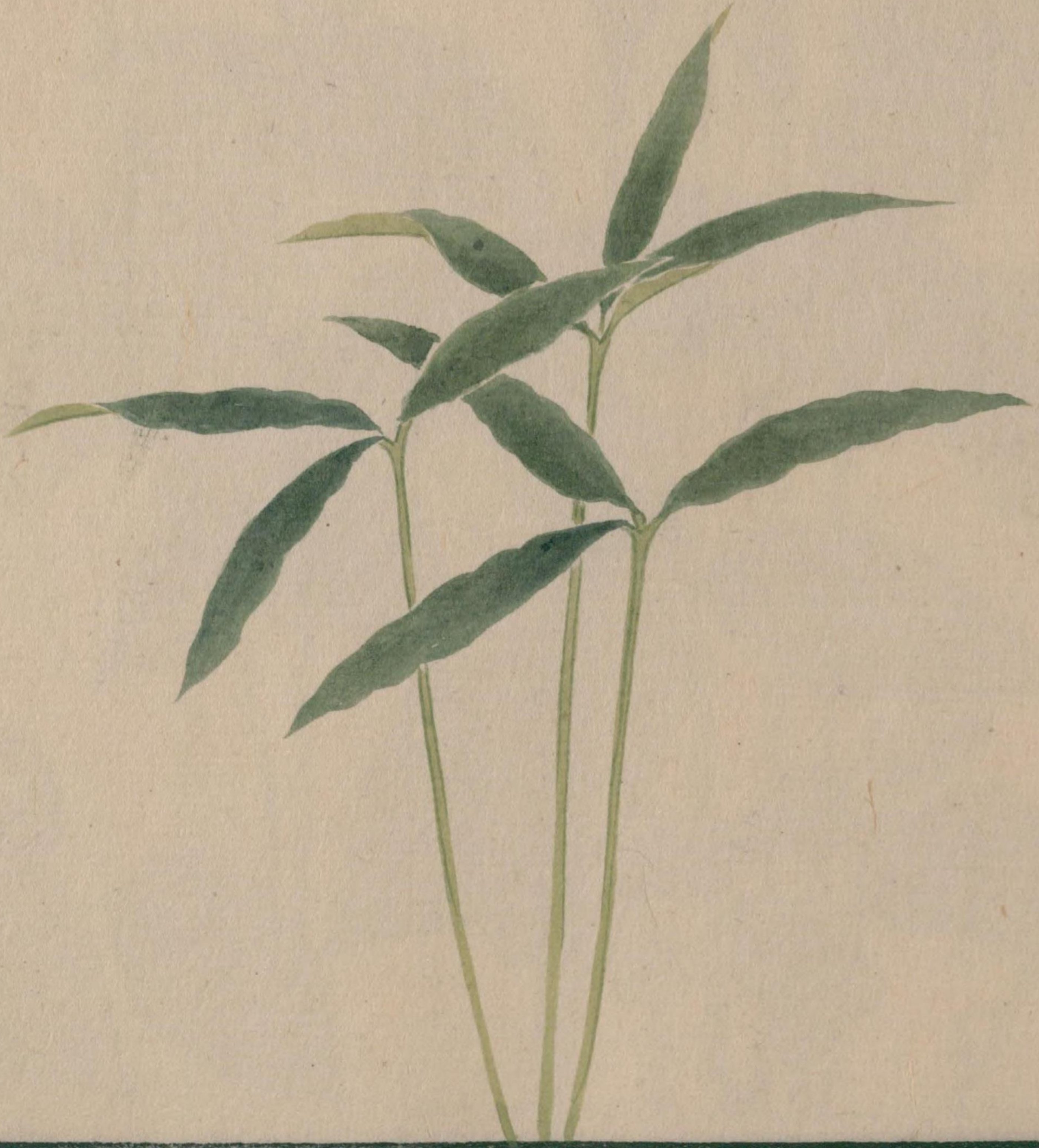
半夏
名守田
壽昌縣志　八

半夏
月令五月半夏生蓋當夏之半也故名
安慶府志　巻五

半夏
一名守田一名水玉一名地文一名和姑月令五月半夏生苗一莖莖端有葉淺綠三三相對開白花八月采根圓白者爲治痰要藥
太平府志　巻十三

Pinellia tuberifera Ten.　カラスビシヤク
P. angustata Schott.　[illegible]
P. tripartita Schott.　オホハンゲ
右版本ニ花アルモノト但シ[illegible]本ヨリ見ユル
他書ヨリ採ル

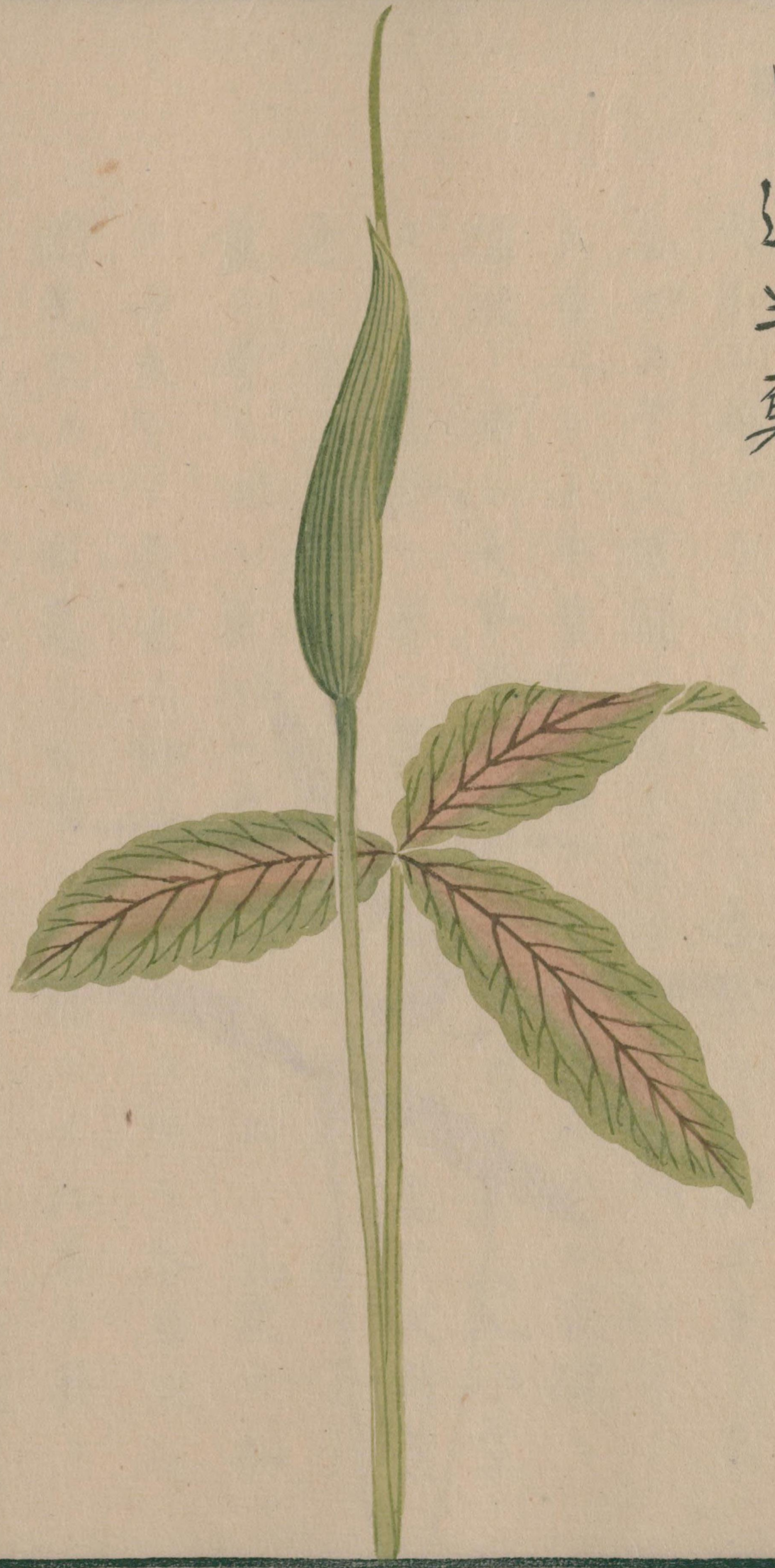
細葉半夏



半夏　和名カラスビシャク

大小二種アリ小ナル者ヲ本草ニ羊眼半夏ト云高四五寸三葉聚リ着テ慈姑ノ葉ノ形ニ似テ小ク葉心ニ小半夏粒一顆ヲ結フ根大ナル者僅ニ指スノ如（ゴト）シ大半夏形狀一般ニメ一葉三叉小葉ノ者三葉聚リ着ト異ナリ甚大ニメ高サ尺許黄色ヲ帯テ光澤アリ根ノ大サ寸許花ヲ着ルヿ小葉ノ者ト同シ葉間一葉ヲ抽テ直上メ鼠尾ノ如ク中大ニメ青色ノ細子アリ按スルニ本草及松岡先生ノ大半夏ト云者ハ由跋ニメ此者ト異リ由跋ハ南星ノ條ニ記ス真ノ大半夏ハ濃州江州ノ山ニ産ス

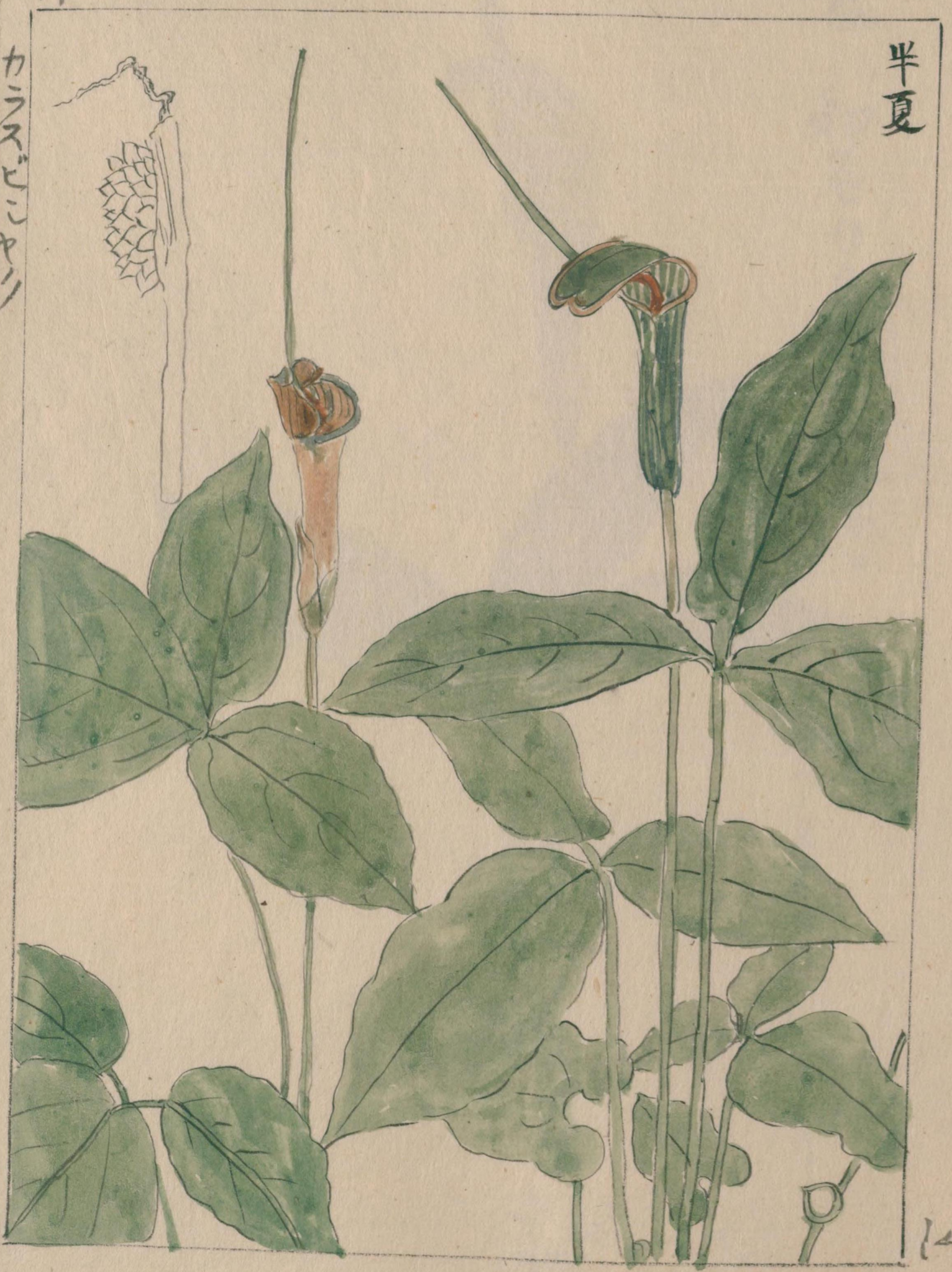
間道半夏



ヤ七三附

カラスビシヤク

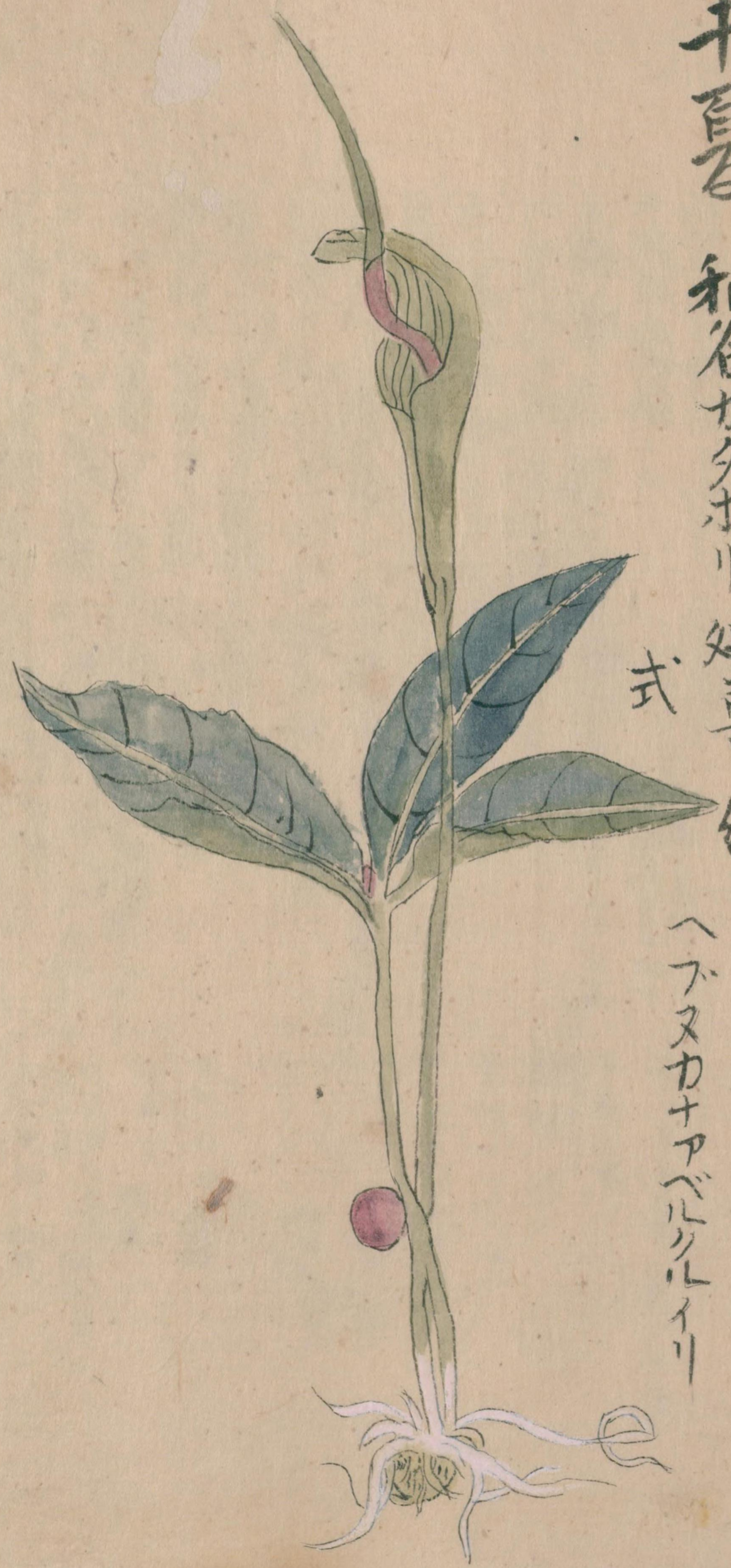
半夏



は

80

九二



羊夏

和名カタボリ、延喜式

紅毛ヘブヌカナアベルクルイリ

半夏

ハンゲ通名
ホソクミ和名鈔
スヾメノヒシヤク周防
ヘブス仙臺
ヘヒス奥州
ヘソクビ備後
ヘソベ（木曾妻篭 勢州坂本）
イモクサ濃州古名
コビソ木曾黒澤
イボイモ（根ヲホリトリイボヲスレバハゲサルヿ妙ナリユヘニ名ツク）
ヘソイモ（其子莖ニ生形ヘソニ似タリ故ニ名ク）
莖臍（エホソ）
ヒガクサ
カルフスヘーテン

カラスビシヤク京
シヤクシサウ
キツ子ノシヤクシ江州
カブラブス南部
ホゾクリ筑前
ヘブス常州真瀬
キツ子ノキショロ中根村
カミナリグサ
根臍（根本及莖ニムカゴヲ生根ゴハイノ如シ故ニ名ク）
ハタゴワイ

カタホソ延喜式
ミヅタヽ江戸
カラスノコメ同上草津
クリコ肥前
ツブロヱ佐渡
ドクダヽ勢州アゲノキ
ヘンヘソ木曾若ノ郷
キツ子ノカンザシ
イボトリグサ
臍付子（ホソクミ ホソクメ）
イガクサ
カミナリクサ実上ニ生意

半夏
熊野物産初志 一

ヤ 七三

白礬一兩末トシ泡湯ニ和シ酒麹ヲ造ル如シ楮葉ヲ以テ包ミ晨ニ風乾ス卽半夏麹トス

上品ノ半夏ヲ細末シ明礬廿匁湯ヲニヤシ又サニシテ後右ノ粉ヲ入一日ホド浸取出シ日ニ干ツ取出シタルニ半夏粉ナリ 不干ノ取出シタルニ米ニシテホスコレ半夏米ナリ是ヲ楮葉ニ包ミニシテ花ヲ付ルト半夏麹ナリ湿痰ヲ治ス或ハ至テ虚弱ノ人高貴人ニ用ル時ニ如製ニテ用ユ

洗半夏ハ湯ノ中ヘ生姜ノ汁ヲ入アツキ内洗フナリ

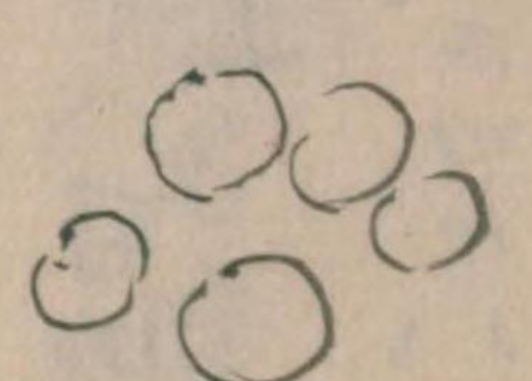
ヤニサシ大和産ナリ上品ナリ大粒ナルヲハ子ト云小ヲ大トス

信濃下品 仙臺 五島上品ナレ𪜈今ハシミアリテ下品ナリ

豊後上品 木曾ハ見タ所ハヨロシケレ𪜈切ルニ心アリテアシヽ（大粒四匁五分バカリ 小半夏三匁二三分）

會津ニテ薬用ノタメニ多クツクル 三尺ニ七間ホドノ花壇ニ植オキ夏ノ土用ニ

豆半夏



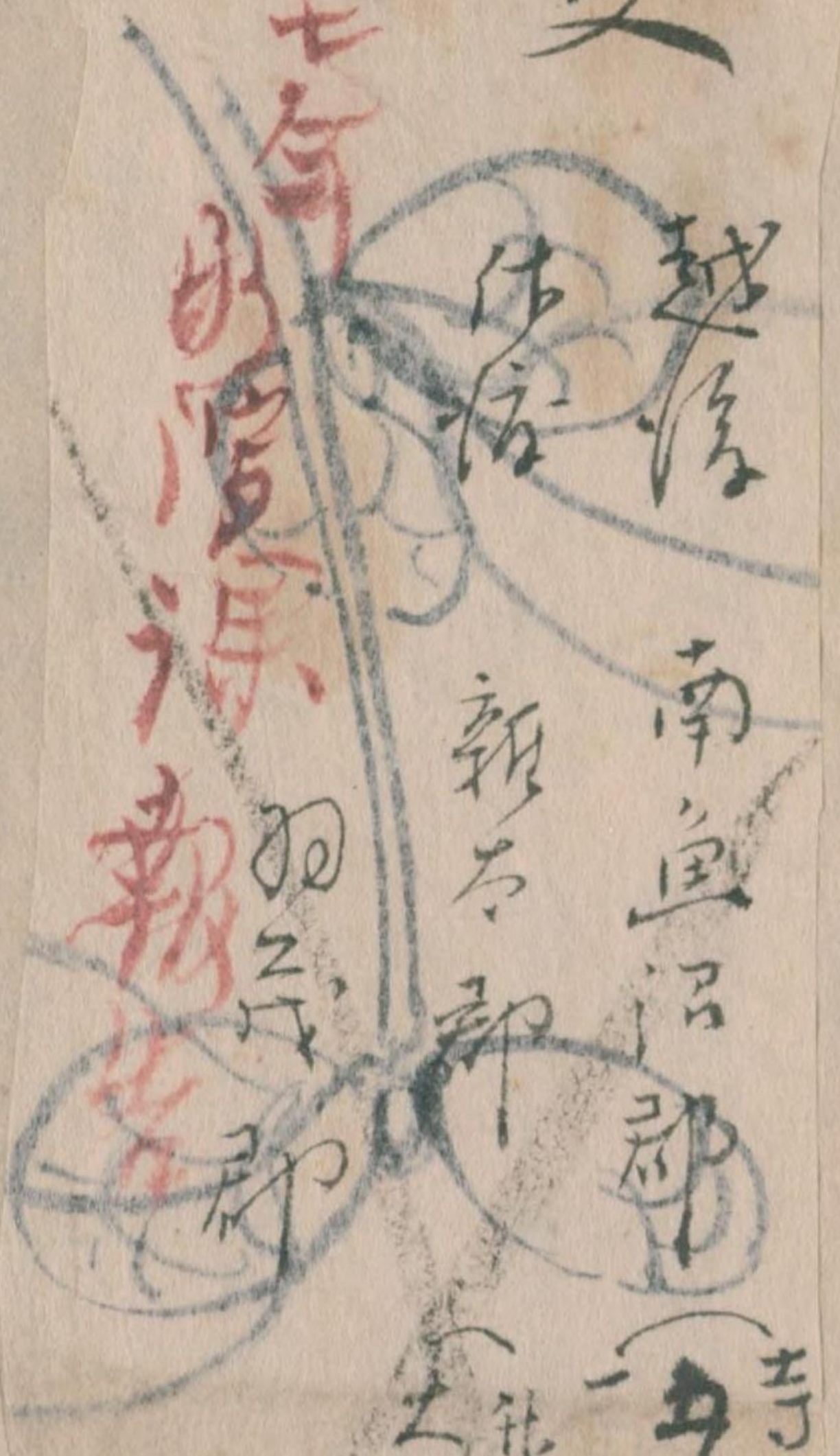
麹下半夏
生干色ニ久ミ

ガラス使用

ホリ出シ大ナルモノヲ採出シ洗テ日乾ス残リノ小ナルヲ植オキ又肥スナリ
相模邊ニテ多ハタナドニテホリイダス皆如此ノ仕業ナリ掘上テ山バカリ一升ノ代
四百文ホドナリ四月ヨリ半夏ノ頃ニテ追々ニホリ来テカリイケニシテ半夏
ノ頃皆堀出シ洗ヒテ熱湯ヲカケホシテ皮ヲ爪ニテトル
會津ノ足洗トニテ多ホル洗ヒ湯ヲトラシホシモミ皮ヲトル
江戸産ハ多ク花黒シ
竹葉半夏ハ大和産細葉ノモノヲ宛ツベシ
千金方 藥注 卒撲青紫ニ瘢痕ニ半夏末水ニテ調傳ク一夜ニメ愈ユ
疣半夏根ホリスレバハゲ去故イボトリ草ト云 ルイレキ半夏南星酒調敷
痰半夏陳皮白茯桔梗末湯下 蛇半夏ト生姜水ニテトキ付ル
蛇皮ノムケタルニ半夏メシツボト練合付 蜘蛛咬半夏苗汁ヌル又半夏末ヨシ
痰ニテツニリ咽痛閉ルニハ半夏ヲ醋ニテ煎可吸塞リ不通ニハ鼻中ヘ可吹入
又巴豆半夏トニ味ヲ醋ニテ煎ジカタメテトキノベ口ヘソロ〱入可吐
〱メ半夏末ヲ付ル又皮ヲ切水ヲ出ノ生半夏末メシツブニテチリ紙ニツケハル
眉毛抜タルニ半夏ヲスリテヌル 髪毛不生ニ生半夏ヲスリ生姜汁ニテヌル

痰宮劈歷 穀耕録　雉毛邑 採取月令　示姑 蓬類本草
雉毛奴邑 村家方
釋名 守田 別録　水玉 本経　地文 同上
和姑 別録 時珍曰禮記月令五月半夏生ス蓋當夏之半也故名守田ハ會
意水玉ハ因形

野生多シ圃中墓地ニ多ク自生ス二三月（穀雨前出芽）舊根ヨリ數莖ヲ生ス莖頭ゴトニ三葉ツキテヲモダカノ葉ノ形ニ似タリ上ノ一葉大ニメ下ノ二葉小シ或ハ長ク或ハ短ク變態多シ又竹葉ニ類スルモアリ竹葉半夏ト云四五月別ニ一莖ヲ抽スルヿ葉莖ヨリ長シ頂ニ花筒アリ後縦ニ開テ深キ匙ノ如シ外ハ緑色内ハ紫黒色ニメ蘂ナリ南星ノ葉ノ如クニメ小ク蘂上長ク尾アリテ直立ス本ハ粗ク末ハ漸ク細ク尖リテ鼠尾ノ如シ其根ハ土中ノ白蒻ノ末ニアリ形圓シコレ宿根ナリ採テ薬用トス又莖上葉隆ニ小白塊アリ嫩根ナリ禮記月令ニ五月半夏生ストハ（半夏ノ生ハ夏至ノ第二候ナリ）コノ苗ハ二月ニ生ス五月ト云フモノハ嫩根ノ生ズルヲ呼ナルベシト先師ノ説ナリコレ羊眼半夏ナリ



半夏

越後 南魚沼郡（寺尾村 十九番ノ内）

（吉町村 十八番ノ内）

佐渡 雑太郡（二村尾村 二十番ノ内）

羽茂郡（羽田村 二十三番ノ内）

（大川村 二十五番ノ内）

明治十七年 [illegible]

三

一 カラスビシヤク

(Pinellia tuberifera, Tenore in.)

半夏

同

Mr. Shimmen Rook 半夏 [illegible]

此草ハ日本にて[illegible]五月頃生ず

ある唐土の書にも日本の書にもみえ 上出

候へども同じ日本の内

この田舎に[illegible]甲斐[illegible] 略 [illegible]蓮華草

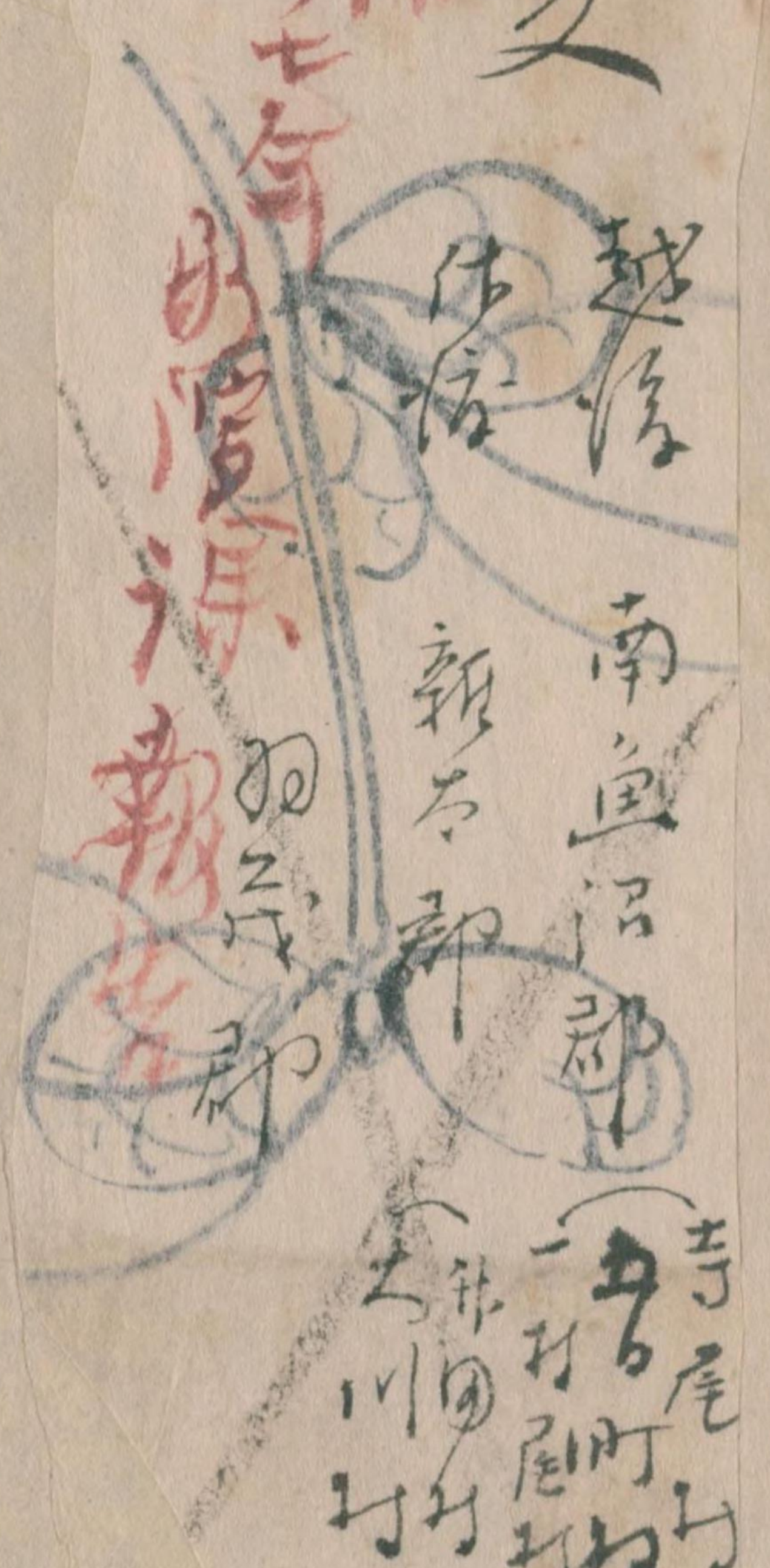
三一 カラスビシヤク

(Pinellia tuberifera Tenore (m))

半夏

同

mOThunmeu RoOK 半夏 スミ叶



半夏

越後 南魚沼郡 （寺尾村 十九年五月 吉町村 十八年五月）

佐渡 雑太郡 （外国村 二十年五月）

羽茂郡 （大川村 二十年五月 ）

明治十七年 由賀[illegible]報告

半夏ハ日本ニても[illegible] 至て[illegible]多し

なり 唐土のものは日本のものに比すれハ 上品

ぬめり[illegible]よし 日本の内

にて[illegible]甲州[illegible]あり 中略 [illegible]

も日本のもの[illegible][illegible]もよし

肥後[illegible]信濃[illegible] 信濃

播州ノ北[illegible]より出

豊前宇佐郡海辺近キ村々田畑ニテ麦秋ノ後婦女子ノ

内職ニハ半夏ヲ堀リ之ヲ商人ニ売リテ貯ヘタル銭ヲヘソクリ

ガ子ト称ス 右ハ[illegible]ノ[illegible]又[illegible]方山手ニ[illegible]

[illegible]ニ[illegible]カリシ 北

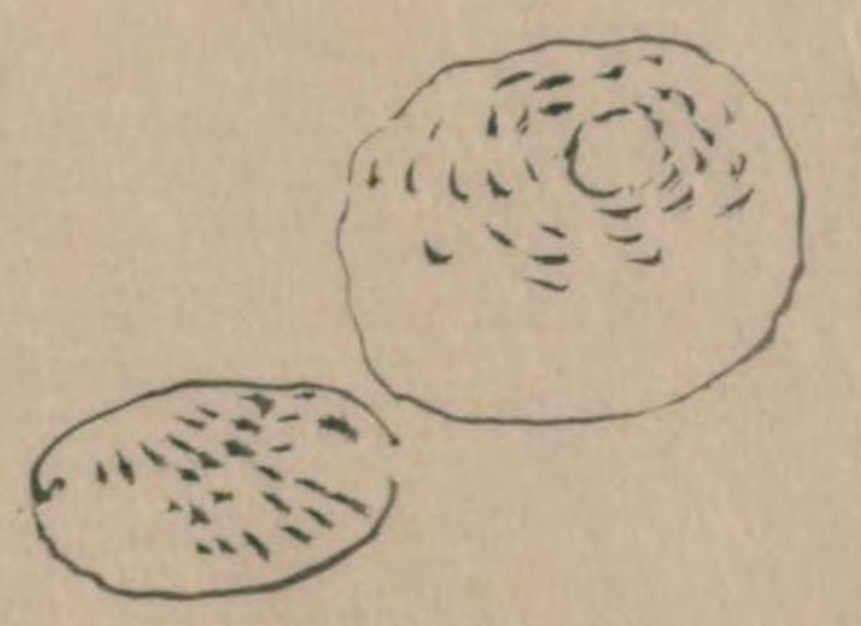
[illegible]ノヒサイヨリ出[illegible]以[illegible]用ヒし 婦トテ[illegible] 二十九年[illegible]

茱家ニ賣ルモノハ皆和産ナリ白色ノモノヲ以テ上トス其黒色或ハ赤色ヲ帯ルモノハ腐タルナリ防州ヨリ来ルモノハ粒小ナレドモ皮浄ク取レテ内ニ腐リナシ藝州モ亦同シ江州ノモノハ皮浄ク取レズ大ナル者ハ内ニ腐リアリ肥後モ亦同シ茱肆ニテ皮ヲ去リタルヲ洗半夏ト云皮ヲ帯ルモノヲ麹下（キクノシタ）ト云（麹ノ下地トモ云ナリ）至テ小ナルモノヲ豆半夏ト云小ニメ賣レザルモノヲ揀ビ出シ湯ニ浸シ杵碎（ツキクダキ）圓餅ニナシテ麹半夏ト云製造精シカラズ故ニ毒アリ宜シク自ラ製スベシ其法ハ修治及本草彙言ニ詳ナリ薑汁白礬湯ニ和シテ子サセ黄衣ヲ生スルヲ麹半夏ト云只碎テ堅メタルハ麹ニアラズ本草備要ニ十種ノ麹法アリ

用薬須治後編 製半夏法 反松子ノ法 半夏百銭枯礬二十銭生姜五銭先ツ半夏ヲ熱湯中ニ浸シ七泡メ滑ヲ去炊クヿ數度枯礬生姜同ク入レ蓋ソ一夜置ケバ翌日カビ生スソレヲ傾ケ去リ石臼ニ入テ搗クヿ二百杵ニメ曝乾シ乾ヲ待テ剉之末ヲ炒用ユ

造半夏麹法 半夏一斤湯ニ浸シ皮臍ヲ去リ切リ片ミ生姜半斤ヲ以テツイテ自然汁半盞ヲトリ

薩州産
洗半夏
上品



半夏
佐渡國雜太郡畑方村加茂郡新穂村
日本地誌提要四

ヤ
七二
済

半夏 一名 和姑（本草和名引釈薬性）天資 水洛（共ニ同上）示姑（證類本草）

和名 ホソクミ（本草和名 和名抄） カタボウ（延喜式） カラスヒシヤク 京 ヘブス 常州 カラスノテツバウ（信州 野州）

ヲボウ（武州八王子） ヘボソ（同上） ミツマタ 江戸 ハンゲ（野州俚俗） 蛮名 カルスヘトテン（蛮語箋）

[illegible]

摂州ノ粒半夏名産ニ諸國野生多シ春月宿根ヨリ生ス根數葉一茎三葉ツヽ中ノ葉大ニシテ左右小ニ蘇頌ノ云似芍薬葉ト是ニ夏一茎ヲ抽テ梢ニ辦アリ稍南星花ニ似テ瘠小一辦一鬚アリ花ノ本ニ実ヲ生ス皆緑色ニ又紫色ノ縦筋アルモアリ又ク紫褐色ナルモアリ一種葉狭クシテ竹葉ニ似タルモノアリ是蘇頌ノ説トコロノ似竹葉者是ナリ以上數品ミナ根白色ニシテ小指頭ノ大サニシテ味薟シコレ蘇恭說トコロノ半眼半夏是ニ凡半夏ハ一葉ノ茎地ニ近キ処ニ一塊ヲ生ス又三葉ノ間ニ一塊ヲ生スイツレモ採テ地ニ植レハ又一根トナル一種大葉ノ半夏アリ蛮名アリユムカルフスートト云三尖アリテ睡菜ニ似タリ又慈姑葉ニ似テ短シ花青緑色竹葉半夏ノ如シ又葉ノ切込深クシテ花紅色ナルモノアリ二種トモニ根大ニシテ拇指ノ大サニテ白色コレヲ先輩ノ説ニ方書及附方ニ齊州半夏大半夏ト云モノニ充ツ薬店ニテ賣ルモノハ潔白ニ

ガラス使用

十七番 半夏

越後 南魚沼郡 寺尾村 五日町村 一村尾村

佐渡 雑太郡 米田村 大川村

[illegible]

カナリ○ヘブス（キコナイ 木古内○マタ仙臺ニテモカクヽ云 ブストハ烏頭ノ夷名ナリ）

[illegible] カクボクソ式更喜

半夏 本草綱目

○半夏 カラスビシヤク 薬用ニハ野生ヲ用一茎三葉ニメ小草也根ニ玉有春生花緑色ニメ天南星ノ花ノ形ニ似テ小也稀ニ外青ク中紫ノ色ノ花モアリ葉甚狭キモノモアリ葉ノ本ニ三ツニ切欠燕尾ノ形ノ者モアリ又大半夏ハ葉大ニメ由跋葉ニ似テ茎長ク光ナシ花紫色也根モ由跋南星叓ニ似テ半夏ニ不似由跋ノ一叓ナルベシ又紅毛半夏アリ葉匙ノ形ニ似テ葉先尖茎短ク地ニヒラミニテ生ス夏深紫色ノ花ヲ開此亦花形短ク花大ニメ常ノ

半夏

登桜其葉與倭産大異狀與杜衡彷彿其花如鼠尾

[illegible]

琉球土名鼠乃尾

半夏 大葉 大島産

登桜其葉大而為山字形其根尤大 大島土名鼠尾

半夏 加賀国能美郡日用村及白山麓諸村 [illegible]

ほろくみ カタホソ はそくさノ条

[illegible]

本和上（四十二） 半夏 保曽久美 和 半夏 保曽久美 大五（十五） 保曽

久美 一名 加多保曽 抜萃云 半夏

はそくさ

大 保曽久佐 延 半夏 ホソクサ

[illegible]

ガラス使用

センカ為メ數日水ニ浸シテ皮ヲ去リ石灰ヲクルミテ乾スユヘ氣味薄クシ又石灰ノ氣アリ能ク
洗ヒ暴乾シ用ユベシ上品ニシテ効勝レリ修治及本草彙言ニ麹半夏ヲ造ル法アリ姜汁
白礬湯ニ和シ子サセ黄衣（カビ）ヲ生スルヲ云本草備要ニ製スル法數種アリ

半夏 春鋪生苗 抽ガ三根 王大ナルヲ以メ[illegible]
エゾリ来ル白水 西名ムセタシ [illegible]
ラ 十三 阿内ニモイス

半夏本草云半夏 保曾久美 ○ 千金翼方證本草下品載之下
總本有ニ和名ニ字 蘇注云生ニ平澤中ニ者名ニ羊眼半夏 蜀本
圖經云苗一莖端三葉有ニ二根一相重上小下大 圖經二月生苗
一莖々端三葉浅緑色頗似ニ竹葉一而光根皮黄肉白

箋注 倭名

半夏

二重倣毛利家 半夏ノ条 増

一種烏蕈ノモノアリ高サ二三寸葉細長ク
三岐ヲナス茎弱クシテ直立シカタシ花ハ天南星ノ形
勢甲ノモノニ似タリ又一種纏蓮ノ半夏アリ
又鏡誌ノ半夏アリ葉ハ大抵半夏ニ似テ小ク
葉ノ形旋花（ヒルガホ）或ハ苦蕎麦（ミゾソバ）葉ノ如シ一葉
ニシテ下両方ヘ分ル一根數葉ヲ生ス夏月別
茎ヲ抽テ花ヲ開ク半夏ヨリ大ニシテ形天南星
ノ如シ一瓣ニシテ長サ三四寸葉下ニ曲リテ烏ノ嘴ノ

半夏　下總国府臺總寧寺ニ於テ江藤氏寄贈

去リ之　明治七年

Arisarum met breede bladeren 534.

半夏　カラスビシヤク

ドノ[illegible]

シカハンゲ

㊅

○シカハンゲ

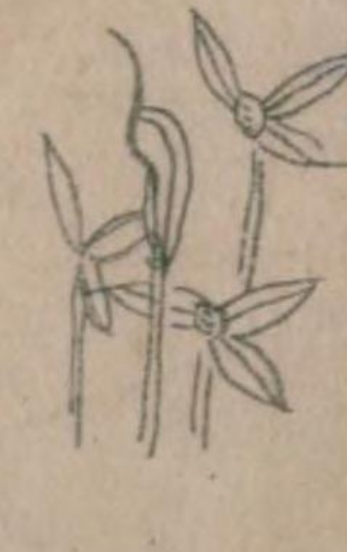
半夏（ニチ屋立）「アリユム」トリホリウム」羅「テーリーブラーキへ カルフスフート」

檣按ニ「アリユム」ハ林那氏第二十綱ノ第七綱ニ収ム一字ヲ更ヘシメ是ヲ属名ト為ス此ノ綱ヲ更ヘ二十二名ヲ有ハ後追ノ名者又是ニ六種ヲ加テ二十八名ト之其第一種ハ蒟蒻 第四種ハ半夏（三葉ノ伊呂巴）ノ名アリ第二十種ハ蜻蛉草（ノ之）第十種ハ「ムサニアフヲ」第十二種ハ菖蒲ノ半種ニシテ葉ニ地模様アリ斑杜ノ蒼ヘヘシミノ芭蕉取扱ト異ナリ和産未知詳ナラス第十五種ハ海芋（ウミバセウ）第十七種ハ「サゼレサウレ」ナリ大体可第十一種中半夏ノ効異又半種ニ近シ今是ヲ為テ本條ニ入

如シ蘂外ニ達シ黄色ニシテ絨像アリ内ニ充果アリ紫黒色ノ斑点アリテ離ルニ至テ断ツ漢少シ芒草長サ寸許ニ花ノ形瓶中ニ在ノ之タルカ如シ花ニ一悪臭アリ花ハ謝シ後蕊宿ヲ結フ夫ヨリ種ノ如シ根ノ形ハ半夏ニ似タリ甚タ寒気ヲ畏ル之レ半夏ノ妻ナリ

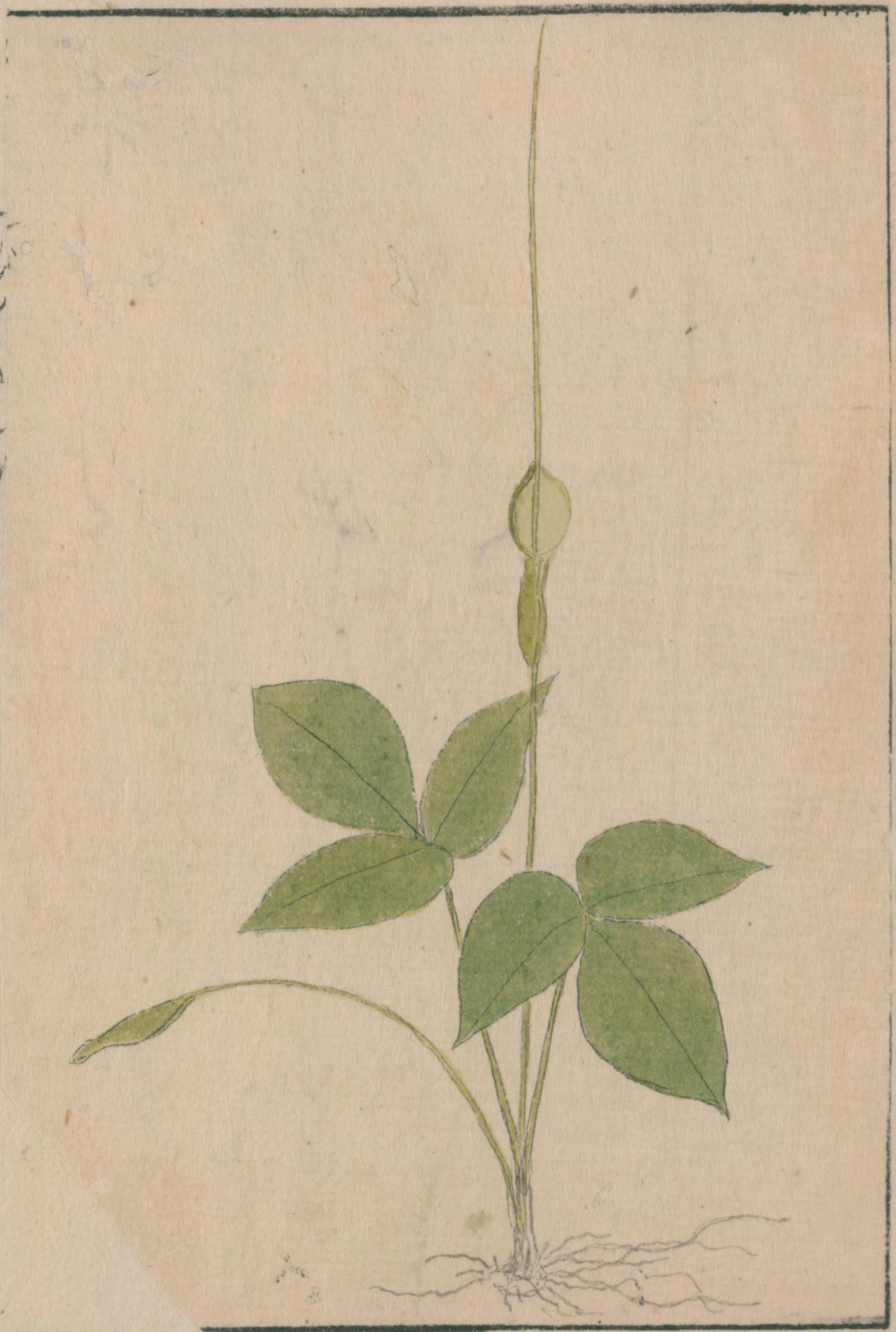
半夏（ハンゲ） 花彙集

半夏草 葉ハあめりそうに似くりて花ハ天南星の花に似て小さく尾長くして葉の中に花を結ぶ小さく用れにて（?）し



半夏 図 カハ 二ナハ下 個々 ニツアリ

ダイハンゲ



半夏

カラスビシヤク
カラスノテツポ

原野ニ多シ春舊根ヨリ苗ヲ生ス葉形睡菜ニ似テ光澤有リ一根一二葉三月花ヲ生シ形チ天南星ニ似テ小花後実ヲ結フ形米粒ノ如シ根モ亦南星ニ似テ細小五月新根ヲ生スル故ニ半夏生ト云苗ヲ生スルコトニ非ス一種大半夏アリ形状似テ長大花肆（ハナヤ）唐半夏ト云又一種朝鮮半夏ト云者アリ花形金葉（アブミ）ノ如クニシテ紫黒色仰キ開其佗異品多シ

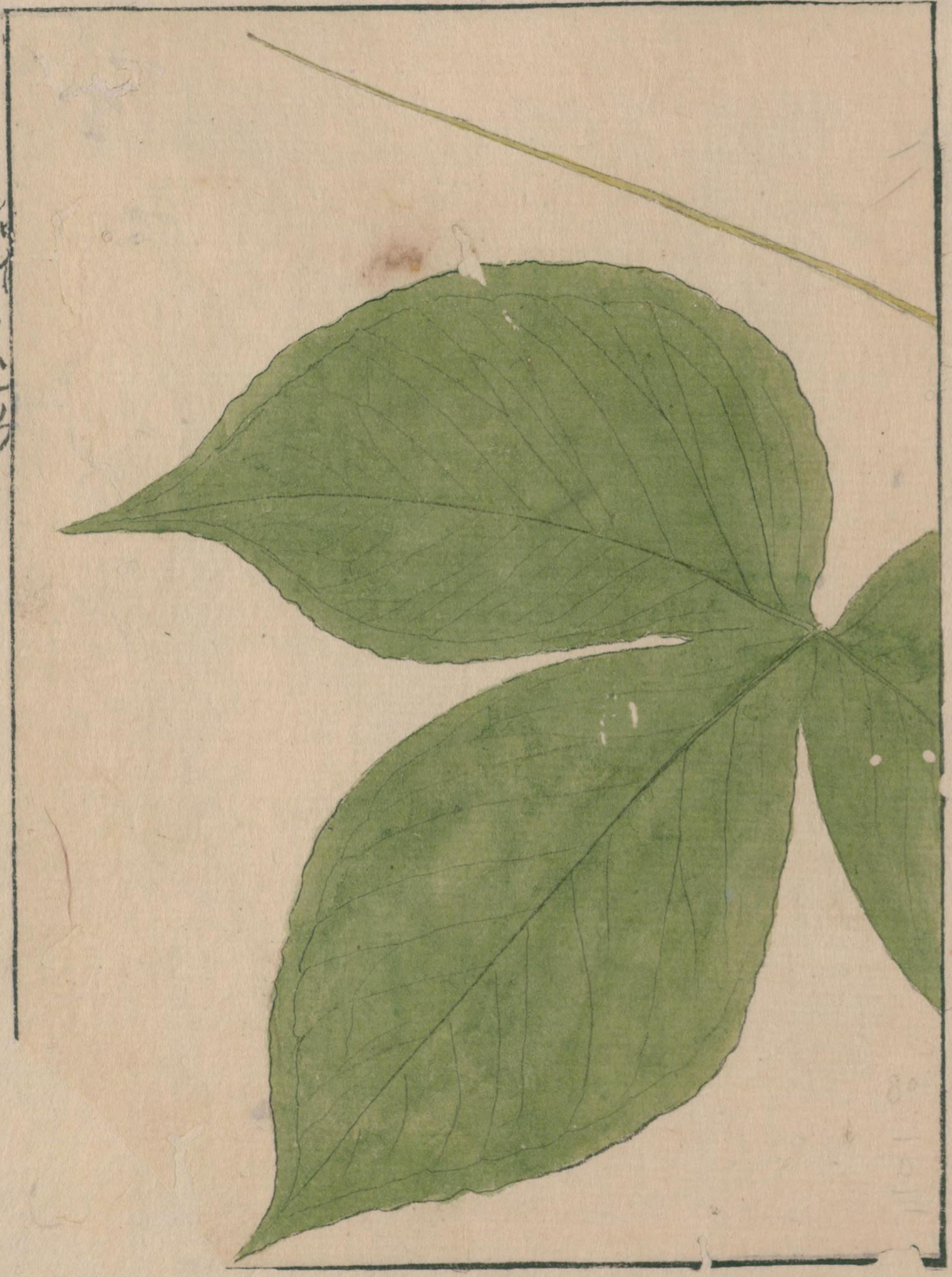
[illegible]花譜

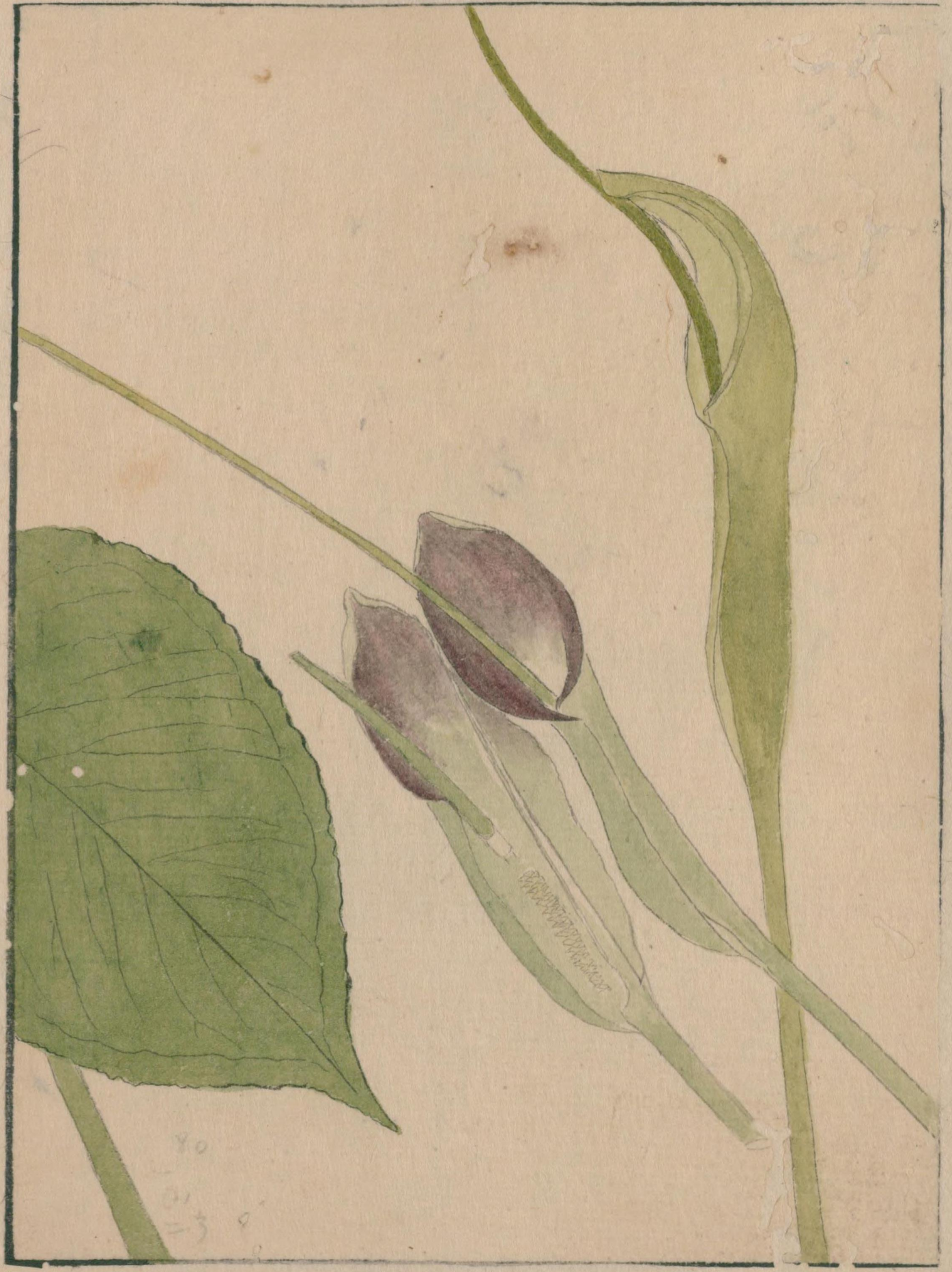
ほそくみ　輔仁和名に半夏を訓し　たて式ハ加多保曽とすみたて

国史草木昆虫攷　巻之六

ガラス使用

ムサシア





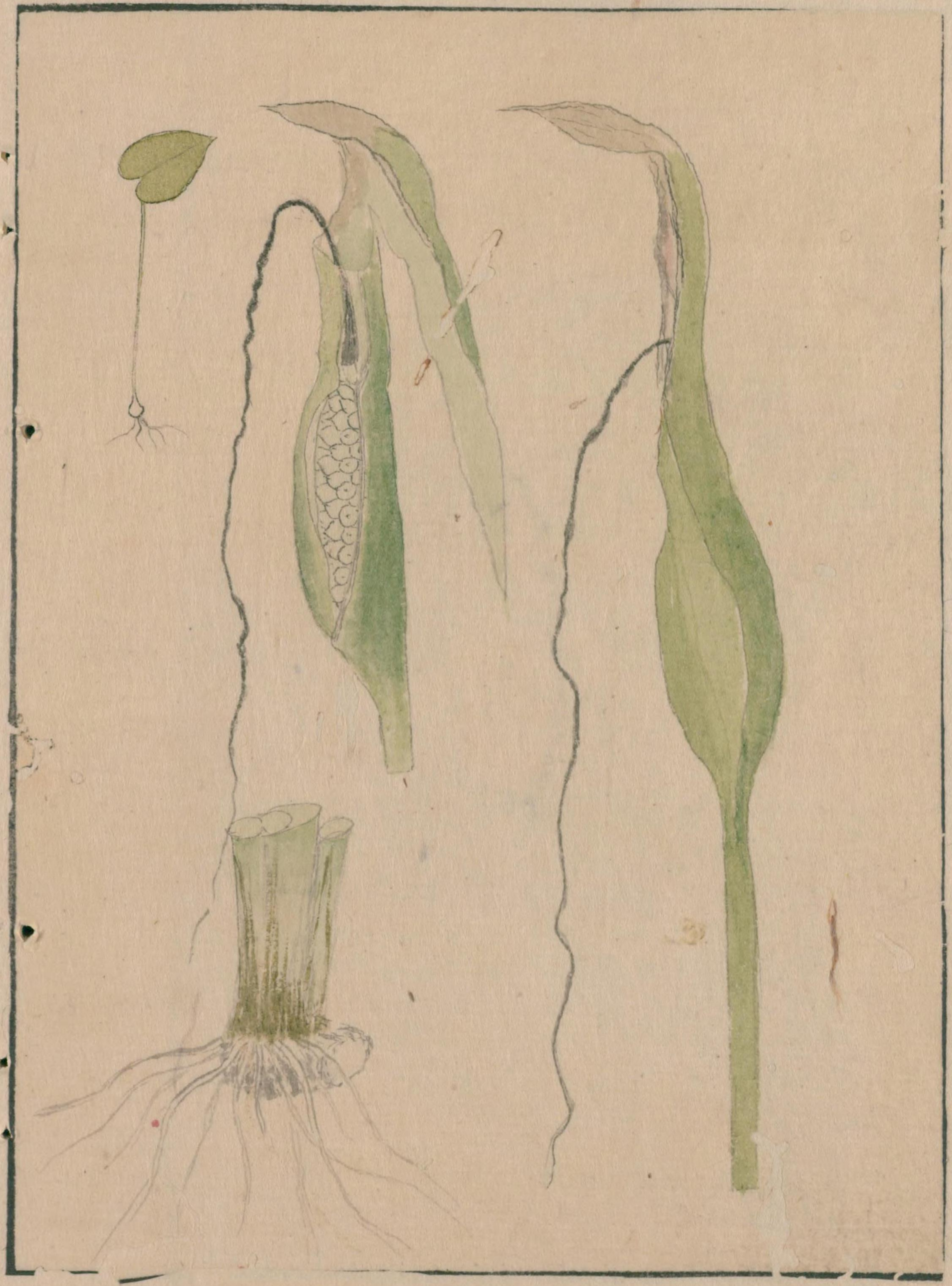
ガラス使用

一

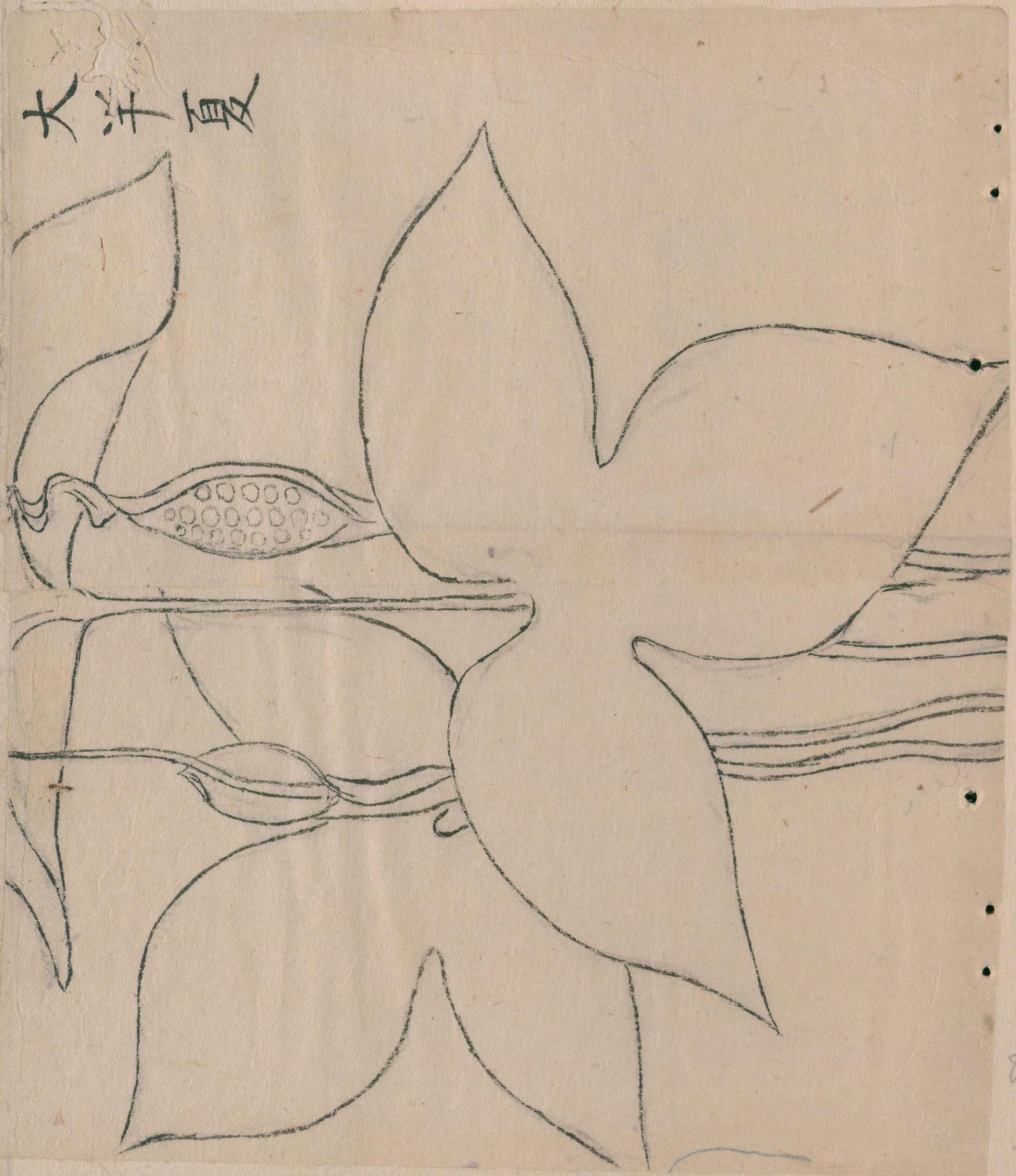
オホハンゲ

Pinellia Tripartita Schott [illegible]

齊州半夏（綱目廿七）



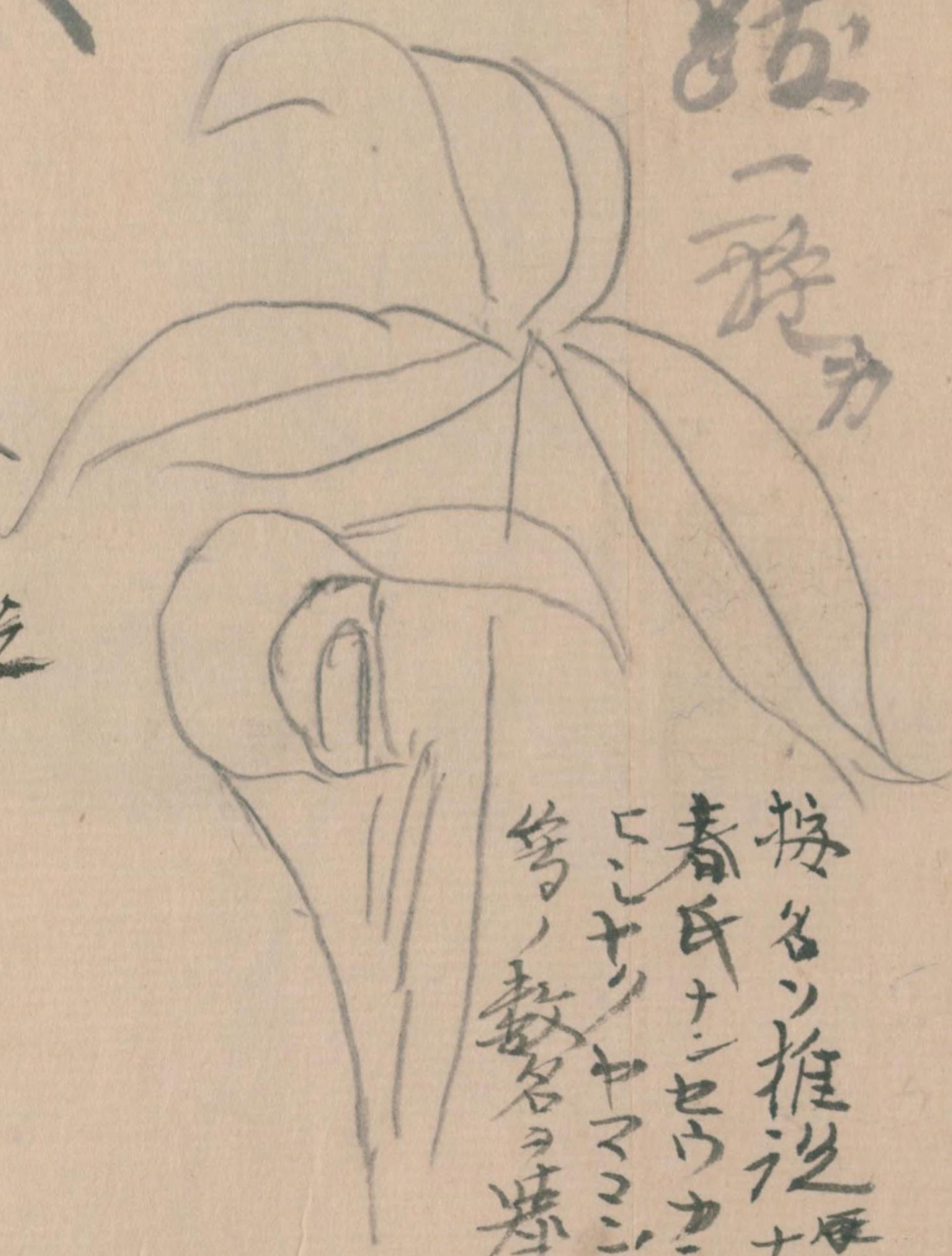
大半夏



ガラス使用

ブリユメ五十図 31
ダイハンデ
齋藤本長 Atherurus tri
partitus

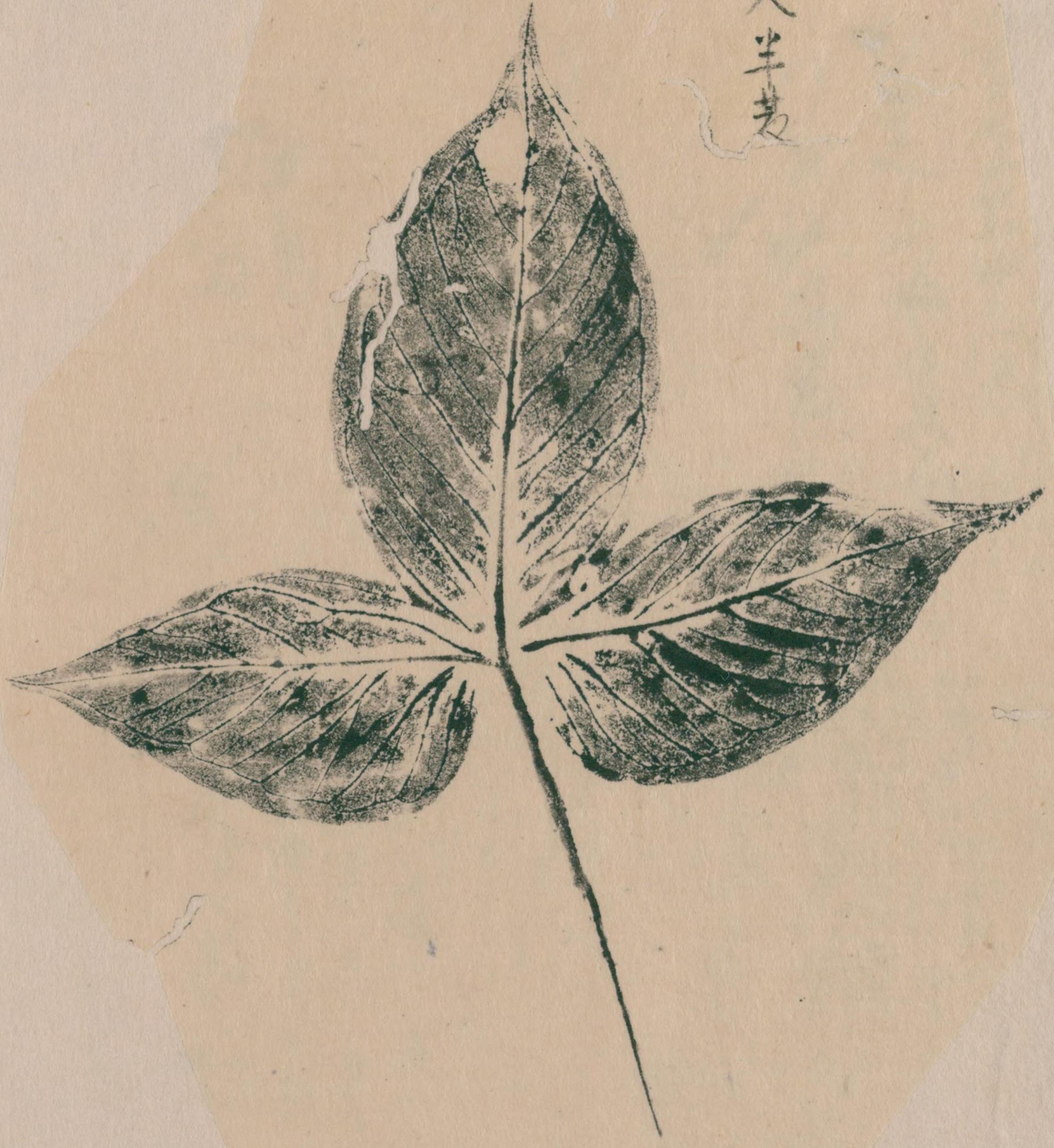
由跋一種カ



按名ヲ推従スルナシ
春氏ナンセウカラス
ヒシヤクヤマコンニヤク
等ノ数名ヲ挙ケリ

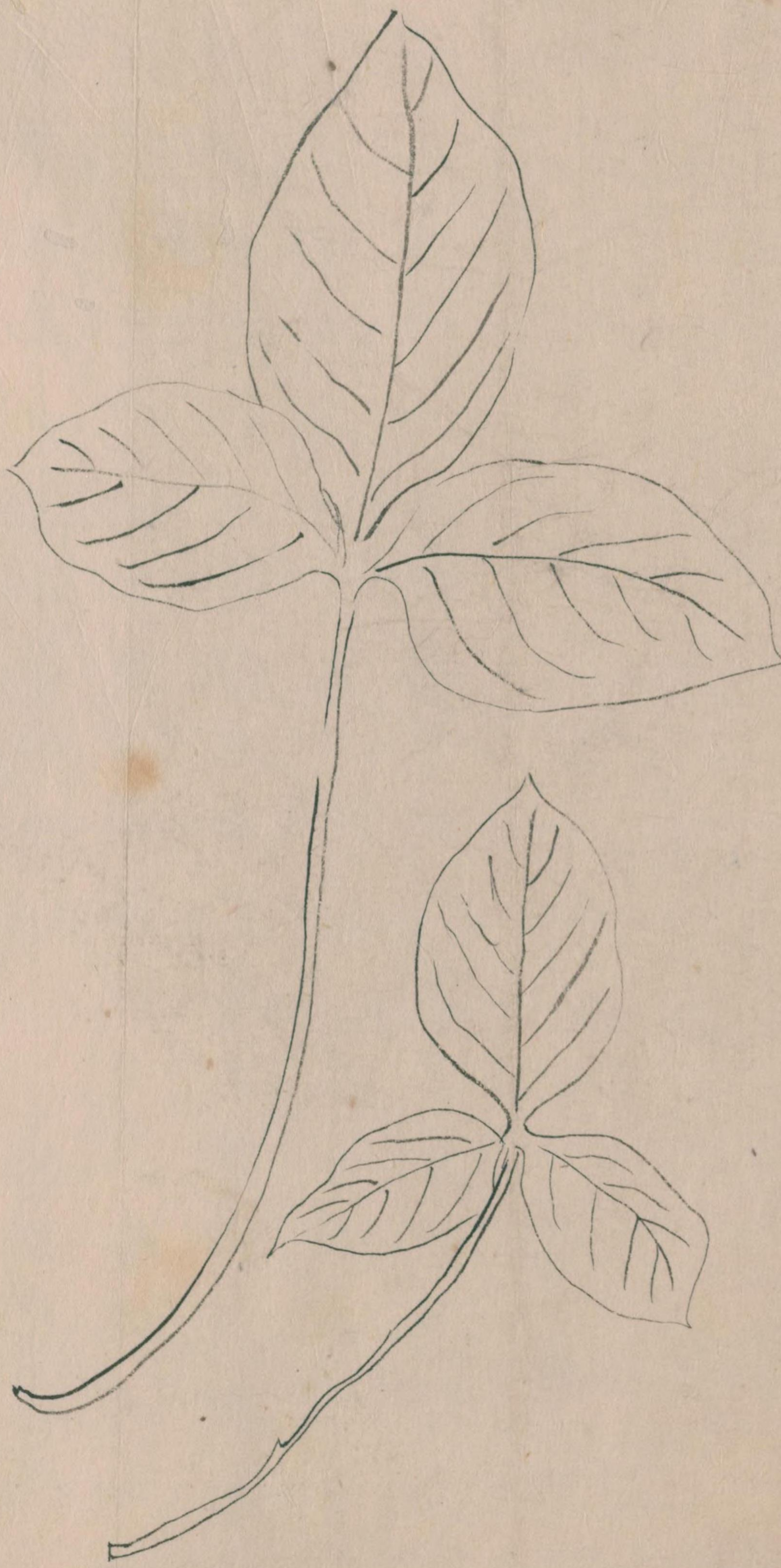
Arum triphylla ヒ
ヤ七三 チリスチソン 第五刊カ

大半夏



半夏

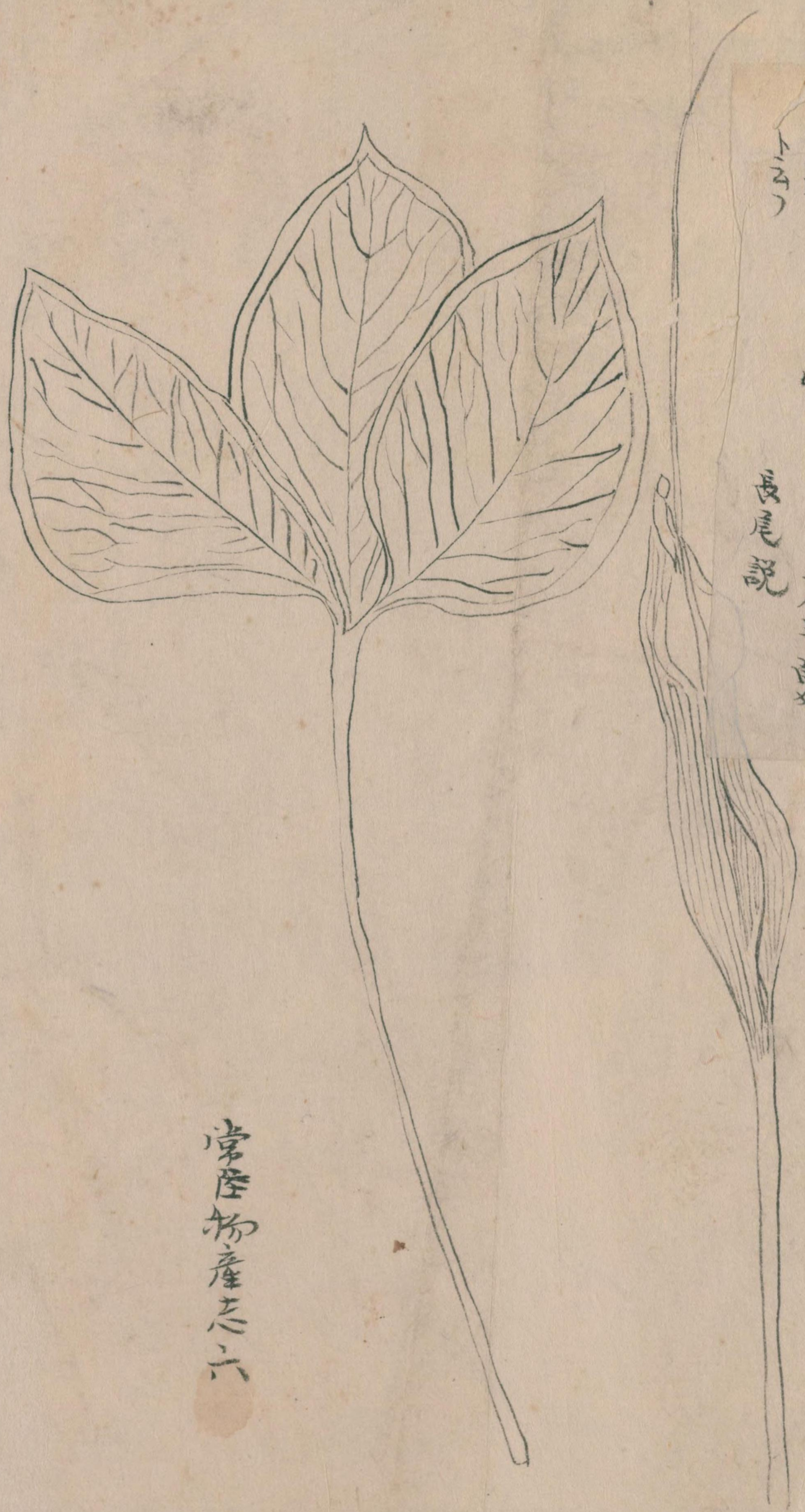
常陸物産志六



由跋

由跋ニアラズ北手州ナリコレヲ大半夏トユフ

長尾説



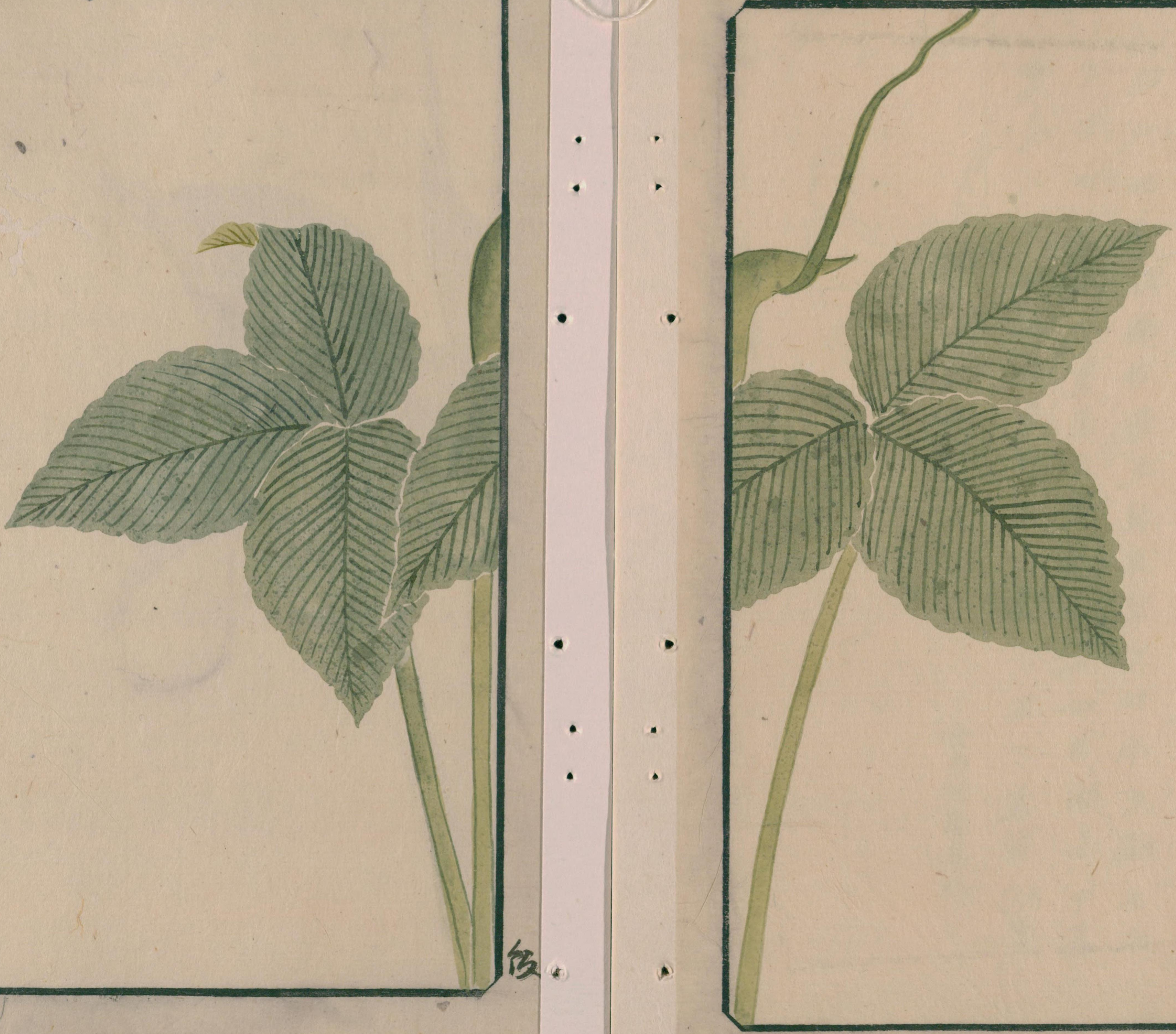
常陸物産志六

葉長大而形如桃葉上生一葉下生一葉皆抱莖
互生自五葉七葉至九葉為一葉四月開花于莖
端形如由跋與半夏花後生実大如南天蠋而赤
子熟自落至翼年始生苗其葉三葉而形如半夏
其根円扁而似蒟蒻根

常陸物産志六

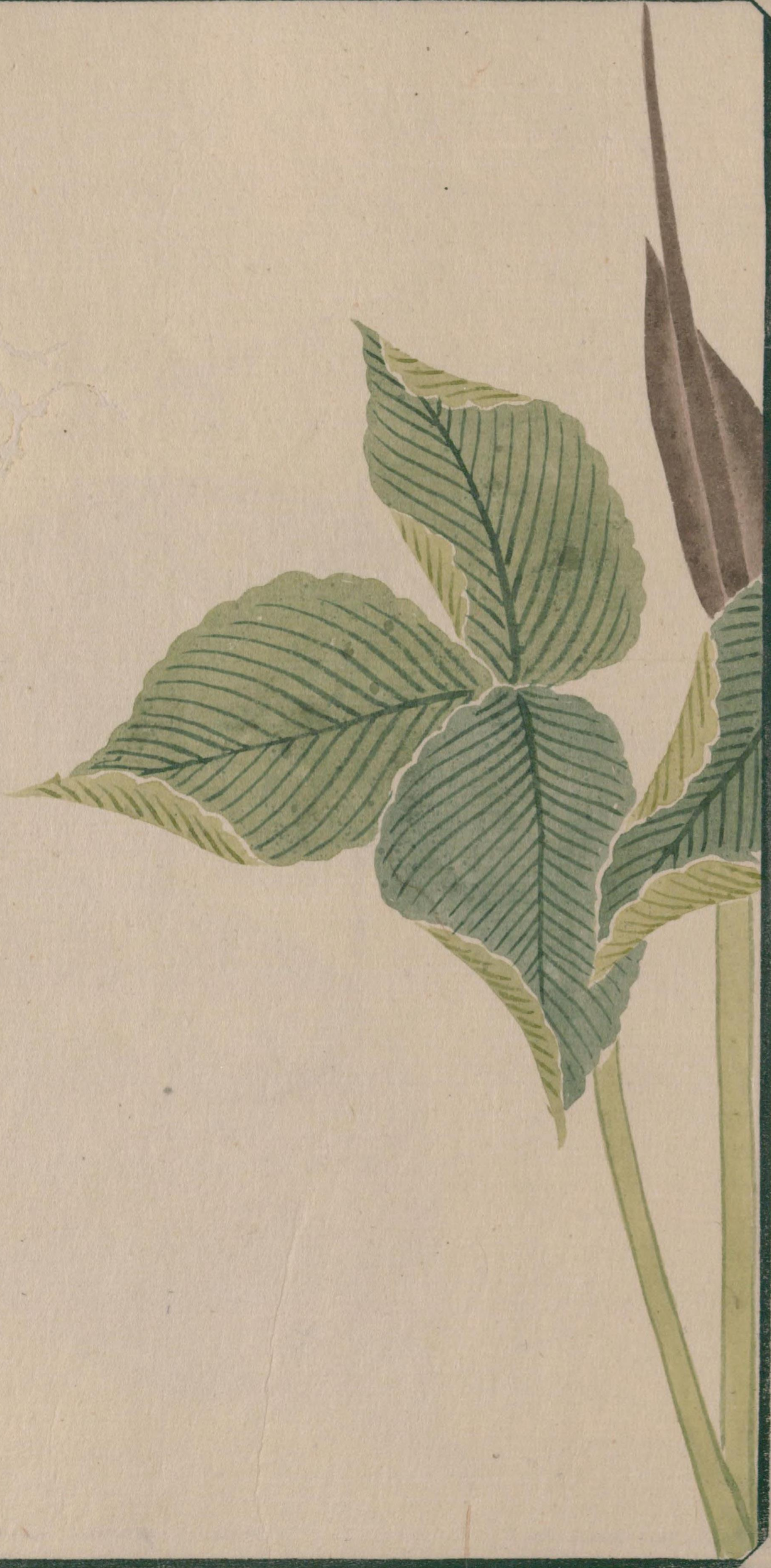
ガラス使用

大半夏

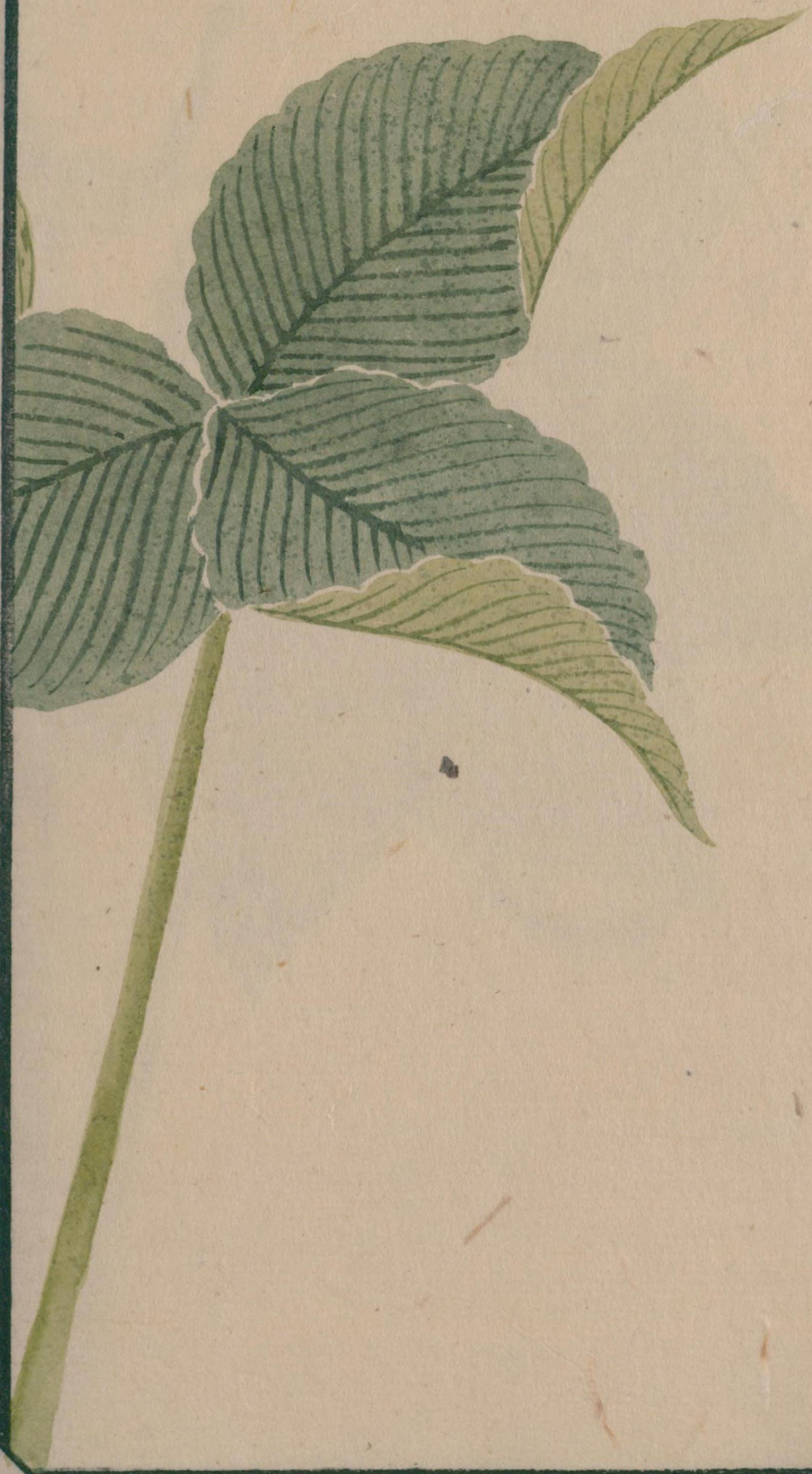


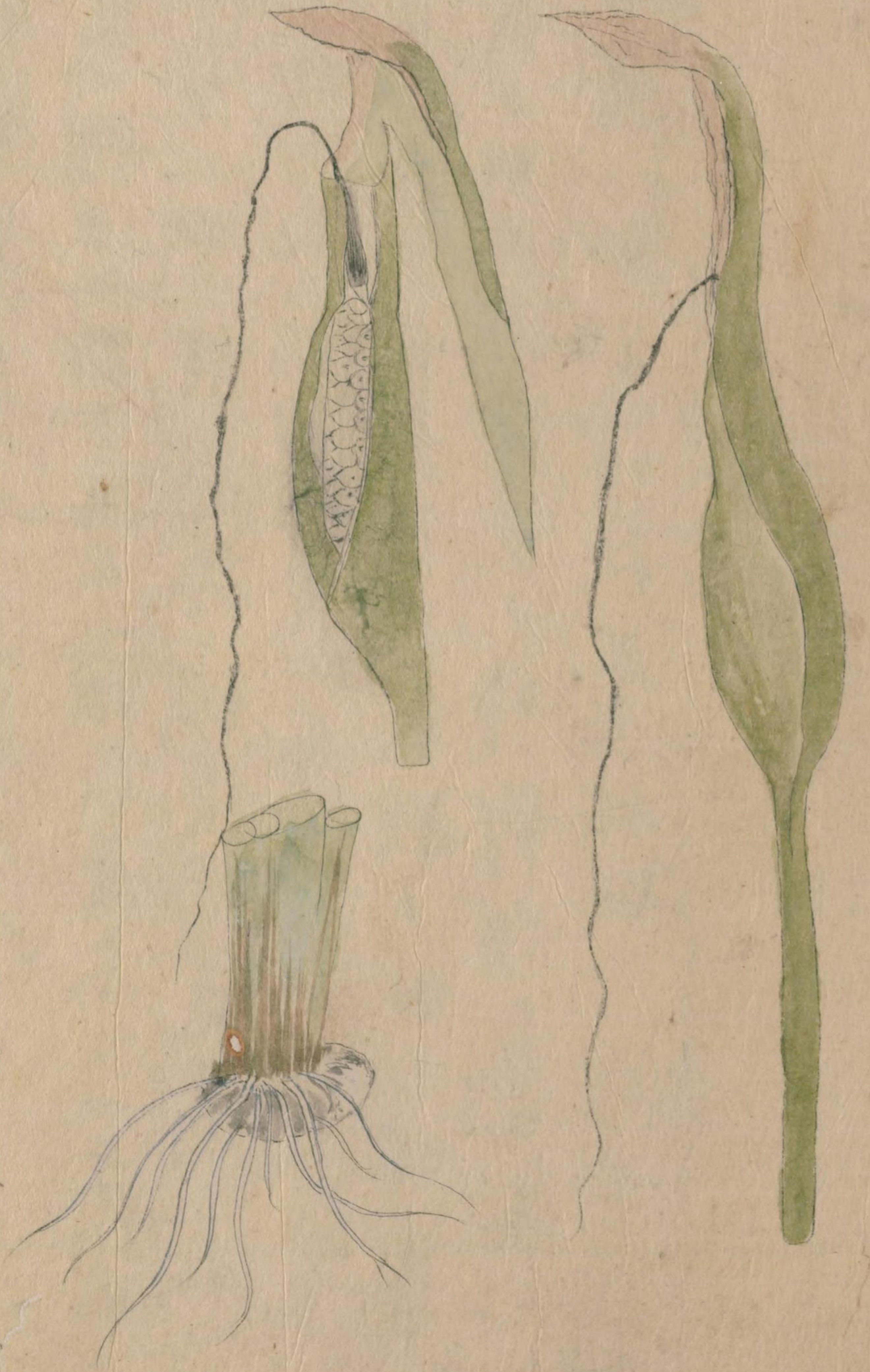
後

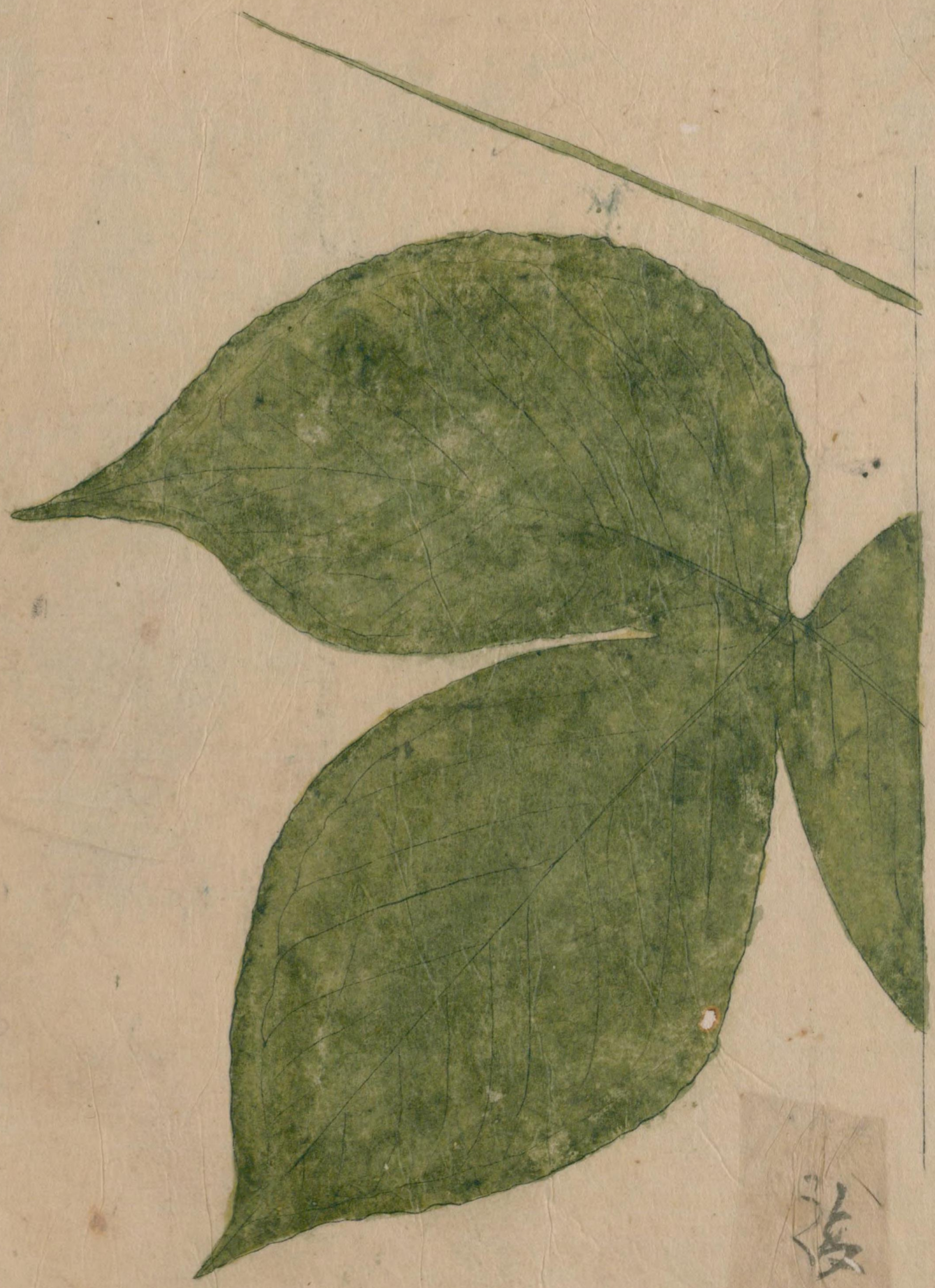
紫花大半夏



仮

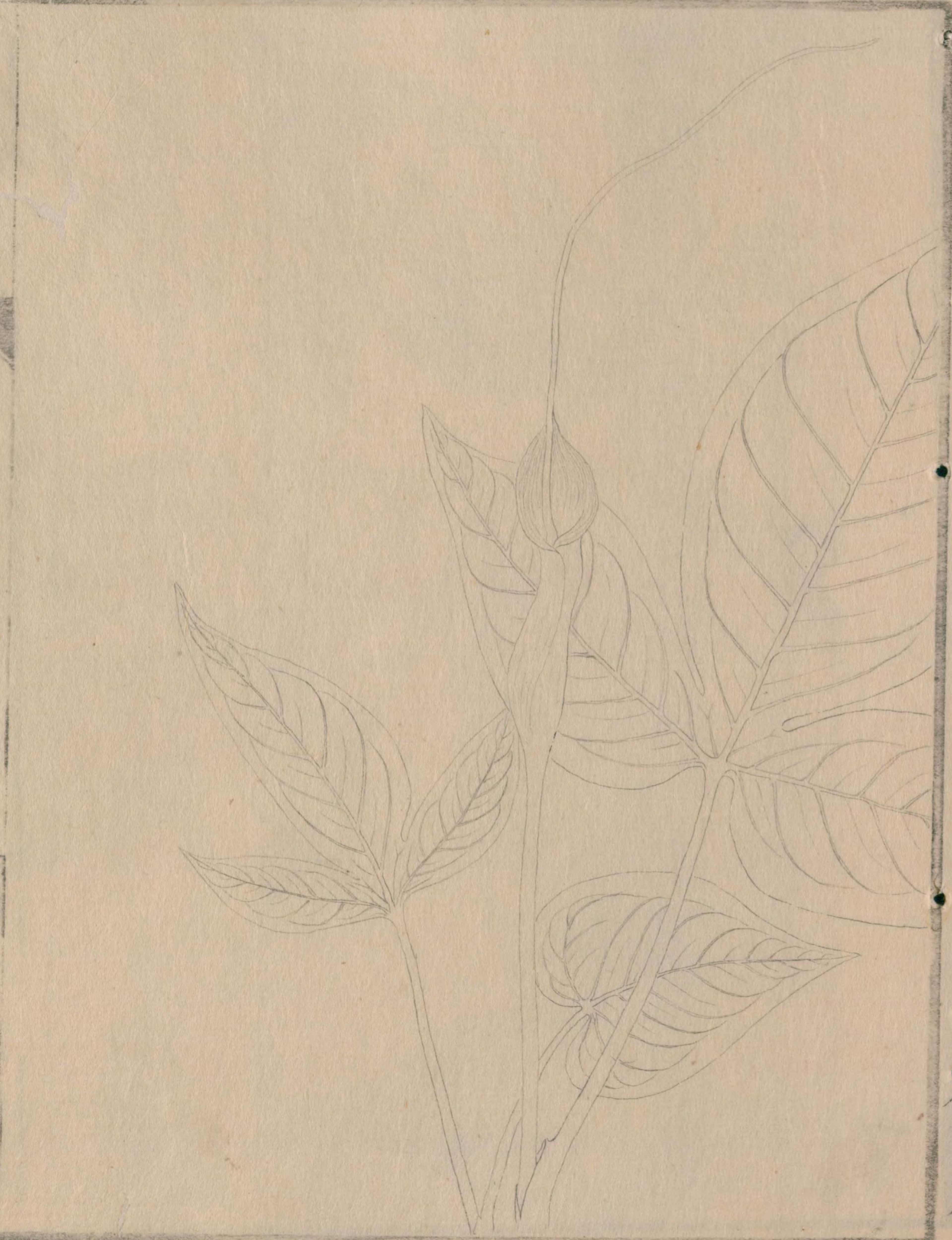






くず

ガラス使用



80

三

大ハンゲ

生写

ゲナ三

江南半夏（カラハンゲ）

図ハ大ハンゲ

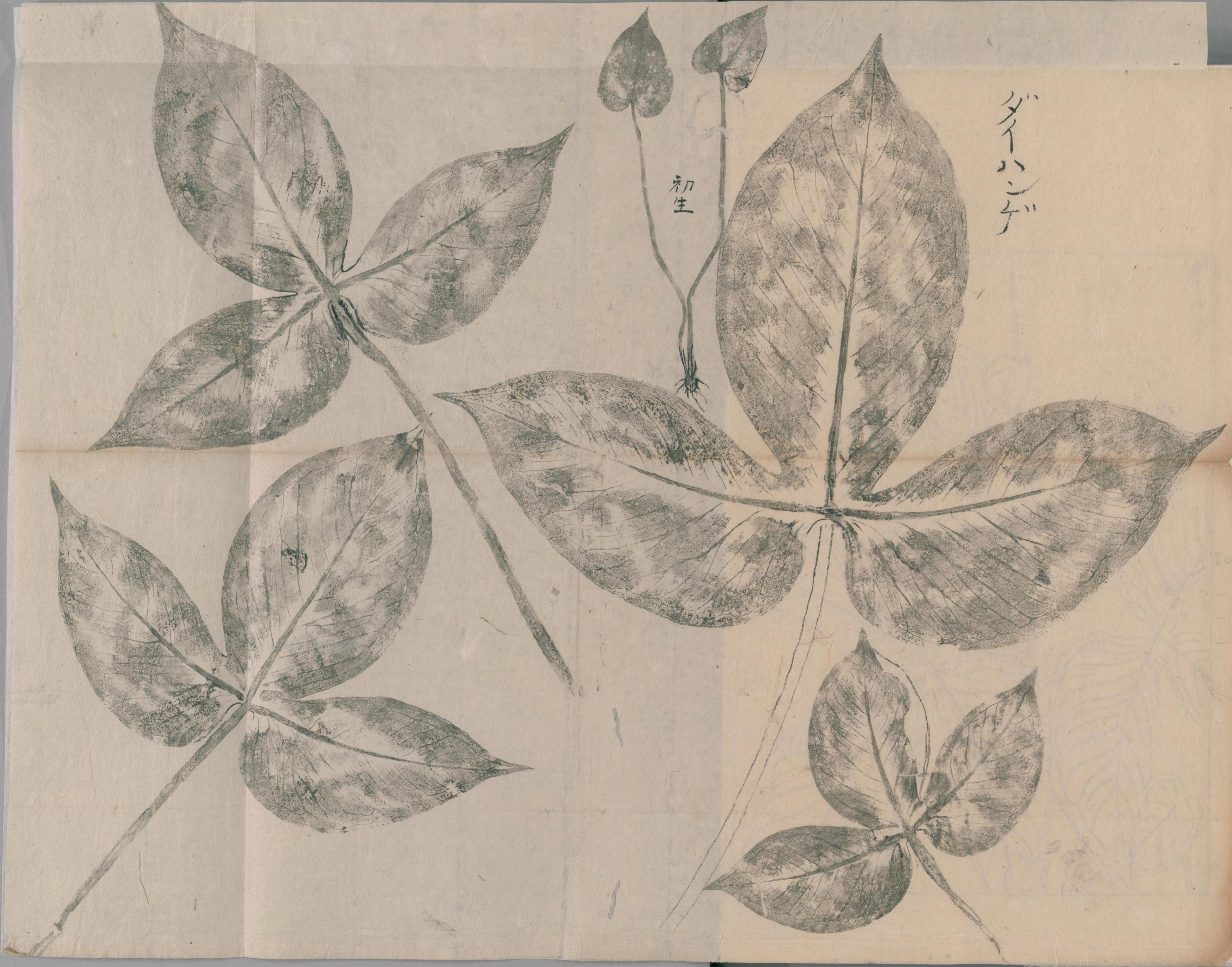
[illegible]

春舊根ヨリ苗ヲ生ス一根数葉高サ一二尺形
チ半夏ノ如ク其色淡緑夏ヨリ花ヲ開キ秋ニ
至テ止ム花ノ形モ半夏ノ如クニシテ大ナリ
後実ヲ結フ白色ニシテ米粒ノ如シ根ノ大サ
南星ノ如シ半夏生ノ時新根旁ニ生シ
附子等ノ如シ深秋葉枯ル

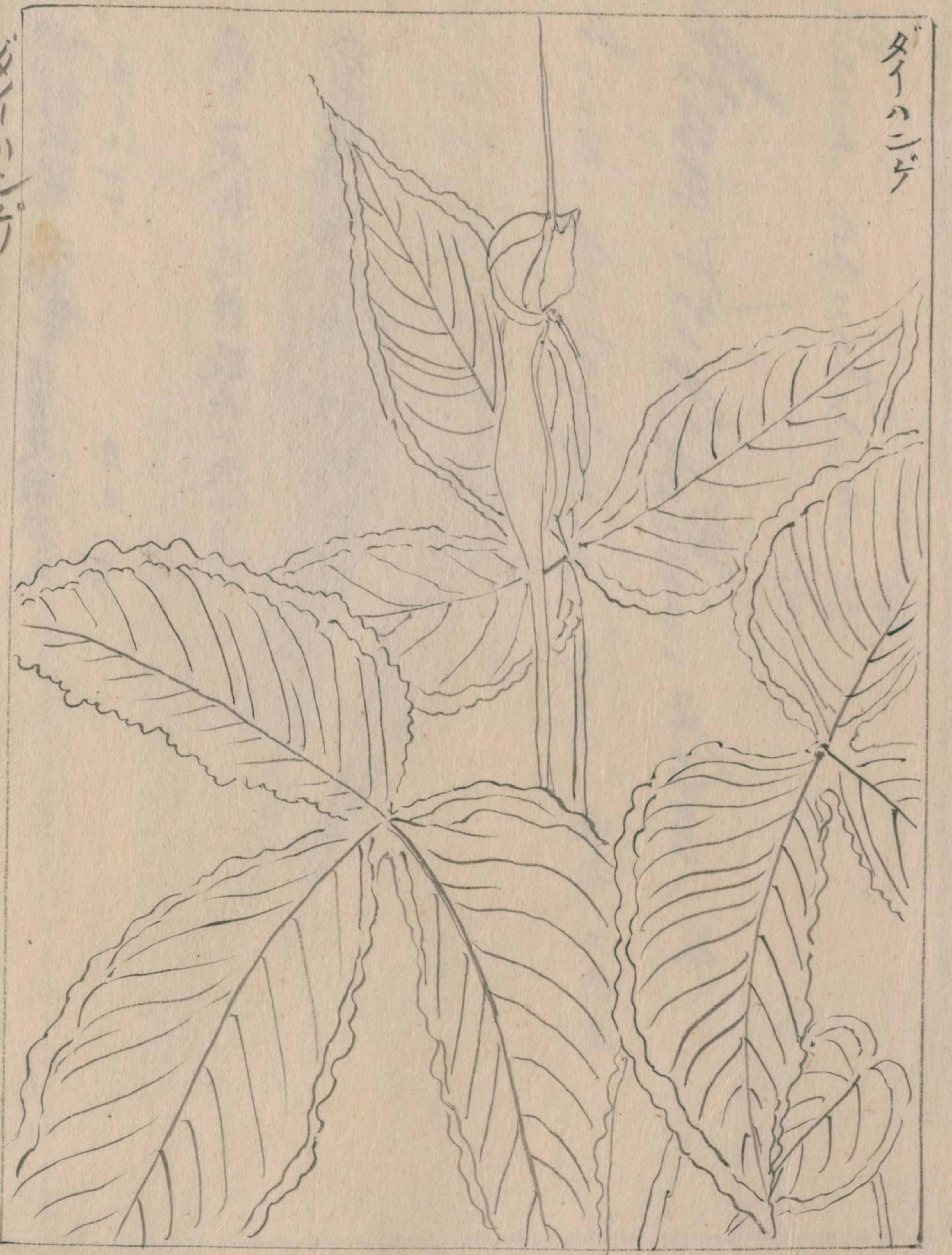
嘗百社藏

180
一一三
5

ダイハンゲ



ダーハンゲ



80

一一三

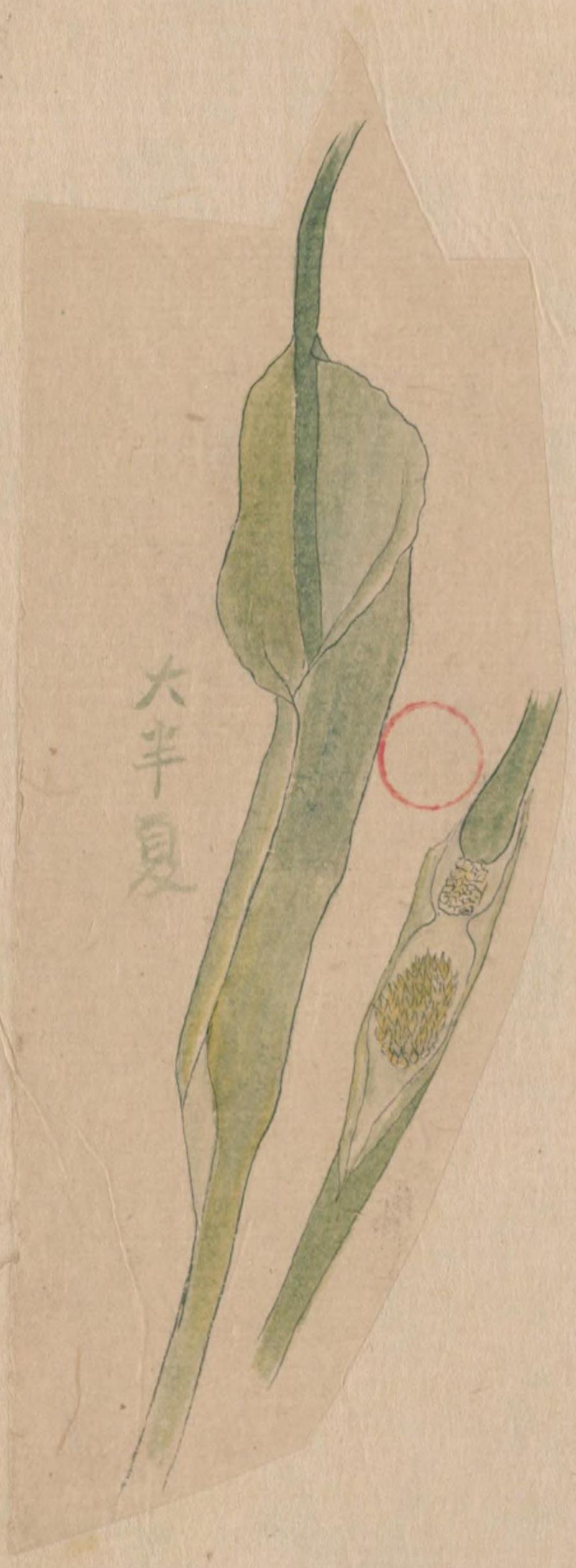
ころ

ガラス使用

齊州半夏　大半夏（方言及附方ニ云）
ダイハンゲ　オホハンゲ
高サ一尺許花葉根共ニ大ナリ
養老瀧ノ邊ニアリ　勢州治田

ダイハンゲ Atherurus

Arum aquaticum
菖 節 芋
Arum Trilobatum, Linn、名ソ
Arum pentaphyllum 虎掌（スミツト）、南星、天南星



中三附
ダイハンゲ Arum

半夏　ハトノイモ　（紀州名草郡）一名ヘソクナ（日向）　紀南ニ[illegible]

ヘソクリ（筑後北野）

○齊半夏　オホハンゲ　紀南ニ[illegible]　傳栽根大サ小ナル天南
生ノ如シ遵生八牋曰齊半夏即山東所産大箇
麻點半夏也又齊半夏選極大者ト云苗高サ
尺餘葉三葉ヲナスモノムサシアブミニ似テ小夏花
ヲ開半夏花ニ同ノ大緑黄色心ヨリ長キ糸ヲ
出ス一種琉球産（着葉）慈姑葉ニ似テ花紫黒色也

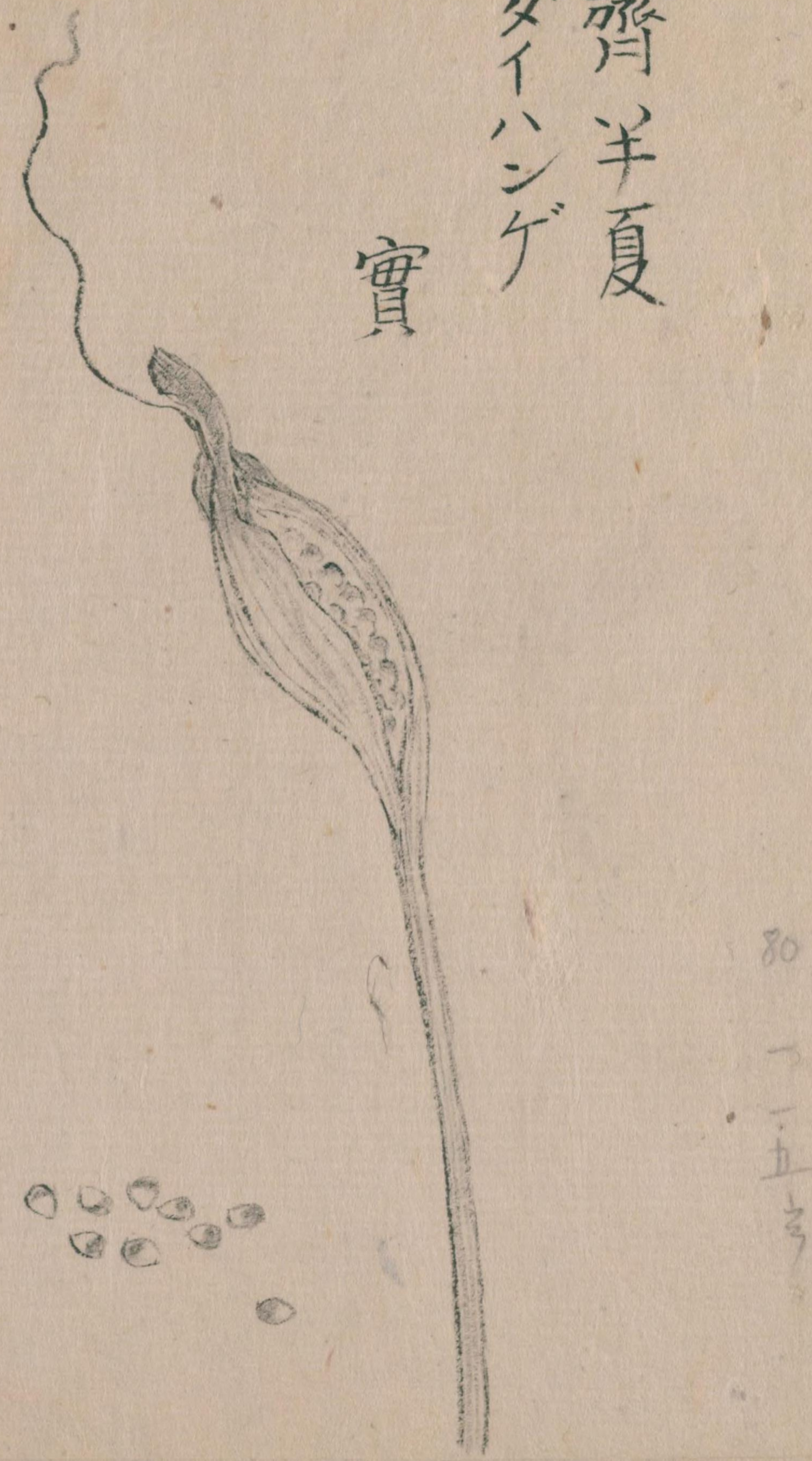
タイハンゲ

○タイハンゲ　オホハンゲ
アリユムトリワロバチユム

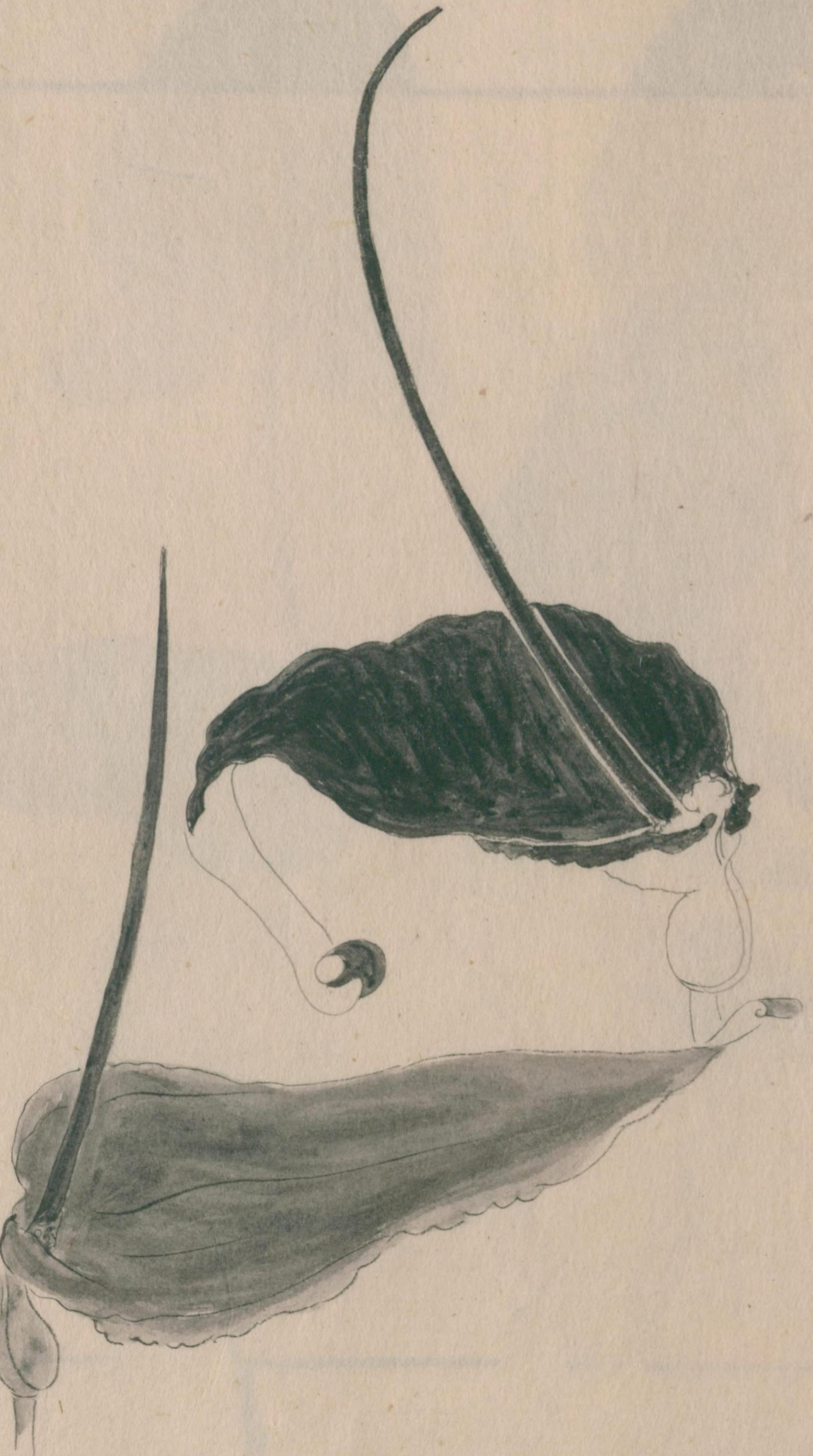
齊州半夏　大半夏（方書及附方出）
山中陰地ニ生葉形半夏ニ似テ大一根数葉ヲ生ス高尺許
茎葉根トモニ枯ル

ガラス使用

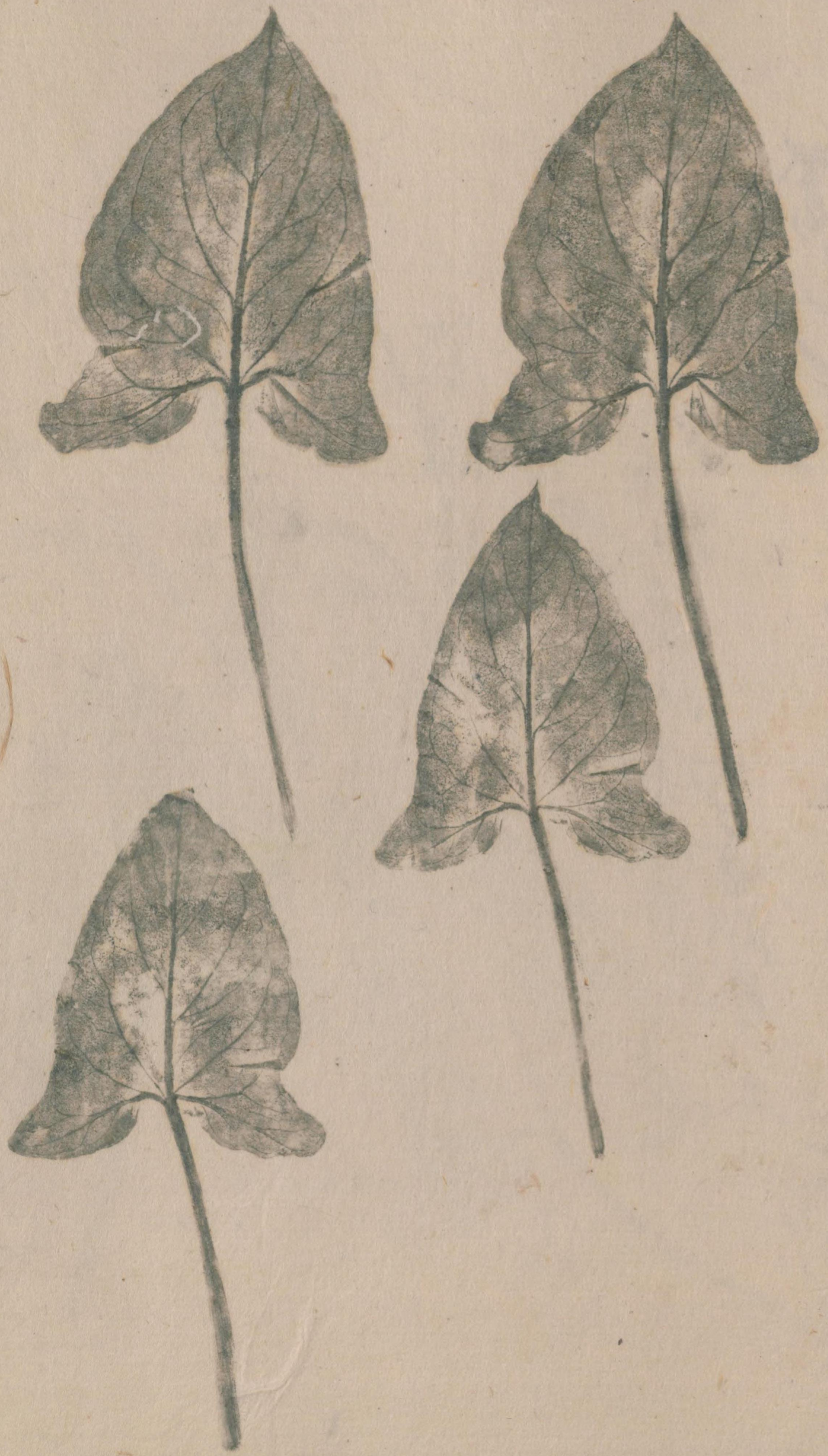
齊半夏
ダイハンゲ
實



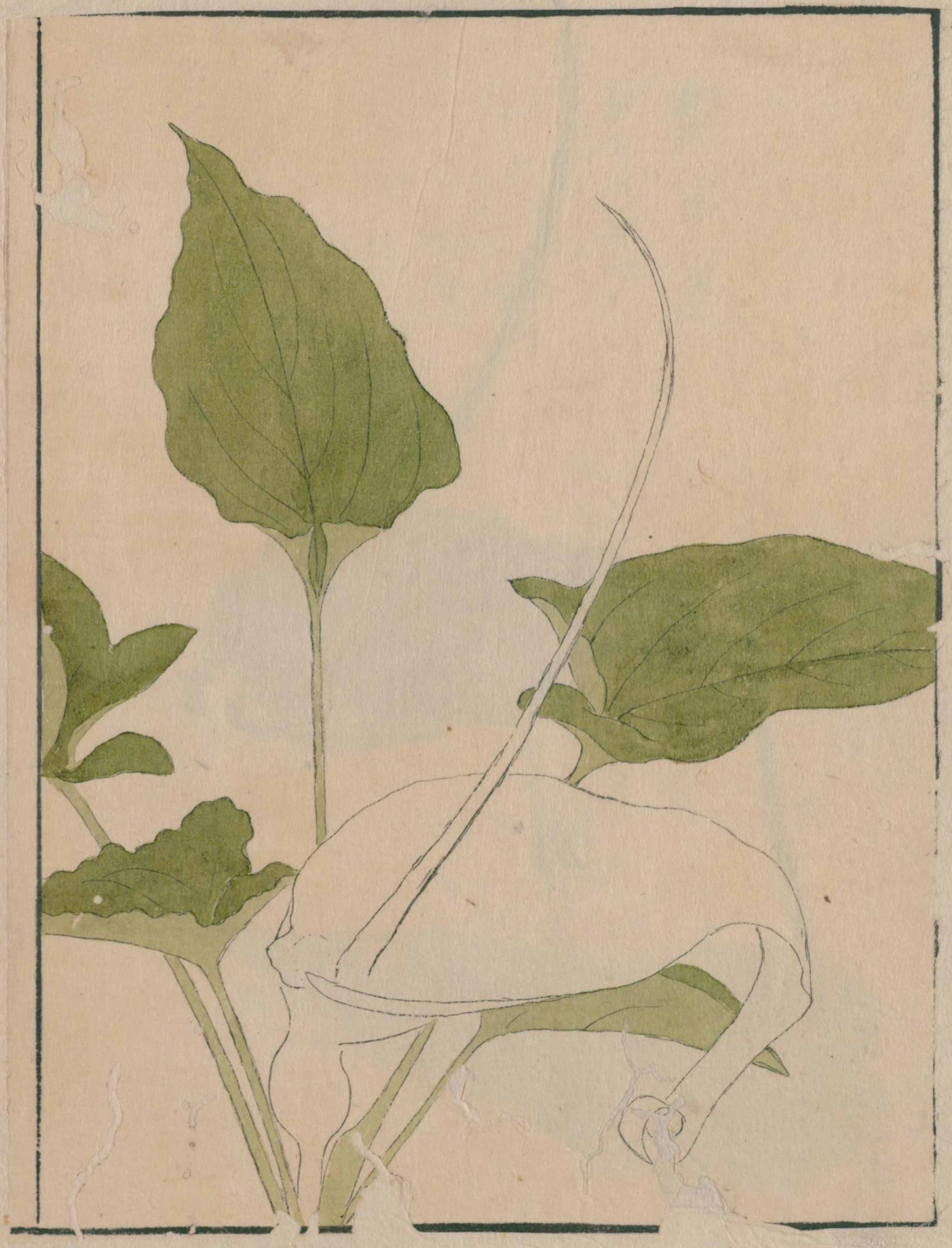
80 一一五



80 一一六



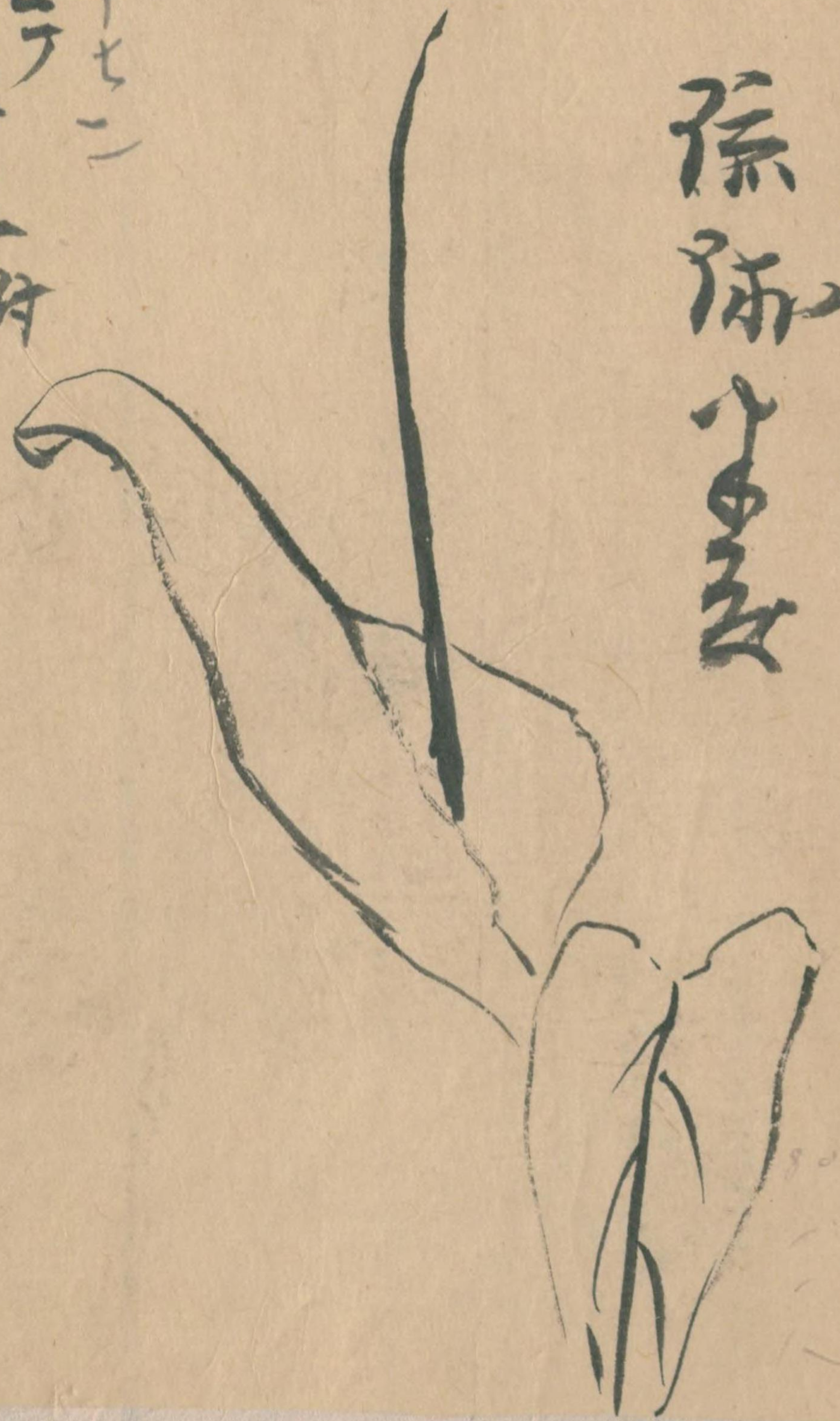
80
二
七



ガラス使用

十七ニ
ニテ 千三附

孫陳半夏



十七ニ附

半夏 圖

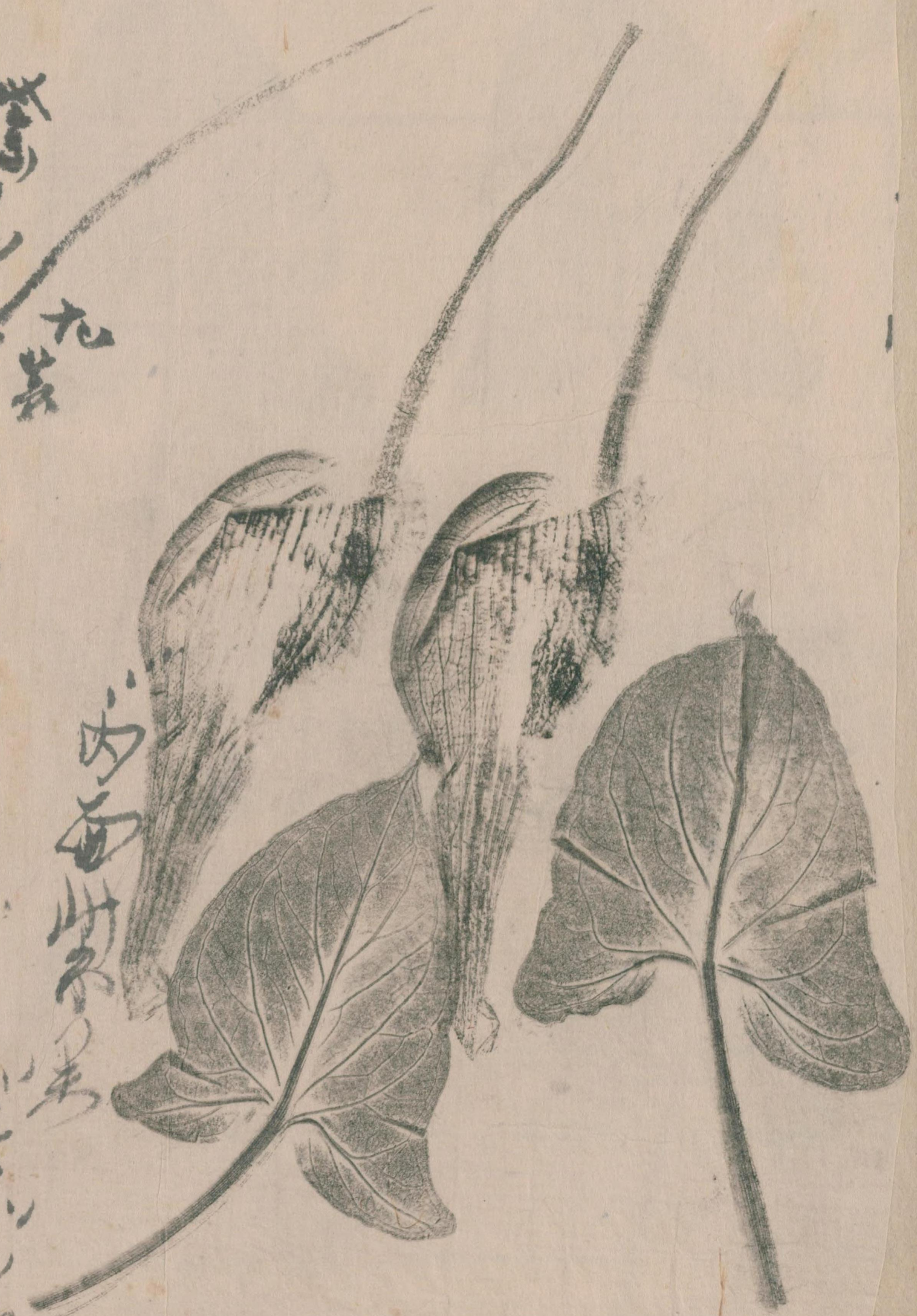
廿四ノ ニナレ丁

蓬莱 九芸

リウキウ半夏

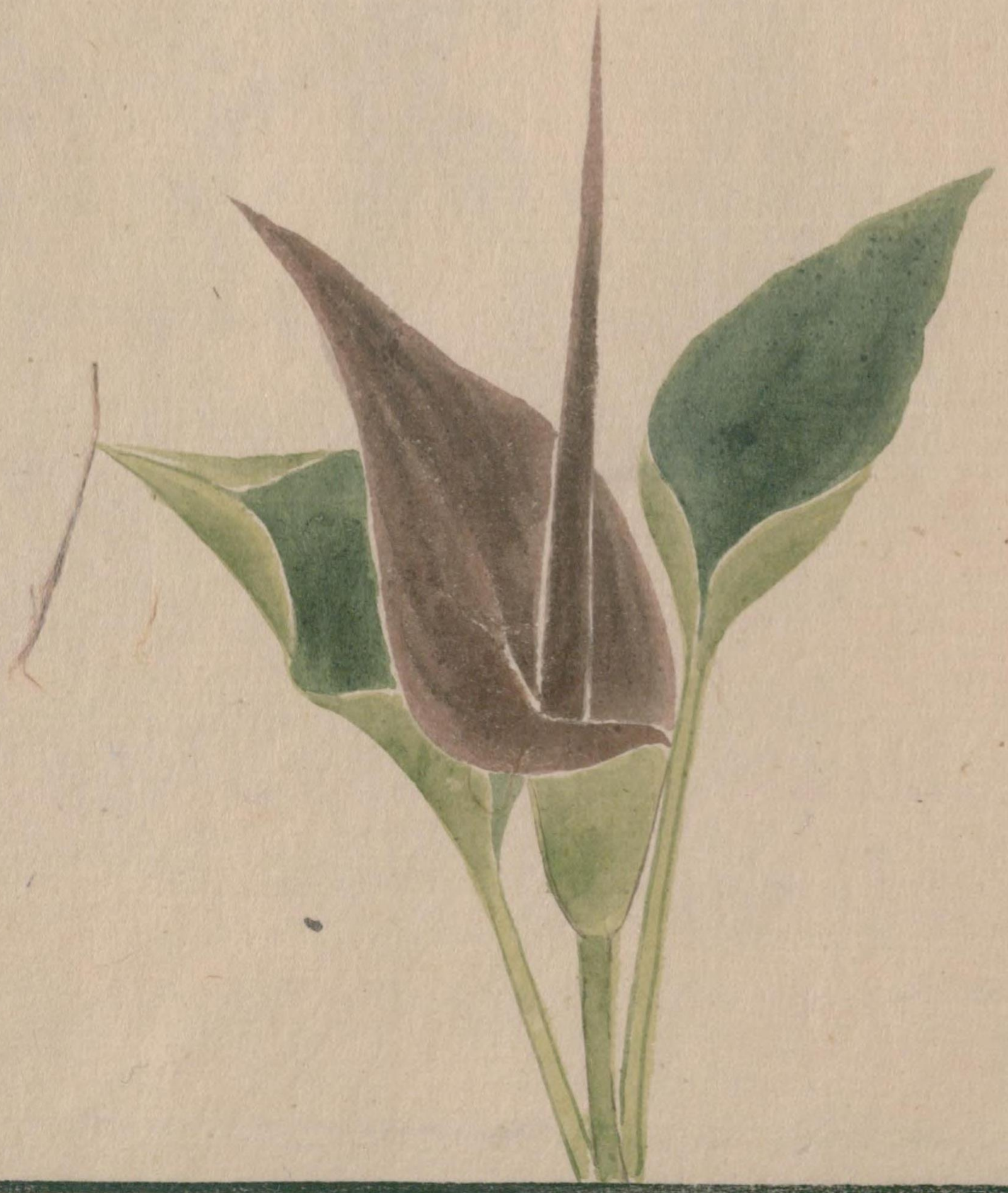
ハ西山紫ノ黒

ハシロシ 黒し



ガラス使用

琉球産半夏



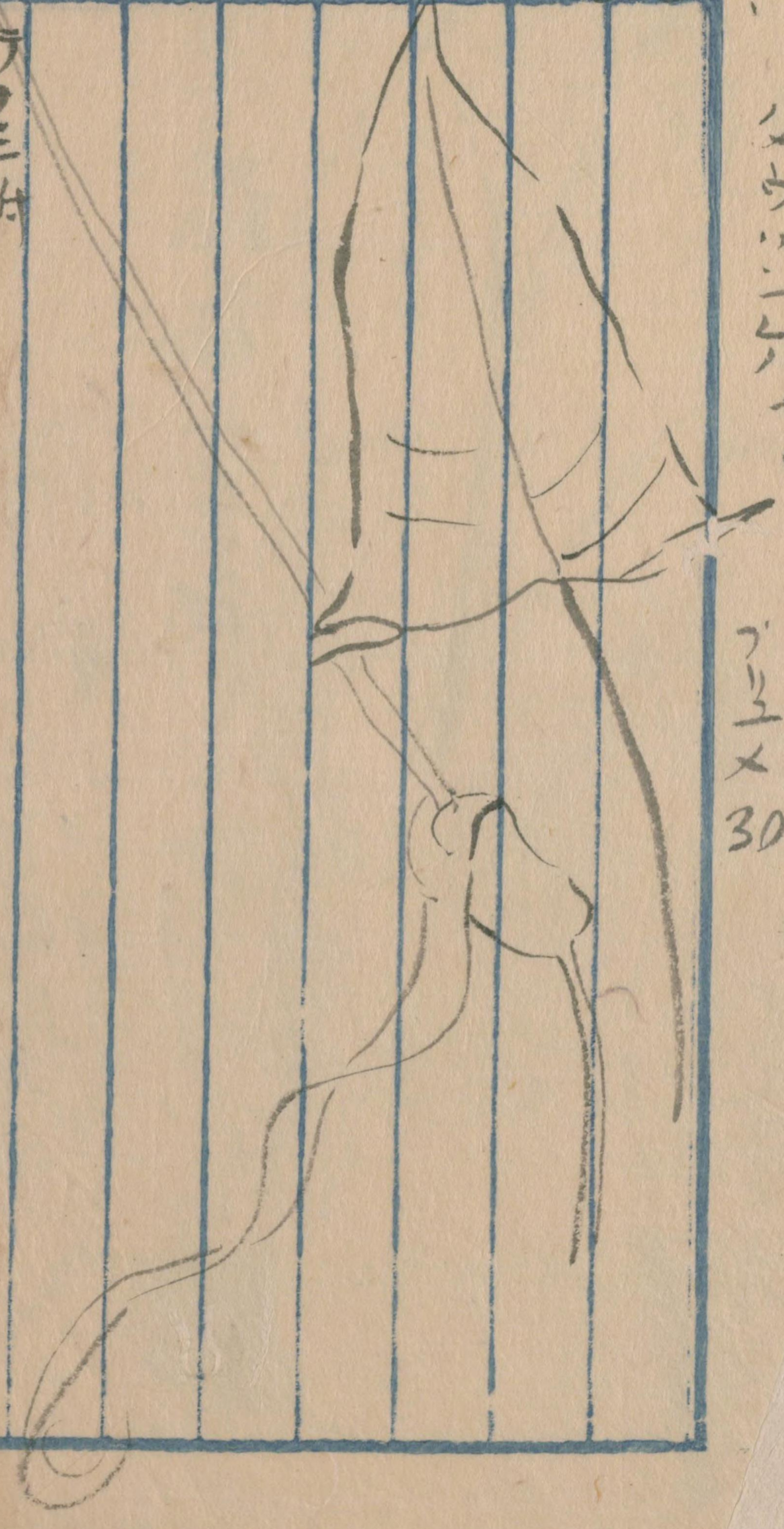
汲

土

鉦（七二）テキギヨサウ Typhonium

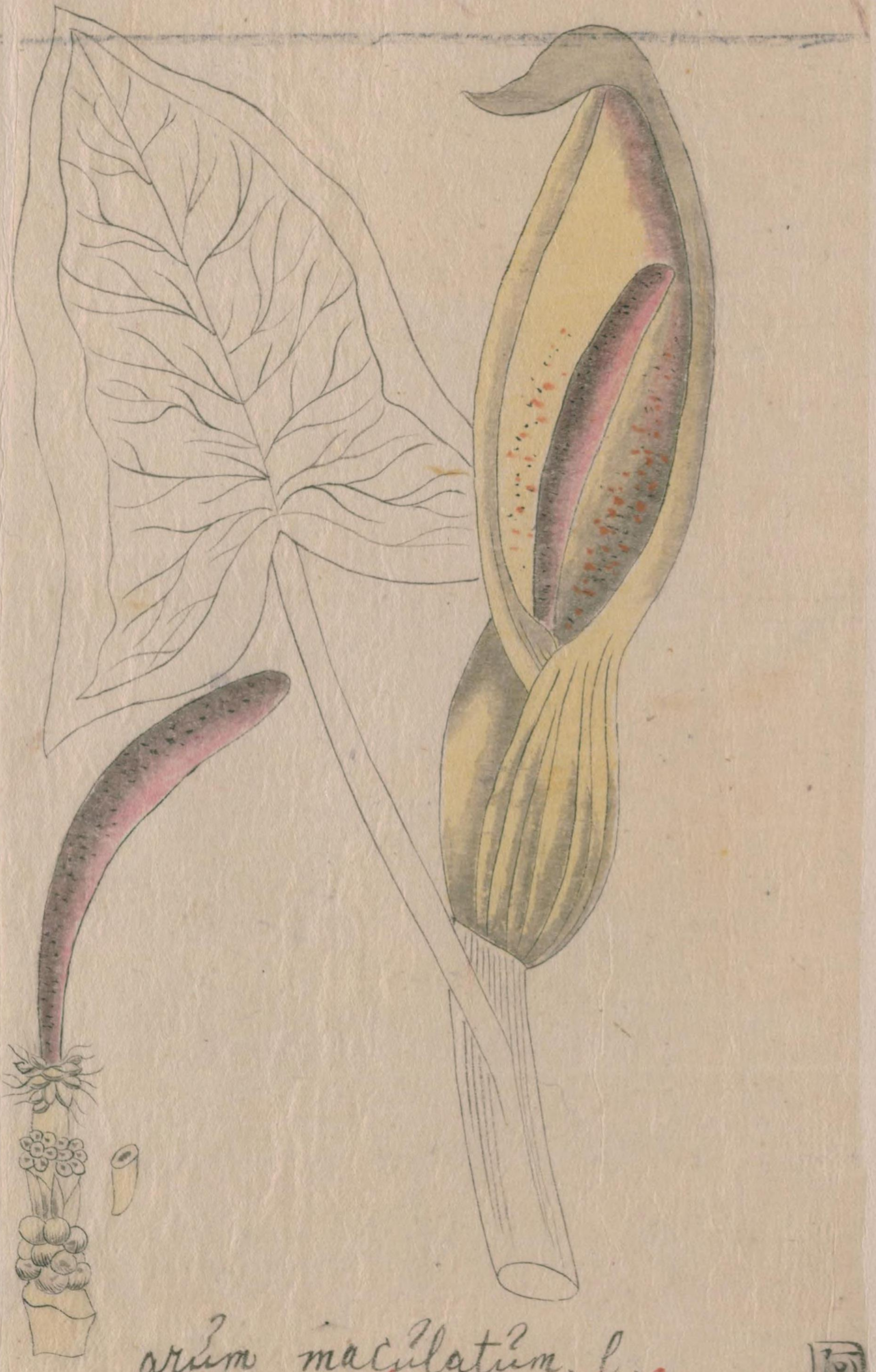
Typhonium cuspidatum et Variet.

テ十三附



タウハンゲヽ

ブリユメ 30

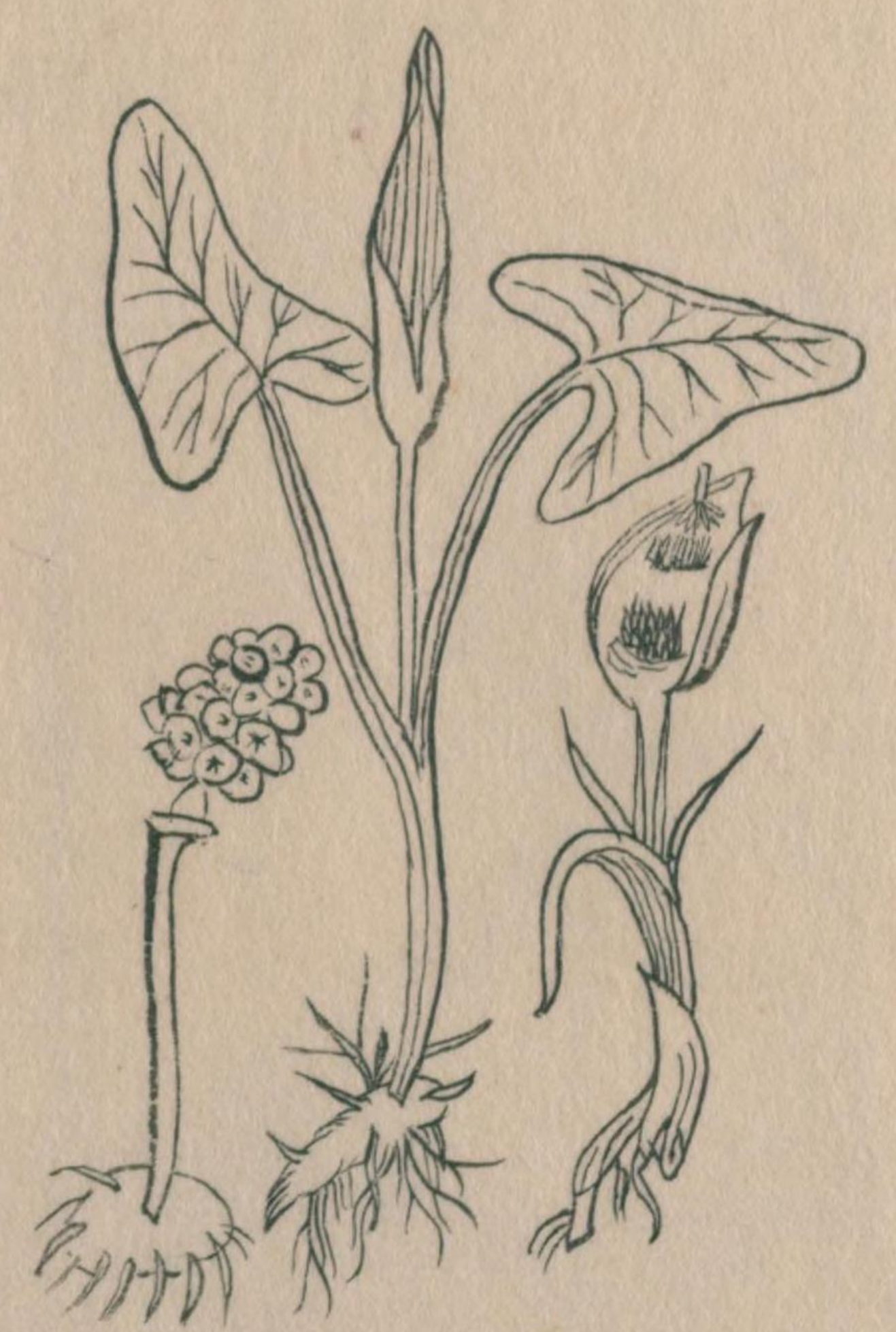


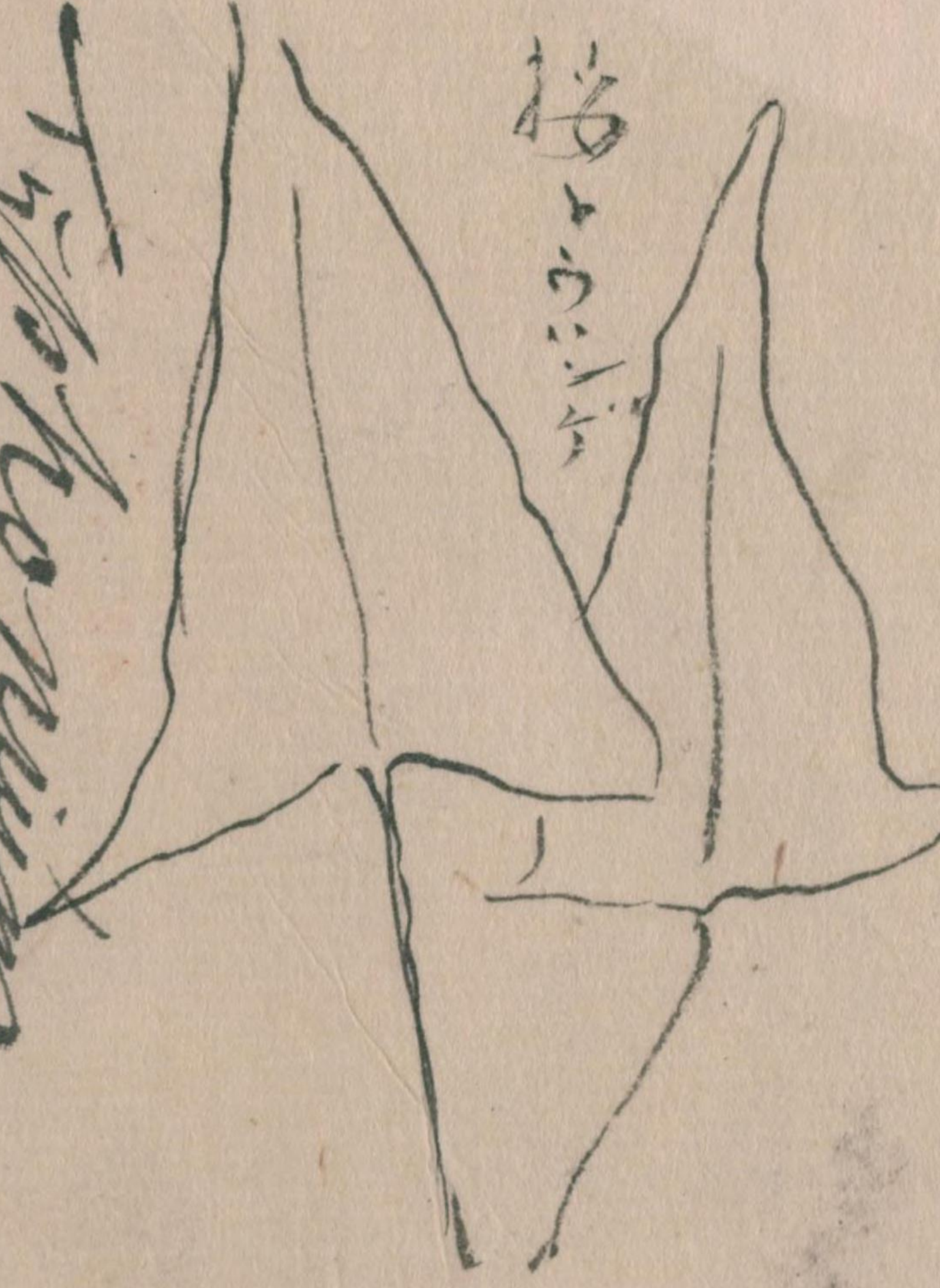
ヲランダ半夏 宇氏 紫花半夏 馬場氏
琉球半夏
番国半夏 山本亡羊

arùm macùlatùm. L
gevlakte kalfsvoet

Kalfs-voet, Arons-baert, pape,, kullekens, in 't Latijn Arùm.

34

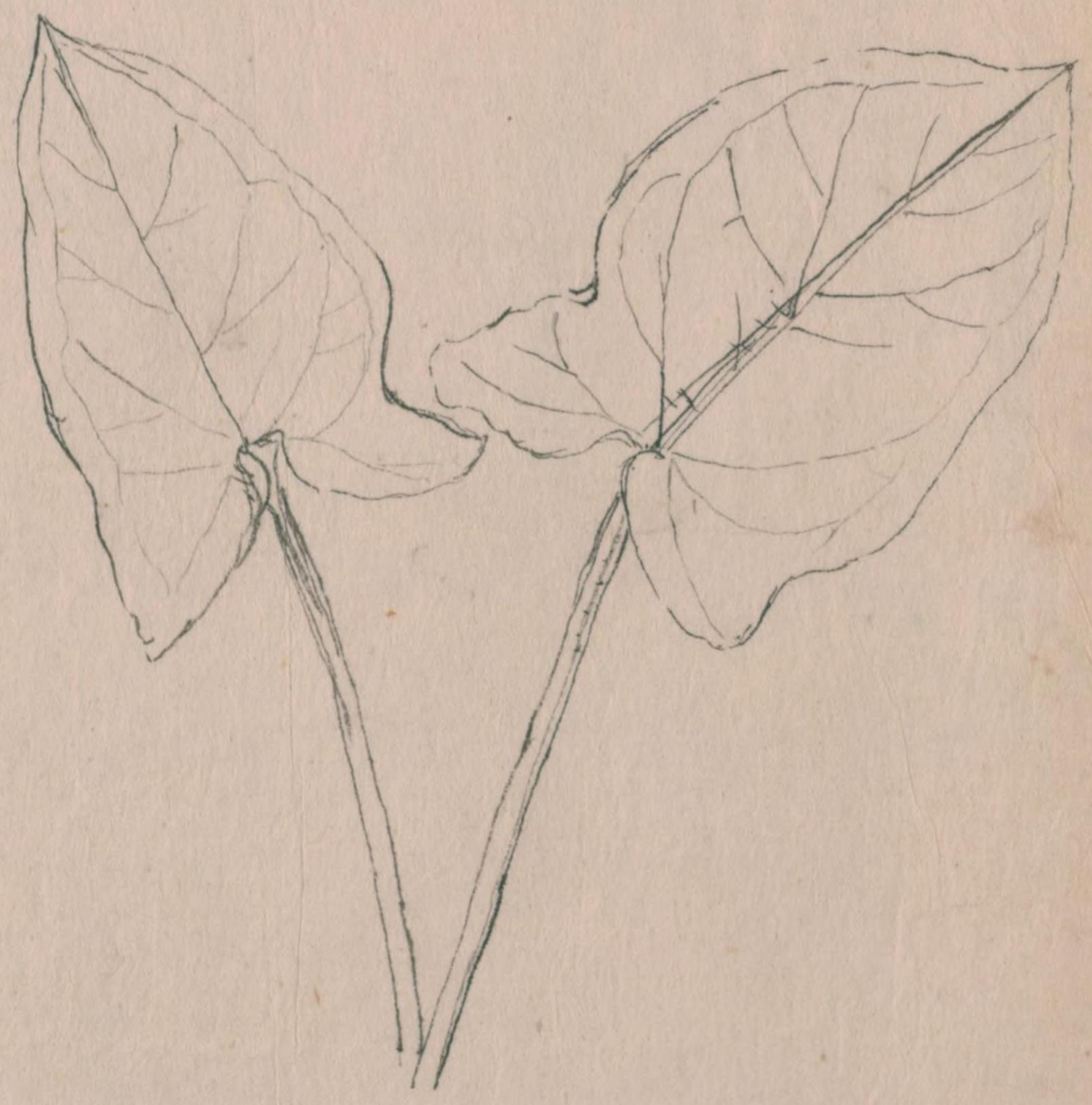




ブミヲス本草

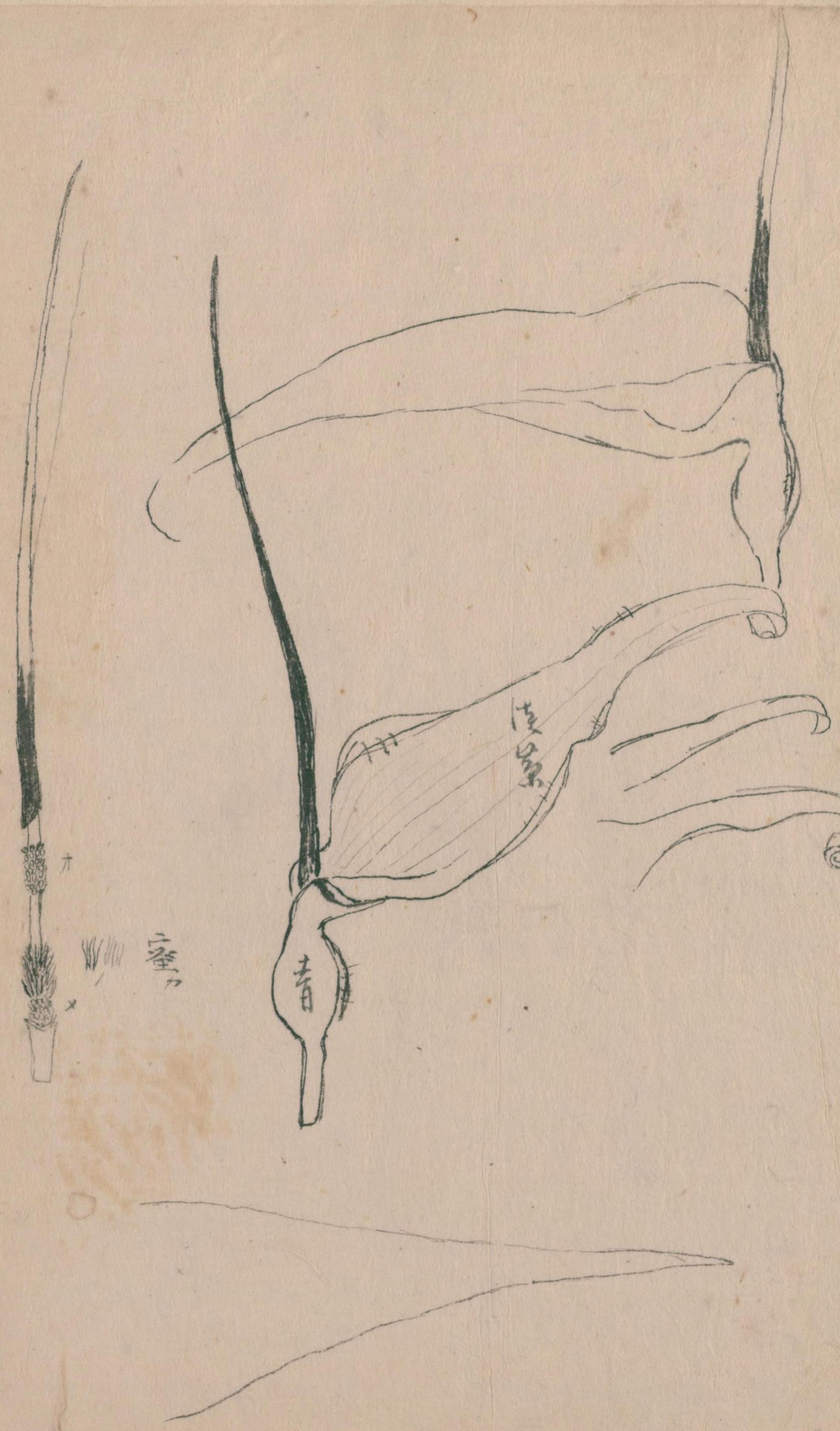
梢トウハンゲ

Typhonium ·cuspidatum



タウハンゲ類

ヤセニ依附



リウキウハンゲ

バンコクハンゲ同上

是ハモト大坂ノ菊瀬ガ所ニテヘゴヨリ生ジタルモノナリ

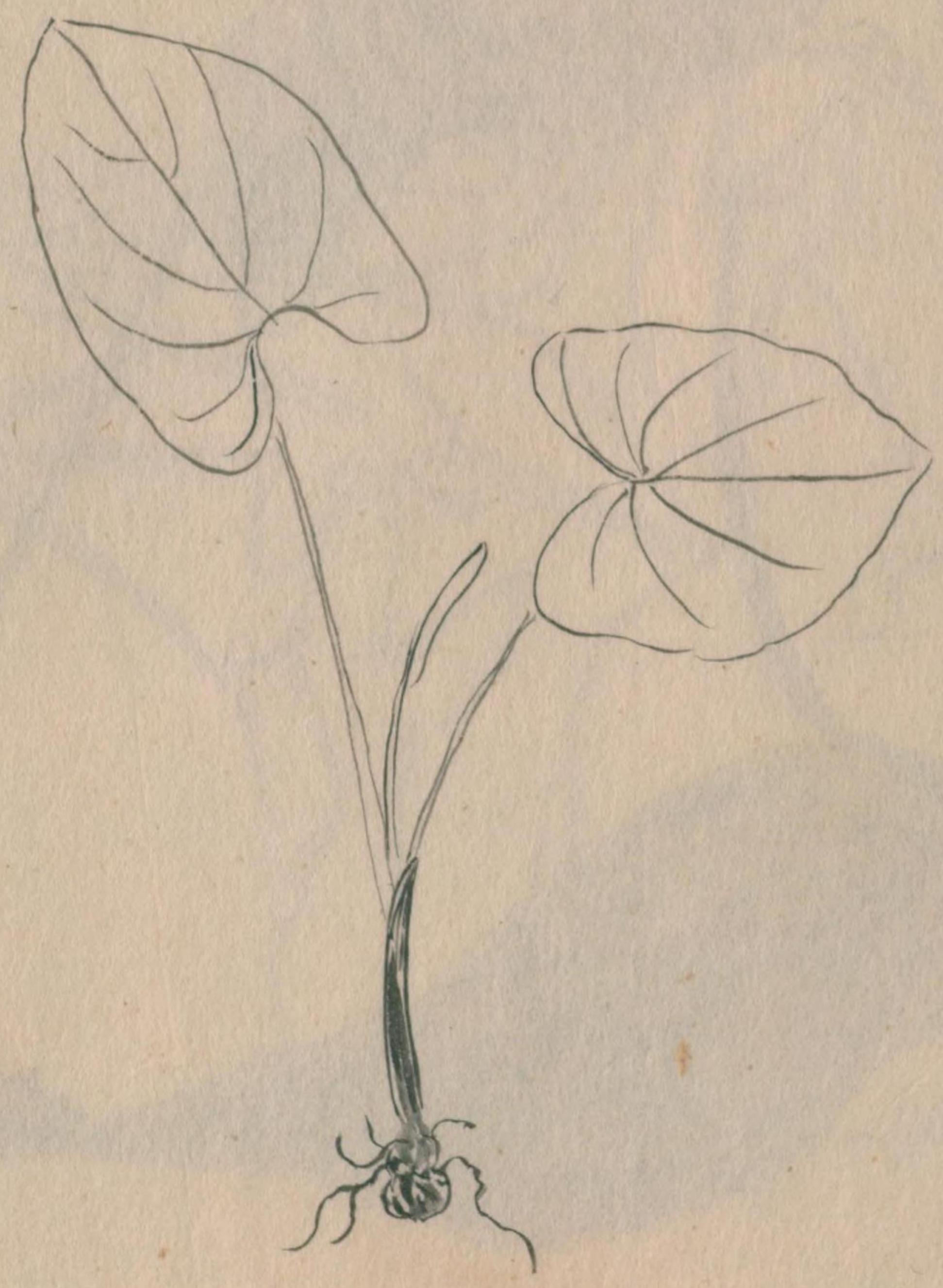
トウハンゲ

シランダハンゲ 京

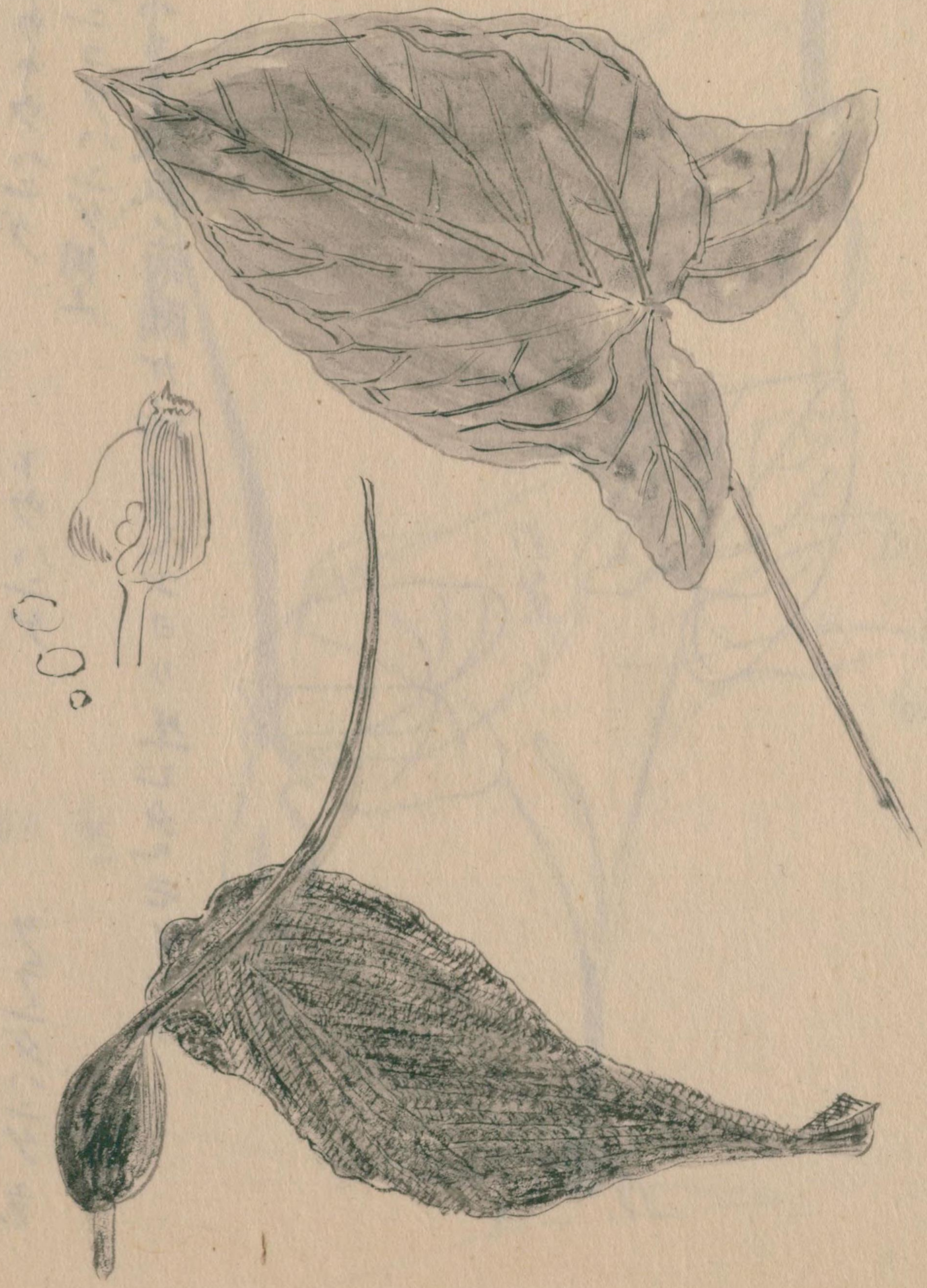
ヤ七三ノ四

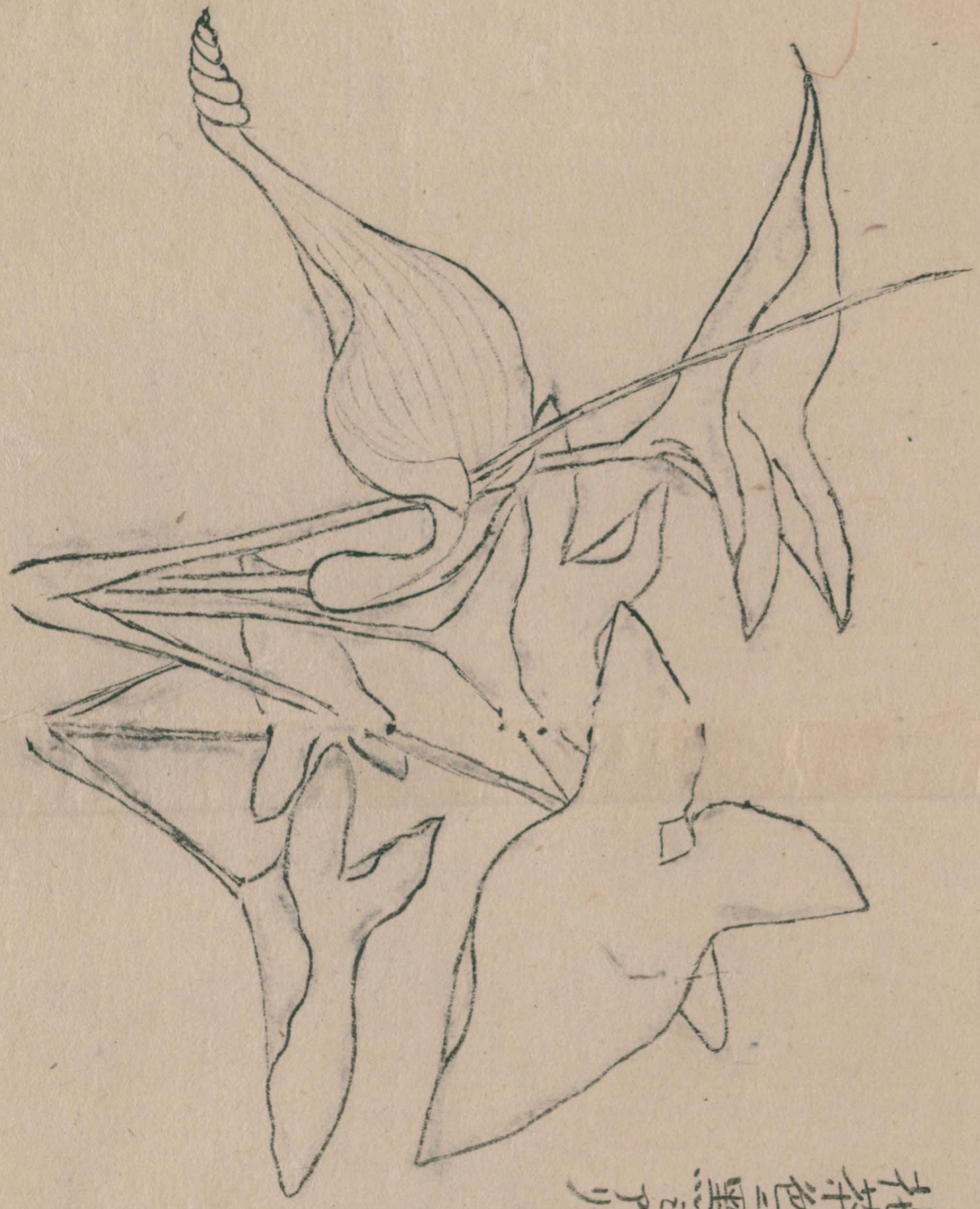
タウハンゲ

リウキウハンゲ



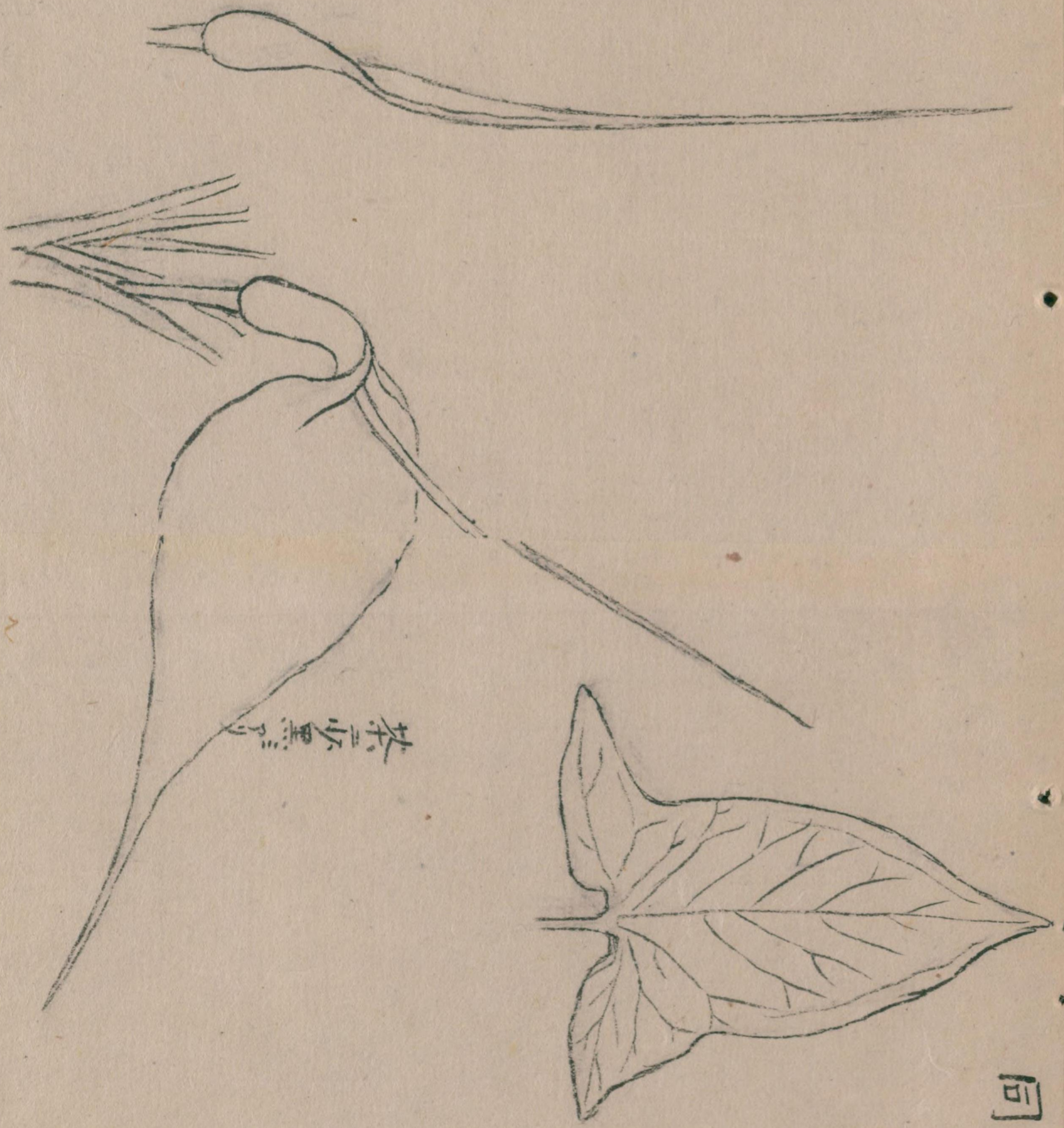
葉ノ形ミゾソバニ似テ大ナリ



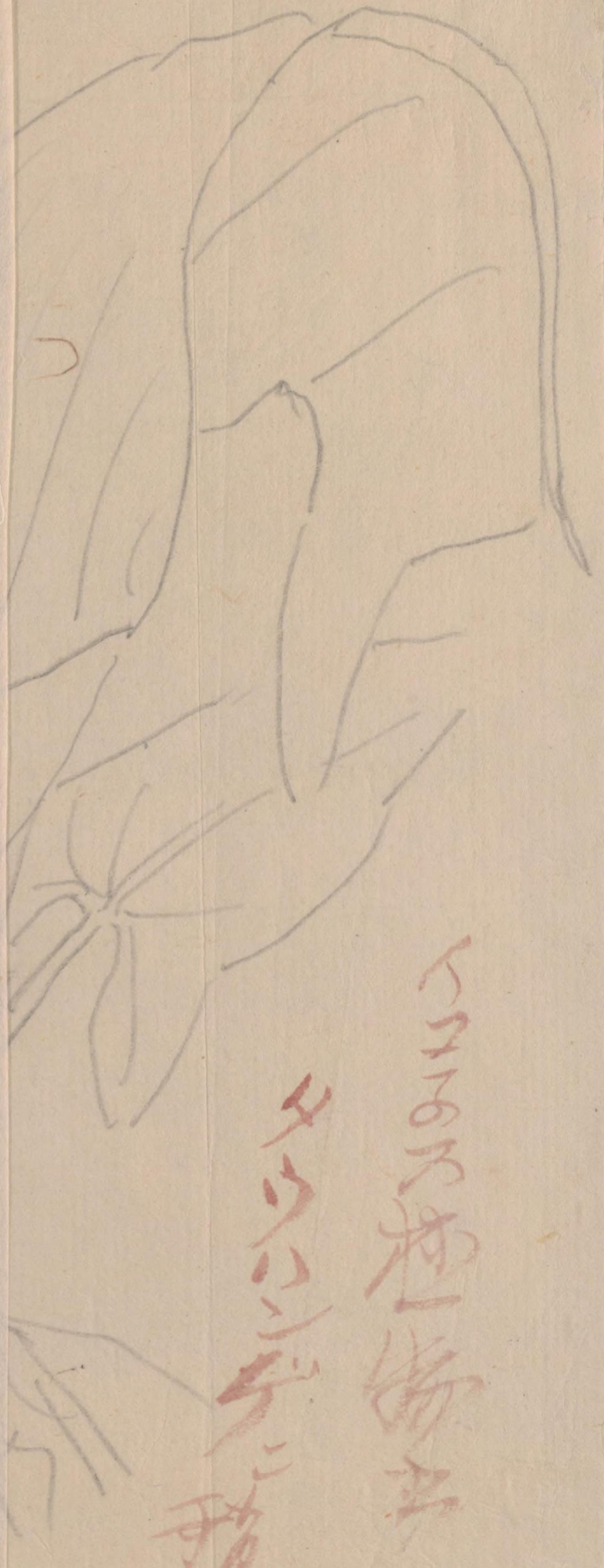


琉球半夏

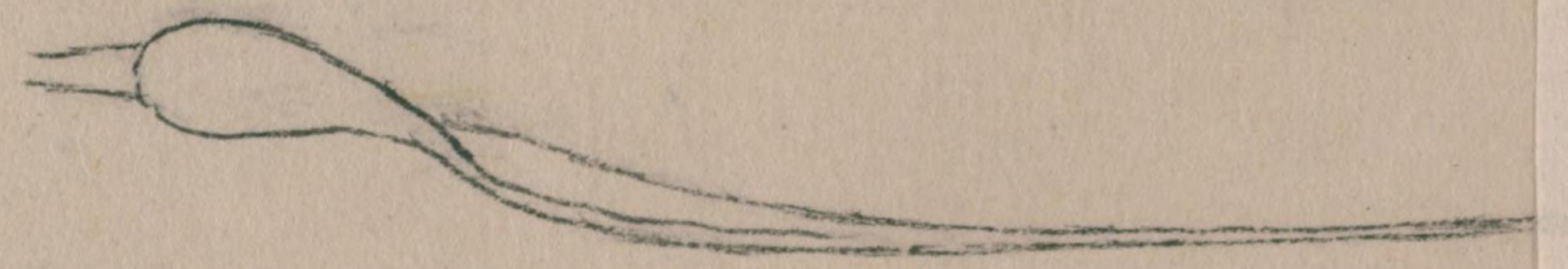
花紫色ニ黒ミアリ

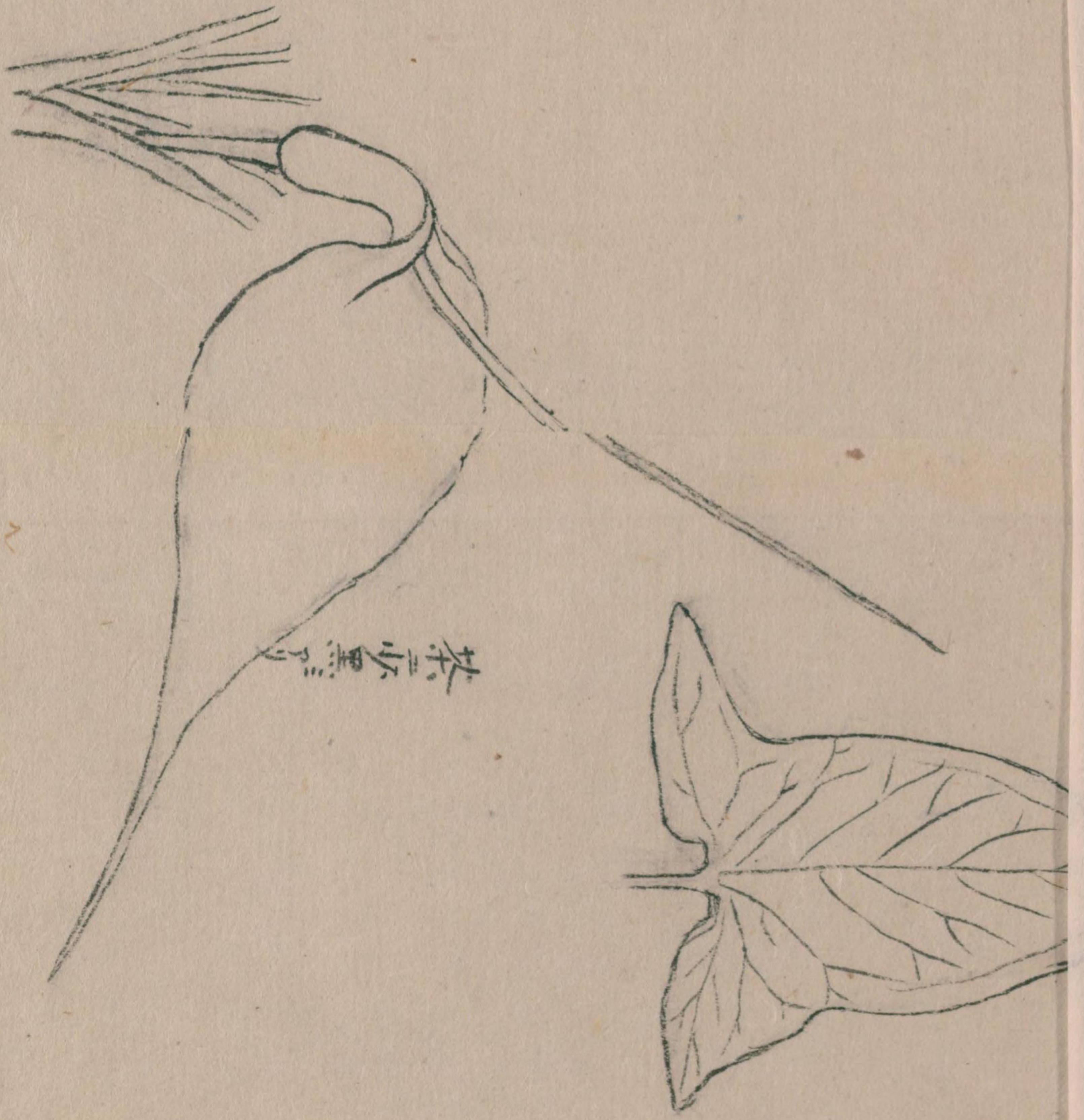


同

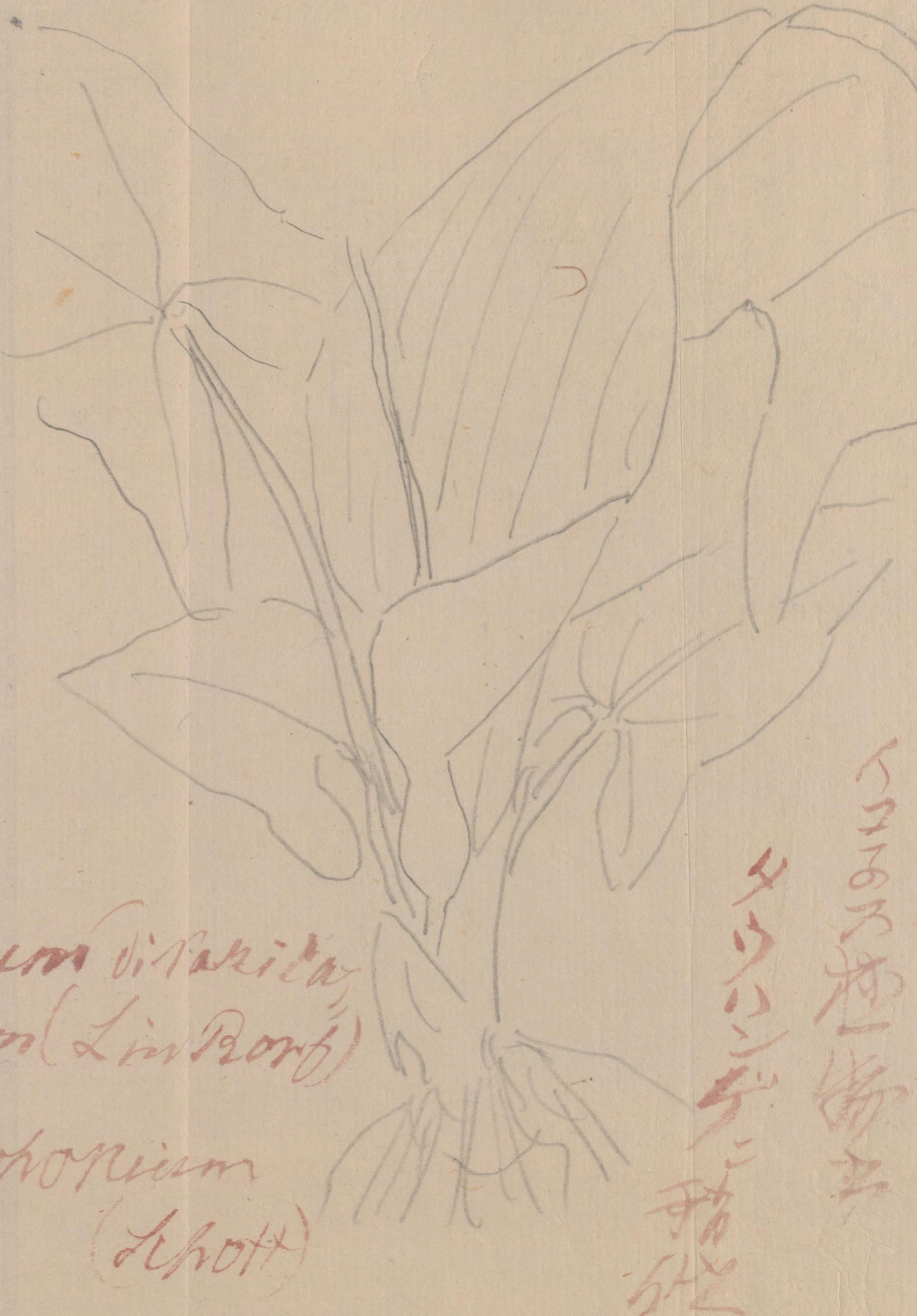


くまの本宮産
チリハンゲに酷似





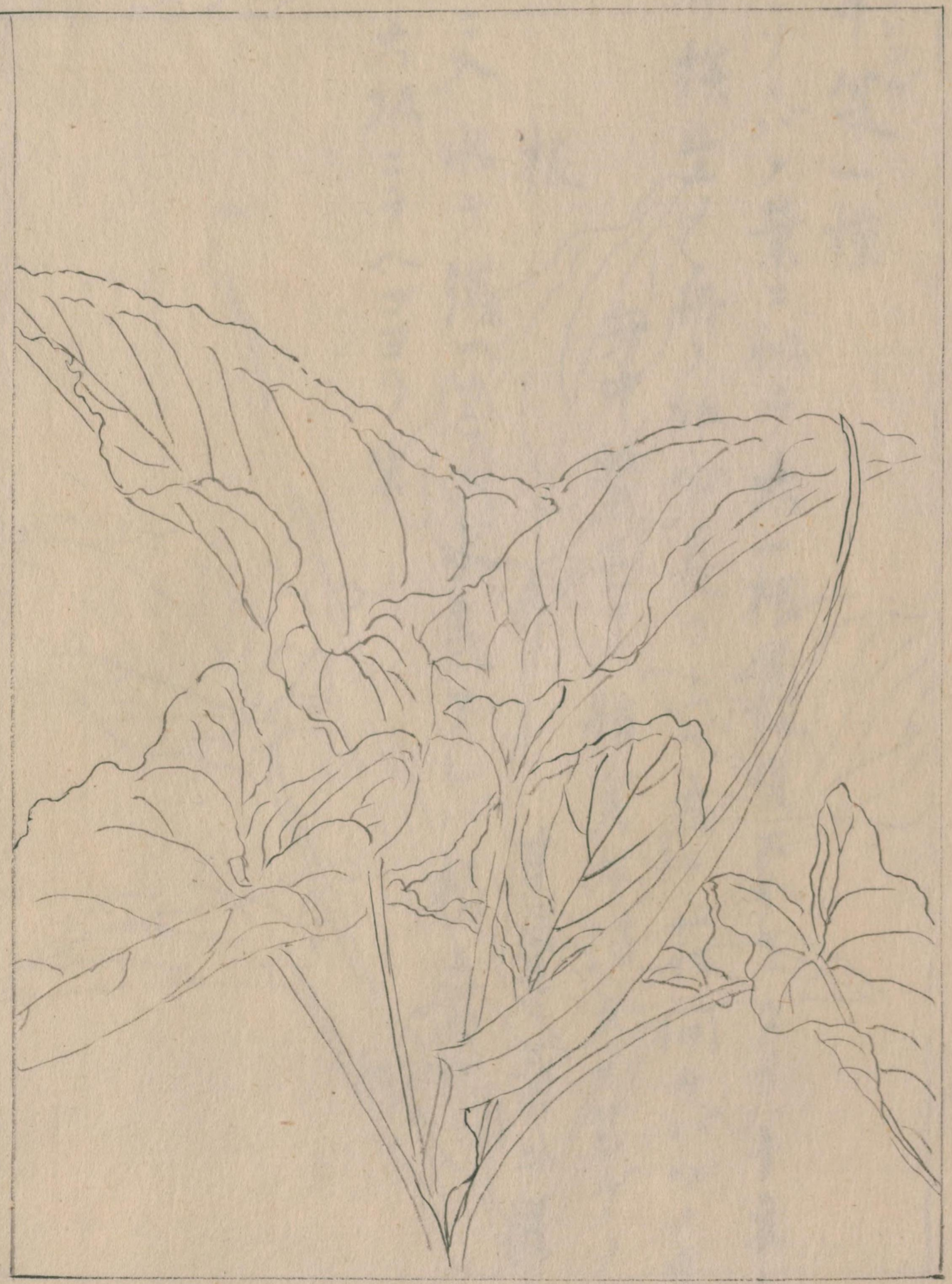
茎ニ斑点アリ



Arum divaricatum (Linkorf)

Typhonium (Schott)

イエヌス迺[illegible]出
タリハンデニ播[illegible]



15

80

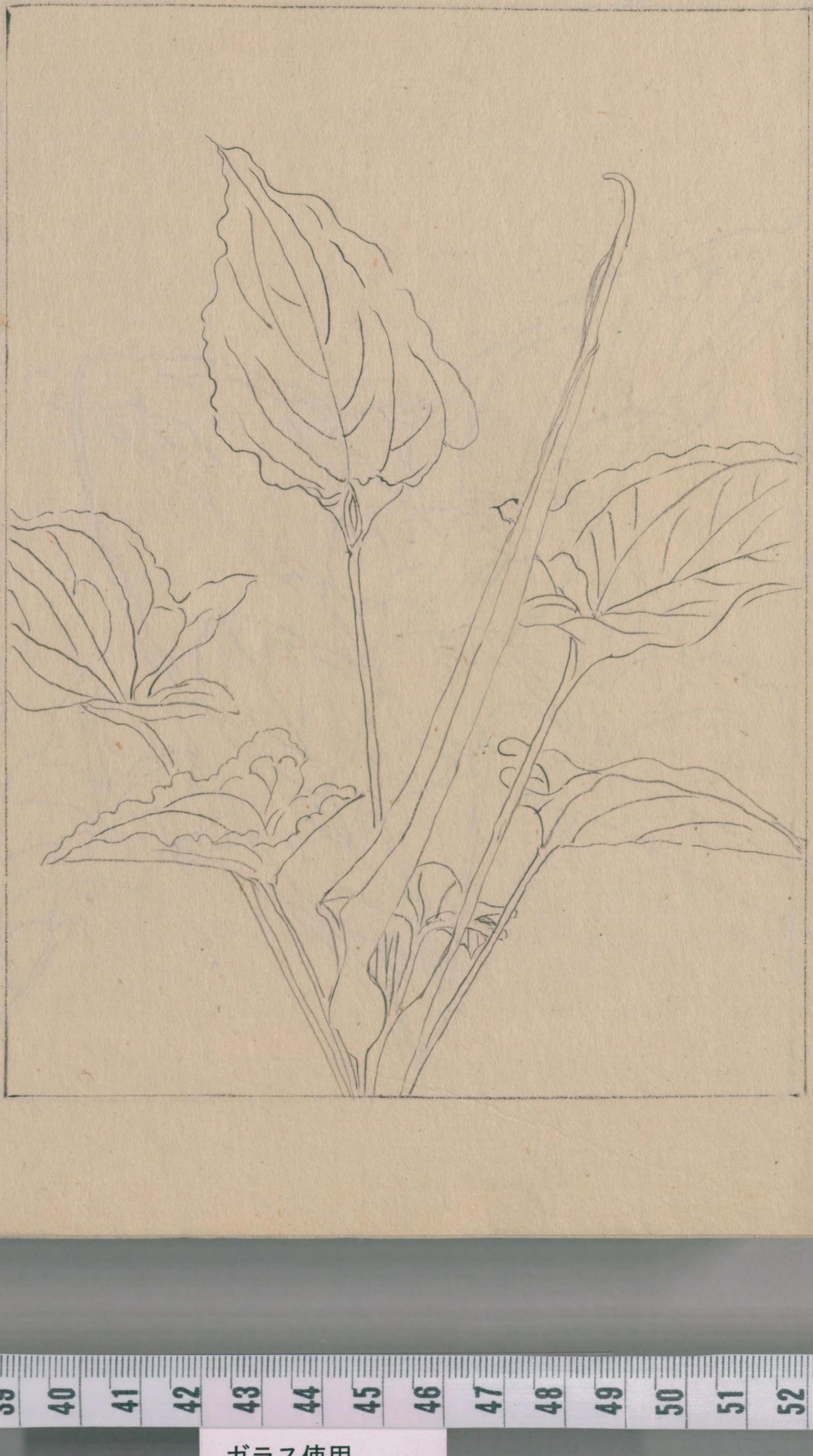
一二~~五~~

〃

○リウキウハンケ　タウハンゲ　ダイハンゲ

齋州半夏（ダイハンゲ）一種
葉ノ形ミヅバノ葉ニ似テ大一根叢生スルヿタイ半夏ノ如
花ハ一弁横生メ舟ノ如心長ク上ヘ立テ花開ケバソノ臭氣
不可忍　　弁中紫色ニメ後実ヲ結ダイハンゲノ実
ノ如シ　根　甚寒氣ヲ畏冬
ハ土窖ニ入氷ヲ灌ベカラズ水氣アレバ根腐ル
コレハモト大坂ニテヘゴヨリ生

リウキウハンゲ



ガラス使用

ヤ

西洋畧釋上 十丁 ヤラツパ

渣笠 此系本産亜美利加墨西哥等処、

渣笠二字本該處城名、因借以名其産也、其

物形如菩提、其藤甚長、取根而用之、

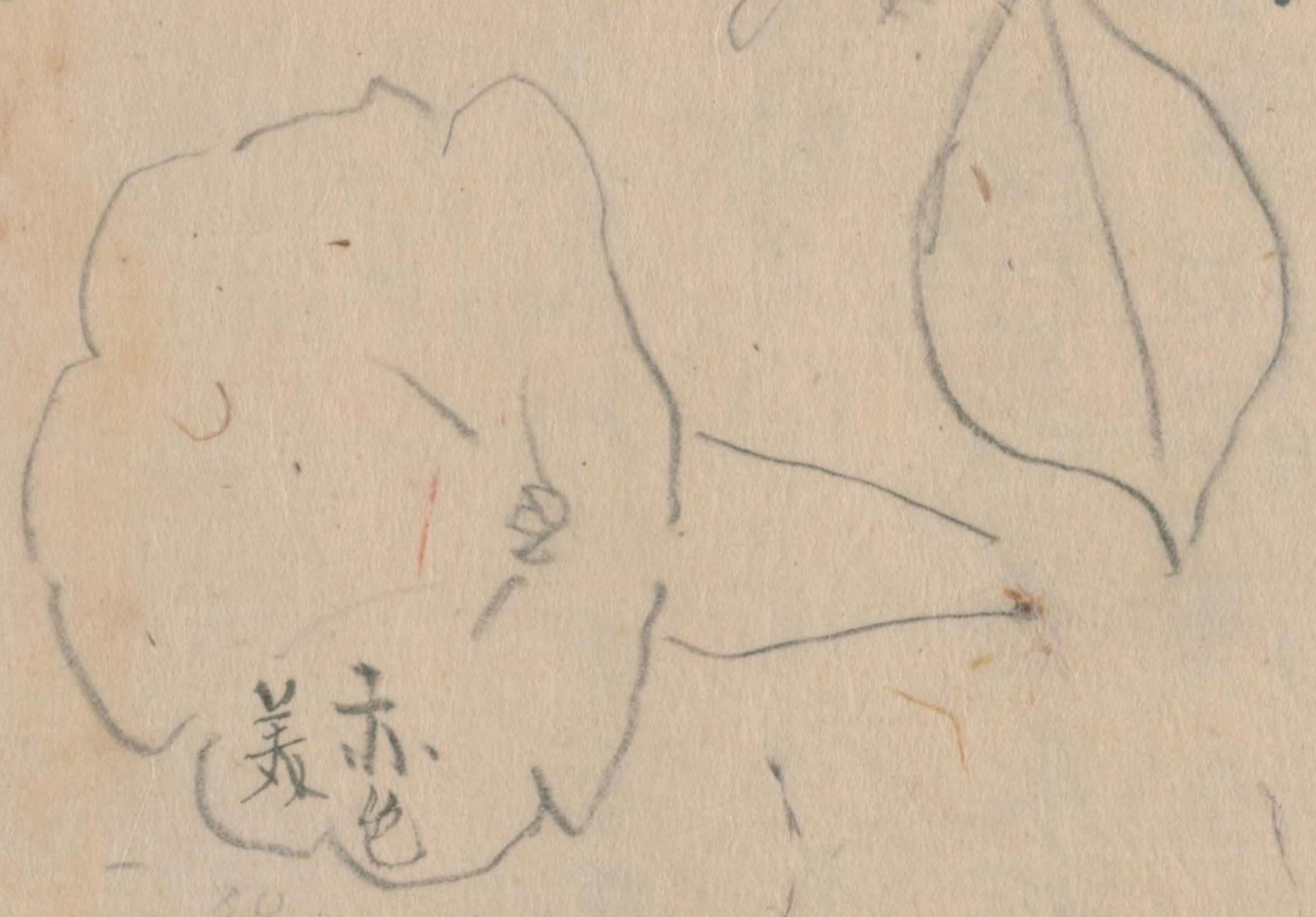
色深黒、味辛、氣香、功能瀉、云々[illegible]

○西邑[illegible]篇ニ図アリ 渣臘ト云

80

ヤラッパ 旋花科 千八百廿四年 来品[illegible]

Convolvulus jalapa



80 一 二 a

ガラス使用

草花木竹栽培秘録　全

愛花仙史序

蘭巖仙史著

尾張伊藤圭介之記

ガラス使用

別 6
9
149

ガラス使用